

年報

2022年度

Annual Report of Tokyo Metropolitan Industrial Technology Research Institute



2022年度 年報 発刊にあたって

本年報は、2022年度に地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下、「都産技研」という。）が実施した事業活動をまとめたものです。是非ご高覧いただき、都産技研における各種の技術支援活動への、率直なご意見、ご批判を頂戴できれば幸いに存じます。

都産技研は、2021年10月に設立100周年を迎え、次の100年に向けて新たな一步を踏み出しています。都産技研の使命は、「産業を担う東京の中小企業を科学技術で支え、すべての人々の生活に貢献すること」であり、現在の都産技研憲章（2007年策定）にも謳われています。設立時から一貫して、中小企業の皆さまへの技術支援を通じて東京の産業振興に貢献するという誇りをもって、日々の業務に励んでおります。

現在は、第四期中期計画の期間（2021年4月から2026年3月までの5年間）にあり、研究開発に基づく技術支援を強化し、中小企業の製品化・事業化に貢献することを目指しています。これを実行するにあたり、経営方針として「中小企業のイノベーションを加速させる技術支援」、「新技術・新製品に着実につながる研究開発」、「変化に的確に対応できる機動的運営」という3つの柱を掲げています。技術支援と研究開発の相乗効果による一層高度な支援を展開し、「総合力で頼りになる都産技研」となるよう鋭意努力してまいります。

2022年度は、新たに、食品技術センターにおけるフードテックによる製品開発支援事業と、多摩テクノプラザにおけるゼロエミッションに資するモビリティ産業支援事業を開始しました。また、地方独立行政法人の持つ機動性や柔軟性といったメリットを活かし、スタッフとラインを明確化する組織体制の変更を行い、社会経済情勢や中小企業のニーズの変化などを素早く察知して柔軟かつ機敏に対応できる体制を確保いたしました。

都産技研は、これからも、中小企業の皆様が必要とされる技術支援を迅速かつ的確に提供できるよう精進してまいります。また、東京都の長期戦略や我が国のイノベーション戦略なども参照しながら、地球規模の気候変動や激動する世界情勢も見据えつつ、都内事業者の皆様との技術支援などを通じた地に足のついたディスカッションを大切にし、価値ある技術を育み、その社会実装に貢献していきたいと考えています。

今後も、一層のご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

2023年8月

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
理事長 黒部 篤

2022年度 東京都立産業技術研究センター年報

目 次

1. 概 要	1
1.1 概要	1
1.2 組織	2
2. 中小企業の技術的課題の解決や事業化を見据えた総合的支援	3
2.1 技術相談	3
2.1.1 技術相談実績	3
2.2 依頼試験	3
2.2.1 依頼試験実績	3
2.2.2 計量法校正事業者登録制度への取り組み	4
2.2.3 環境計量証明事業の登録	4
2.3 機器利用	5
2.3.1 機器利用実績	5
2.3.2 機器利用ライセンス制度	5
2.4 オーダーメイド型技術支援	6
2.4.1 オーダーメイド型技術支援実績	6
2.4.2 外部専門家を利用した支援	6
2.5 基盤研究・協創的研究開発	7
2.5.1 基盤研究	7
2.5.2 協創的研究開発	8
2.6 共同研究	8
2.7 外部資金導入研究・調査	10
2.7.1 提案公募型研究	10
2.7.2 受託研究	11
2.8 研究成果の普及活動	12
2.9 職員の受賞	30
2.10 知的財産権	32
2.10.1 知的財産権保有件数	32
2.10.2 保有する登録済み知的財産権	32
2.10.3 出願案件	54
2.10.4 消滅案件	55
2.10.5 実施許諾	58
2.10.6 著作権の許諾	60
2.11 機器整備	61

3. 産業の発展と都民生活の向上を目指したプロジェクト型支援	62
3.1 新産業創出支援	62
3.1.1 中小企業の5G・IoT・ロボット普及促進事業	62
3.1.2 航空機産業への参入支援事業	65
3.1.3 ものづくりベンチャー育成事業	66
3.2 社会的課題解決支援	67
3.2.1 バイオ基盤技術を活用したヘルスケア産業支援事業	67
3.2.2 フードテックによる製品開発支援事業	68
3.2.3 障害者スポーツ研究開発推進事業	69
4. 中小企業などの新事業展開支援	70
4.1 多様な連携によるオープンイノベーションなどの促進	70
4.1.1 東京イノベーション発信交流会2023	70
4.1.2 異業種交流事業	70
4.1.3 医療機器産業参入支援	71
4.1.4 業種別交流会	72
4.1.5 技術研究会	72
4.1.6 技術審査	72
4.1.7 首都圏公設試験研究機関との連携	73
4.1.8 協定・覚書締結一覧	74
4.2 都産技研の資源やネットワークを活用した支援	76
4.2.1 製品開発支援ラボ	76
4.2.2 スタートアップ企業の製品化・事業化を支援する取り組み	78
4.3 海外展開の促進	78
4.3.1 海外展開技術支援 広域首都圏輸出製品技術支援センター (MTEP)	78
4.3.2 海外支援拠点 (バンコク支所)	80
5. 地域や支所の特色を活かした支援	81
5.1 多摩テクノプラザ	81
5.2 城東支所	81
5.3 墨田支所	82
5.4 城南支所	82
5.5 食品技術センター	82

6. 東京の産業を支える産業人材の育成	83
6.1 技術セミナー・講習会	83
6.2 委員・講師などの派遣	87
6.2.1 委員などの派遣	87
6.2.2 講師などの派遣	87
6.3 インターンシップなどの受け入れ	88
6.3.1 インターンシップの受け入れ	88
6.3.2 研修学生の受け入れ	88
7. 情報発信の推進	89
7.1 イベント開催	89
7.1.1 TIRI クロスミーティング	89
7.1.2 産業交流展	90
7.2 展示会出展	90
7.3 刊行物	92
7.3.1 冊子	92
7.3.2 TIRI NEWS	92
7.4 都産技研ウェブサイト	93
7.5 都産技研メールニュース	93
7.6 マスコミ報道	93
7.7 図書室	95
8. 業務運営	96
8.1 組織運営	96
8.1.1 組織体制および運営	96
8.1.2 人材育成	97
8.2 施設整備	98
8.2.1 本部・DX推進センター	98
8.2.2 城東支所	98
8.2.3 墨田支所	98
8.2.4 城南支所	99
8.2.5 食品技術センター	99
8.2.6 多摩テクノプラザ	99
8.3 安全衛生管理	100
8.3.1 放射線安全管理	100
8.3.2 安全衛生管理	102
8.3.3 化学物質等管理	104

8.4	社会的責任	104
8.4.1	リスクマネジメント	104
8.4.2	内部統制	104
8.4.3	情報開示	104
資	料	105
1	沿革	105
2	施設	106
3	東京都地方独立行政法人評価委員会試験研究分科会	114
4	2022年度 年度計画	115

1. 概 要

1.1 概要

東京都立産業技術研究センター（以下、「都産技研」という。）は、2006年4月に全国に先駆けて地方独立行政法人へ移行した公設試験研究機関（以下、「公設試」という。）である。法人化17年目であり、第四期中期計画の2年目にあたる2022年度は、フードテックによる製品開発支援事業の開始、ゼロエミッションに資するモビリティ産業支援の開始、効率的な執行体制確保に向けた組織改正などの取り組みを実施した。

(1) フードテックによる製品開発支援事業の開始

フードテックによる中小企業の製品開発を支援するため、開発拠点となる食品技術センターに分析機器などの整備を実施した。また、関連する技術シーズを開発するため、基盤研究を開始した。

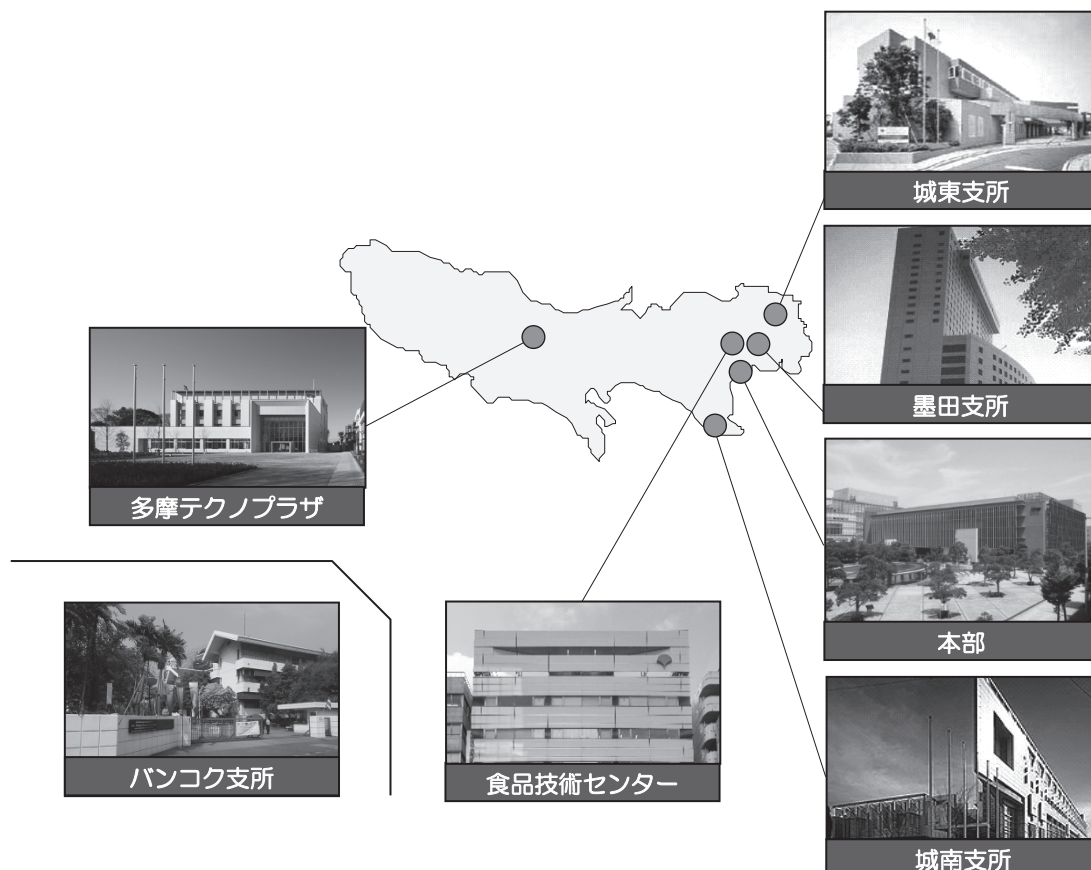
(2) ゼロエミッションに資するモビリティ産業支援の開始

中小企業などの新たな市場での活躍が見込まれるモビリティ産業を支援するため、多摩テクノプラザにおいて実験装置などを整備し、ZEV（Zero-Emission Vehicle）や小型モビリティの電気安全性・信頼性評価などの技術支援を開始した。

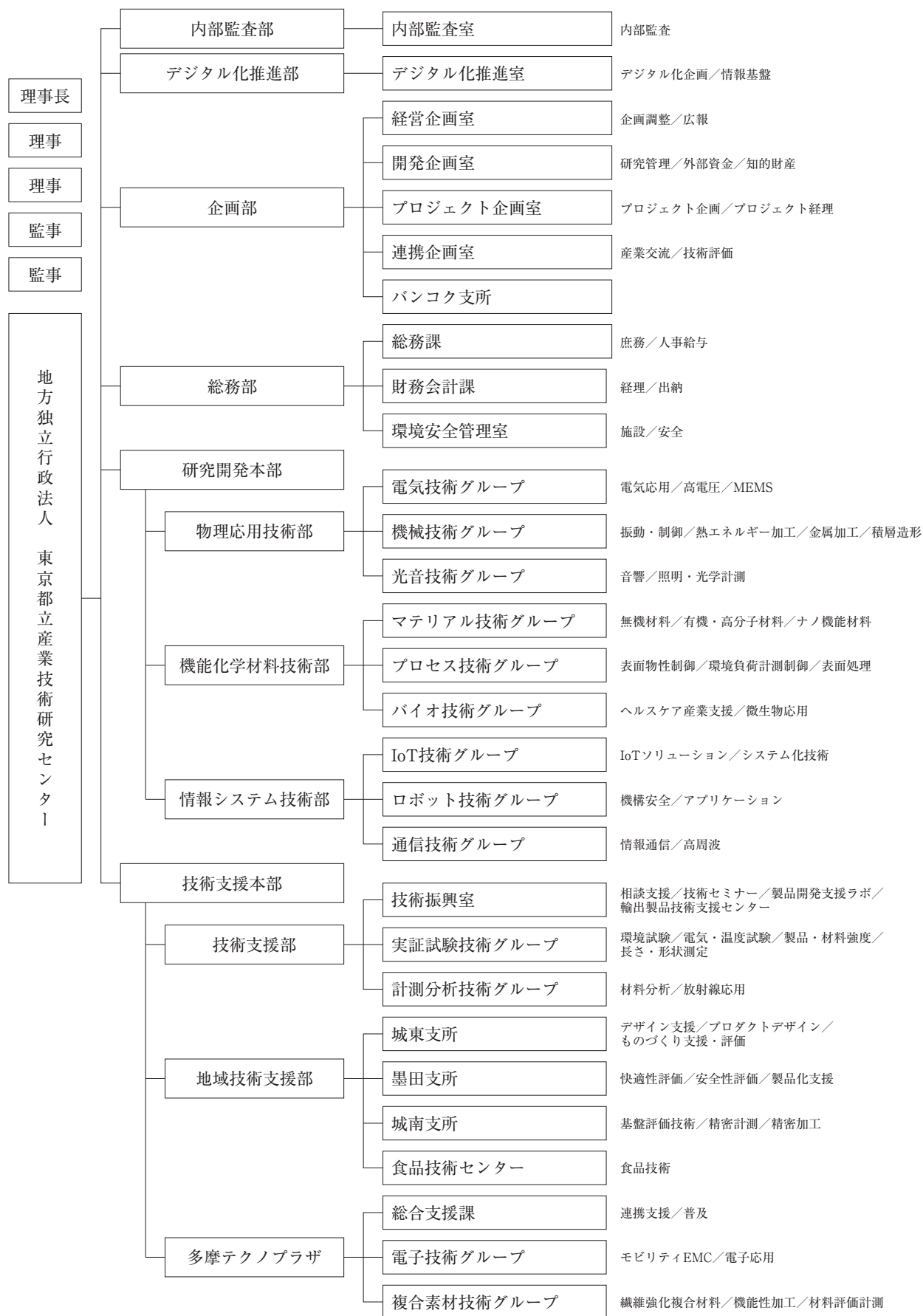
(3) 組織改正と複線型人事制度の構築

効率的な執行体制を確保するため、「研究開発本部」と「技術支援本部」を設置し、研究開発業務と技術支援業務に特化した体制とした。また、職責の明確化と研究職の専門性向上を図るために、複線型人事制度を新たに導入した。

都産技研は都民の期待に応えつつ、中小企業に対する事業化支援、研究開発、技術移転、人材育成などの総合的な技術支援によって、東京の産業発展と都民生活の向上を目指している。



1.2 組織



2. 中小企業の技術的課題の解決や事業化を見据えた総合的支援

2.1 技術相談

2.1.1 技術相談実績

中小企業などから受ける技術支援の依頼に対して、職員の専門的な知識に基づく技術相談を実施し、製品開発支援や技術課題の解決を図った。

技術相談は、製造業だけでなく、ものづくりに関連するサービス産業などからも11,482件あり、技術相談の総数は61,341件であった。なお、デジタル媒体を活用した技術相談は38%であった。

2.2 依頼試験

2.2.1 依頼試験実績

中小企業の生産活動に必要な製品、部品、材料などについて、日本産業規格（JIS）などに定める各種の試験、測定、分析、加工などを実施し、試験報告書を発行した。さらに、これらの試験を通して、企業における技術開発、製品開発、品質改善および事故品の原因究明などの技術支援を実施した。

2022年度の依頼試験の実績を以下の表に示す。

2022年度依頼試験（試験項目別）実績

試験項目	件数	金額（円）
（共通事項） 試験報告書などの交付に関わる項目	1,536	679,250
1. 各種試験に関わる事前の処置	1,665	3,110,680
2. 強度試験	8,437	25,371,910
3. 材料又は製品の環境試験および性能試験	40,827	77,678,670
4. 材料特性試験	7,015	24,038,500
5. 顕微鏡観察	1,822	4,220,920
6. 化学分析	8,600	71,738,680
7. バイオ分析	45	229,430
8. ガラス技術	216	662,620
9. 工業製品の微生物試験	1,252	2,753,970
10. におい分析試験	708	7,527,560
11. 繊維・複合材料評価試験	5,360	7,687,470
12. 食品試験	314	1,098,760
13. 非破壊透視試験	6,360	31,907,050
14. 放射線試験	2,402	3,081,590
15. 精密測定	4,359	9,588,550
16. 校正試験	2,483	6,436,900
17. 電気安全試験	992	5,110,110
18. 高電圧試験	2,532	10,894,690

試験項目	件数	金額 (円)
19. EMC 試験	719	6,410,090
20. 高速通信試験	1,947	2,895,290
21. 光放射計測	702	4,069,740
22. 音響試験	1,544	10,553,320
23. 加工又はデザイン	1,302	1,306,420
24. サービスロボット評価試験	24	262,240
25. 航空機規格試験	799	2,300,800
26. ヘルスケア関連評価試験	594	5,383,710
合計	104,556	326,998,920

2.2.2 計量法校正事業者登録制度への取り組み

2006年度より、校正事業者登録制度による依頼試験業務を開始した。また、2008年より、英文の校正証明書の発行を開始した。都産技研の発行する校正証明書は、ILAC MRA（相互承認取決）に加盟する世界115国・地域（2022年7月現在）で有効である。

本部において、電気（直流抵抗器）、温度（熱電対）、および長さ（一次元寸法測定器、形状測定器）の区分で国際MRA対応のJCSS登録認定を受けており、国際相互承認の証しであるILAC MRA認定シンボルを付与したJCSS校正証明書の発行が可能である。



都産技研は、認定基準としてISO/IEC 17025(JIS Q 17025)を用い、認定スキームをISO/IEC 17011に従って運営されているJCSSの下で認定されています。JCSSを運営している認定機関(IA Japan)は、アジア太平洋試験所認定協力機構(APLAC)および国際試験所認定協力機構(ILAC)の相互承認に署名しています。都産技研は、国際MRA対応JCSS認定事業者です。JCSS 0184は、都産技研の認定番号です。

2.2.3 環境計量証明事業の登録

依頼試験などの測定分析業務において信頼性の高いデータを提供するため、2008年度に区分「濃度」、「音圧レベル」、「振動加速度レベル」の計量証明事業者登録を完了した。2011年10月の本部移転後も、試験実施体制を再整備し、事業を継続している。

2.3 機器利用

2.3.1 機器利用実績

中小企業が製品開発や新技術開発を行う際に、自ら保有・管理することが困難な各種の測定器や試験機器・設備などを設置し、新製品開発や品質管理などの生産活動を支援した。また、その使用法や試験データの解析法について技術的なアドバイスをを行った。

2022年度の機器利用の実績を以下の表に示す。

2022年度機器利用（試験項目別）実績

機器利用項目	件数	金額（円）
（共通項目）機器利用に関わる共通項目	12,556	11,236,940
1. 強度試験機	4,528	4,948,210
2. 物理特性試験機	2,247	3,687,250
3. 観察機器	4,918	8,481,470
4. 化学分析機器	1,986	4,233,850
5. バイオ分析機器	29	30,770
6. 環境試験機器	62,809	36,370,360
7. 電源機器	2,069	1,656,120
8. 電気測定機器	4,876	7,701,360
9. MEMS関連機器	906	1,330,590
10. EMC試験機器	5,826	17,099,640
11. シミュレーションシステム	327	619,750
12. 精密測定機器	1,734	2,531,610
13. 加工機器	3,157	3,137,540
14. 立体造形機器	19,232	19,901,670
15. デザイン支援機器	1,737	1,546,860
16. 繊維計測・生産加工機器	2,680	3,650,600
17. 生活科学計測機器	3,537	4,231,570
18. 食品関連機器	3,560	914,140
19. サービスロボット評価機器	1,941	4,585,360
20. ヘルスケア関連機器	7,346	8,397,640
合計	148,001	146,293,300

2.3.2 機器利用ライセンス制度

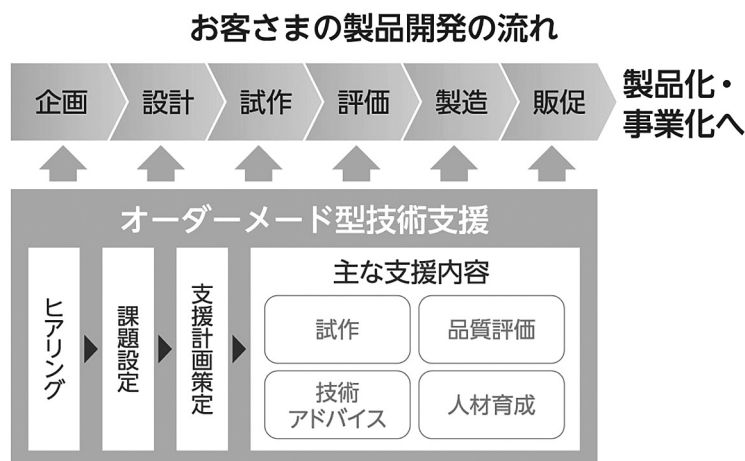
2012年2月から機器利用ライセンス制度を導入し、要望が多かった高性能で操作に習熟が必要な装置を対象機器とした。現在、対象機器は合計13機種である。利用希望者には利用方法習得セミナー受講後「機器利用ライセンスカード」を交付している。2022年度は104枚の機器利用ライセンスカードを発行し、累計発行枚数は1,305枚となった。

2.4 オーダーメイド型技術支援

2.4.1 オーダーメイド型技術支援実績

中小企業の開発段階（企画から販売促進まで）に応じたきめ細かい支援を行うために、製品の試作、品質評価、技術アドバイス、人材育成までさまざまなメニューを組み合わせる柔軟に対応するオーダーメイド型技術支援を実施した。日本産業規格（JIS）などに定めのない分析・評価や試作、人材育成のための実習などを適宜組み合わせるとともに、各技術分野の連携を強化して、包括的に支援を行った。

2022年度は787件に対応し、中小企業の目的達成に寄与した。



2.4.2 外部専門家を利用した支援

都内に事業所を持つ中小企業に対して、製造や販促など、実際の生産工程などへの技術アドバイスができる外部専門家とともに技術支援を実施した。2022年度は5社6件の利用があり、外部専門家が支援を行った日数は延べ20日であった。

2.5 基盤研究・協創的研究開発

2.5.1 基盤研究……………55テーマ

中小企業の技術ニーズを踏まえ、付加価値の高い新製品・新サービス開発や技術的課題の解決に必要なシーズの蓄積、今後発展が予想される技術分野の強化、都市課題の解決や都民生活の向上に資する都産技研独自の研究である。

No.	テーマ名	期間
1	微細加工技術を用いた熱電薄膜構造の開発	2022.6～2023.3
2	誘電泳動法を用いたマイクロプラスチックの計測技術の開発	2022.6～2023.3
3	MEMS型分光レンズの最適化設計	2022.6～2023.3
4	ソフトマテリアル向け微細加工・評価技術の高度化	2022.6～2023.3
5	微小電極デバイスの加工方法の検討	2022.6～2023.3
6	セル構造体の衝撃吸収特性を予測するCAEサロゲートモデルの構築	2022.6～2023.3
7	金型形状による成形性向上のための円筒深絞り加工法の開発	2022.6～2023.3
8	破壊条件式と有限要素解析による絞りしごき成形限界予測	2022.6～2023.3
9	JIS Z2320-1 コイル法における磁化電流値計算式の検証	2022.6～2023.3
10	実画像の画質劣化要因を学習した物理ベースレンダリング画像に基づくCG画像を用いた画像認識AI技術の開発	2022.6～2023.3
11	放射輝度を値づけた紫外光カメラシステムの開発	2022.6～2023.3
12	ワークブースにおける音声情報漏洩防止に関する研究	2022.6～2023.3
13	降雨状態を模した雨騒音評価方法の開発	2022.6～2023.3
14	構造による機能付与を目指した高分子多孔質材料の細孔制御の検討	2022.6～2023.3
15	調湿可能な光触媒実験系の構築と評価法の検討	2022.6～2023.3
16	大気中光電子取量分光を用いた半導体光触媒の水溶液中での電子状態評価	2022.6～2023.3
17	ミクロ構造を制御できるナノ複合材料の熔融成形加工技術の開発	2022.6～2023.3
18	熱硬化性CFRPへのめっき前処理による生産性向上	2022.6～2023.3
19	機械加工油の性能評価方法の開発	2022.6～2023.3
20	セルロース結合性タンパク質の生産に関する研究	2022.6～2023.3
21	海洋生分解性プラスチックの評価に向けた海水の微生物的性状解析法の検討	2022.6～2023.3
22	scRNA-seq解析における細胞種間発現変動解析手法の開発	2022.6～2023.3
23	回路内の誘起電圧を再現した近接照射法の開発	2022.6～2023.3
24	熱電対の応答性評価手法の開発	2022.6～2023.3
25	大電流出力装置の自動制御による安定性向上	2022.6～2023.3
26	小型試料の熱伝導率測定手法の確立	2022.6～2023.3
27	コロイド粒子集合体を利用した機能性構造色材作製プロセスの開発	2022.6～2023.3
28	LA-ICP-MSによる定量分析に向けた新規試料作製法の開発	2022.6～2023.3
29	大気腐食におけるウォーターマークと腐食形態の関連性評価	2022.6～2023.3
30	X線CT画像の容量に関する研究	2022.6～2023.3
31	リソグラフィへの利用に向けた軟X線によるエネルギー付与の検討	2022.6～2023.3
32	室温利用可能な熱電材料の熱電性能と機械特性の向上	2022.6～2023.3
33	ペプチドを用いた蛋白質センサーの開発	2022.8～2023.3
34	天然素材/生分解性プラスチック複合材の材料押出方式によるAMへの適用性	2022.6～2023.3
35	プロセス最適化によるAM造形品の機械的性質の等方化	2022.6～2023.3

No.	テーマ名	期間
36	1 μ m帯レーザー焼結における粉末の吸収特性が側面品質に与える影響	2022.6～2023.3
37	ストロー補助具の感性評価によるデザイン開発	2022.6～2023.3
38	児童用PCキーボードのキーピッチ検討とアルゴリズムを用いたデザイン手法の検討	2022.8～2023.3
39	Wavelet変換を用いたボルト緩み検出手法に関する研究	2022.6～2023.3
40	食用昆虫のにおいに寄与する成分の特定	2022.6～2023.3
41	内外寸形状測定用評価ゲージを活用した測定データ連携によるX線CTスキャンの高度化	2022.6～2023.3
42	銀めっき試料中のSb、Seの定量法の検討	2022.6～2023.3
43	接着剤の加熱過程における非破壊検査装置の開発	2022.6～2023.3
44	NIR-PP/Rによる樹脂接合部の非破壊観察	2022.6～2023.3
45	連続塩水噴霧試験での繰返し途中観察による試験片への影響	2022.6～2023.3
46	大麦中華麺の製造技術の開発	2022.6～2023.3
47	清酒の貯蔵による風味の変化の検討	2022.6～2023.3
48	呈味成分の口中拡散評価法の開発	2022.6～2023.3
49	車載放射エミッション簡易測定法の検討	2022.6～2023.3
50	機械学習を用いた近傍界・遠方界推定手法のデータ拡張と外来狭帯域ノイズ対策による精度向上技術の開発	2022.6～2023.3
51	刺繍技術による導電性テキスタイルの開発	2022.6～2023.3
52	現場環境における三次元測定機のレーザー測長器を用いた温度補正の評価	2022.6～2023.3
53	機械学習による撥水性試験の新規評価技法の検討	2022.6～2023.3
54	CFRTP/アルミニウム合金接着技術の開発	2022.6～2023.3
55	印刷技術を活用した薄型金属部品賦形技術の確立	2022.6～2023.3

2.5.2 協創的研究開発……………1テーマ

社会の多様化・急激な変化などを背景とした複層的な技術課題の解決を図るため、研究部門を超えて、都産技研の技術分野を横断・融合したテーマ設定型の研究開発事業である。

No.	テーマ名	期間
1	製品化を見据えたメカノクロミック材料の応用展開と基盤構築	2021.5～2023.3

2.6 共同研究……………47テーマ

一歩進んだ技術の事業化・製品化に向け、都内中小企業や業界団体、大学、公的試験研究機関などと協力し、それぞれが持つ技術とノウハウを融合して、共同で推進する研究である。

No.	テーマ名	期間
1	高純度炭酸Li精製に向けた廃LIBs加熱処理プロセスにおけるF化合物の生成制御	2022.11～2023.3
2	高速度カメラX線装置を用いた周期運動する物体の4次元CT再構成	2022.8～2023.3
3	生地の吸湿発熱性試験における測定系の影響解明	2022.7～2023.3
4	ストロー補助具の製品化にむけた改良	2023.1～2023.9
5	人工ダイヤモンドの研磨技術の開発	2023.1～2023.9
6	異方性ヘテロ凝固核を含有したアルミニウム合金粉末のレーザー積層造形技術開発	2022.10～2023.9
7	低着火性マグネシウム合金粉末の積層造形技術の検討	2022.10～2023.9

No.	テーマ名	期間
8	軽量金属材料の高速・高精度多段絞り加工による小径管製造	2022.10 ~ 2023.9
9	ひずみ速度を考慮したバウシング効果の特性取得および有限要素解析への適用	2022.10 ~ 2023.9
10	ゴルフクラブにおける打撃反発係数の予測技術の高度化	2022.10 ~ 2023.9
11	明るさ感受性測定方法の確立および測定システムの開発に関する研究	2022.10 ~ 2023.9
12	時計用文字盤の黒色化技術の開発	2022.10 ~ 2023.9
13	低位相差高精度複屈折計測法の開発	2022.10 ~ 2023.9
14	裏面鏡の再資源化システムの開発	2022.10 ~ 2023.9
15	二輪車用コンバージョンシステムの開発	2022.10 ~ 2023.9
16	緋板用図案のデジタル化の検討	2022.10 ~ 2023.9
17	転移がん細胞ハイスループット識別法の開発	2022.5 ~ 2024.3
18	感触と音の相互作用を考慮した快適感創生に関する研究	2022.5 ~ 2023.3
19	プラスチック使用量削減を目指した異素材成形技術による食品容器包装の製品化	2022.5 ~ 2023.3
20	HiPIMS電圧印加方式の改善と基板冷却機構の付与によるプレス金型用DLC膜の開発	2022.5 ~ 2023.3
21	腐食過程の定量化手法の開発	2022.5 ~ 2023.3
22	鑄造における溶融金属流動制御による高効率生産手法の構築	2022.5 ~ 2023.3
23	平時及び緊急時に利用可能な小型レーダーデバイスユニットの開発	2022.5 ~ 2023.3
24	腋臭症由来臭気成分の産生メカニズムの解明と客観的評価手法の確立	2022.5 ~ 2023.3
25	アームスリングケープの温熱的快適性が心身に与える影響	2022.5 ~ 2023.3
26	実用化に向けたワイヤレス電力伝送技術の特徴抽出と大電力化	2022.5 ~ 2023.3
27	均熱性に優れた筒型ヒーターの開発	2022.5 ~ 2023.3
28	ワイドギャップp型酸化物半導体のデザインと創生	2022.1 ~ 2022.6
29	切りくず生成へ及ぼす従動型ロータリー切削の切れ刃形状の影響	2022.1 ~ 2022.9
30	チタニア系可視光応答型光触媒への付加価値付与の検討	2022.1 ~ 2022.9
31	農業向けバッテリーレス省電力無線センサの開発	2022.1 ~ 2022.9
32	高機能誘電率測定回路とセンサーの開発	2022.1 ~ 2022.9
33	二輪車用コンバージョンシステムの開発	2022.1 ~ 2022.9
34	ひずみ速度を考慮した材料特性の系統的な調査および塑性加工の成形性に及ぼす影響	2021.10 ~ 2022.9
35	軽量金属材料の高速・高精度プレス加工の達成	2021.10 ~ 2022.9
36	ヘテロ凝固核粒子を含有させた低品位アルミニウム合金粉末の作製とそれを用いた積層造形	2021.10 ~ 2022.9
37	正弦波駆動機構を有する触感評価摩擦試験装置の開発	2021.10 ~ 2022.9
38	長期開存性を付与したステントの開発	2021.10 ~ 2022.9
39	近傍電磁界ノイズ注入と電磁界解析を活用した対策アプローチによる製品開発	2021.10 ~ 2022.9
40	ミリ波帯トランジスタ及び要素回路の設計評価技術の開発	2021.10 ~ 2022.9
41	口腔衛生管理のための揮発性硫黄化合物センサの開発	2021.10 ~ 2022.9
42	水中で使用できる低周波電気刺激装置の試作と温熱刺激との相乗効果の検証	2021.10 ~ 2022.9
43	多孔性配位高分子配合によるガス抑制性能の向上	2021.10 ~ 2022.9
44	採卵後のヤマメの有効利用技術の開発	2021.10 ~ 2022.9
45	鯨肉由来ペプチド及び糖ペプチドの細胞による機能性研究と食品への応用	2021.10 ~ 2022.9
46	特徴的な風味を有するカカオ豆の至適焙煎条件の解明	2021.10 ~ 2022.9
47	農業用ハウス向け近・中距離無線ネットワークシステムの開発	2021.10 ~ 2022.9

2.7 外部資金導入研究・調査

2.7.1 提案公募型研究……………67テーマ

都産技研が保有する研究成果を基に、国などの公募に対し研究課題および研究内容を提案し、審査を経て採択された課題について、研究資金の交付を受けて実施する研究である。都産技研においてはその積極的な獲得に努めている。

2022年度に実施した研究は、文部科学省の「科学研究費助成事業（学術研究助成基金助成金／科学研究費補助金）」をはじめ、以下のとおりである。

開始年度	研究費配布機関	事業名	件数
			()内は分担数
2019	(独)日本学術振興会	科学研究費助成事業 基盤研究 (C)	2 (0)
2020	(独)日本学術振興会	科学研究費助成事業 基盤研究 (A)	1 (1)
		科学研究費助成事業 基盤研究 (B)	3 (2)
		科学研究費助成事業 基盤研究 (C)	7 (3)
		科学研究費助成事業 若手研究	9 (0)
	経済産業省	戦略的基盤技術高度化支援事業 (サポイン事業)	2 (1)
	(国研) 日本医療研究開発機構	医療分野研究成果展開事業 先端計測分析技術・機器開発プログラム	1 (1)
(国研) 新エネルギー・産業技術総合開発機構	海洋生分解性プラスチックの社会実装に向けた技術開発事業	1 (1)	
2021	(独)日本学術振興会	科学研究費助成事業 基盤研究 (B)	3 (3)
		科学研究費助成事業 基盤研究 (C)	8 (2)
		科学研究費助成事業 若手研究	1 (0)
		科学研究費助成事業 研究活動スタート支援	1 (0)
		科学研究費助成事業 国際共同研究強化 (B)	1 (1)
	経済産業省	戦略的基盤技術高度化支援事業 (サポイン事業)	2 (0)
	(公財)天田財団	奨励研究助成	1 (0)
	(国研)日本医療研究開発機構	医薬品等規制調和・評価研究事業	1 (1)
(国研)新エネルギー・産業技術総合開発機構	新エネルギー等のシーズ発掘・事業化に向けた技術研究開発事業	1 (1)	
2022	(独)日本学術振興会	科学研究費助成事業 基盤研究 (B)	1 (1)
		科学研究費助成事業 基盤研究 (C)	6 (2)
		科学研究費助成事業 若手研究	2 (0)
		科学研究費助成事業 研究活動スタート支援	2 (0)
	経済産業省	成長型中小企業等研究開発支援事業 (Go-Tech 事業)	4 (0)
	(国研)日本医療研究開発機構	橋渡し研究プログラム異分野融合型研究開発推進支援事業 異分野融合型研究シーズ (シーズH)	1 (0)
	(国研)科学技術振興機構	研究成果最適展開支援プログラム トライアウト	1 (0)
	荒川区	地域産業活性化研究補助金	1 (0)
	(公財)池谷科学技術振興財団	研究助成	1 (0)
	(公財)津川モーター研究財団	研究助成金	1 (0)
	(公財)精密測定技術振興財団	精密測定技術向上のための調査・研究事業	1 (0)
	(国研)科学技術振興機構	研究成果最適展開支援プログラム 産学共同 (育成型)	1 (0)

2.7.2 受託研究……………12件

企業などからの委託に基づいて都産技研職員が短期の研究・調査を行う事業である。受託研究の受け付けは常時行っており、緊急な技術課題に対して即応できるという特徴がある。また、研究費は企業の負担となるが、非公開が原則となっており、秘密保持性の高いことも受託研究の特徴の一つである。2022年度は、12件の研究・調査を実施し、5,616,100円の受託研究費を受け入れた。

2.8 研究成果の普及活動

基盤研究などの成果普及は、学協会などへの論文投稿、口頭発表を通じて行っている。また、依頼講演や依頼原稿を通じて成果普及を行うことで、中小企業の技術課題の解決や製品開発に寄与している。

2022年度は計378件の成果普及を行った。発表の実績は以下のとおりである。

論文発表（査読あり） 66件

No.	発表タイトル	執筆者	出版社などの名称	誌名
1	Relationship between the density of states effective mass and carrier concentration of thermoelectric phosphide $\text{Ag}_6\text{Ge}_{10}\text{P}_{12}$ with strong mechanical robustness	並木宏允 小林真大 永田晃基 齋藤庸賀 立花直樹 太田優一	Elsevier	Materials Today Sustainability
2	Energy Consumption of the Information Flow Control in the IoT: Simulation Evaluation	中村繁成 ほか2名	Springer	Proceedings of the 36th International Conference on Advanced Information Networking and Applications
3	An Implementation of V2R Data Delivery Method Based on MQTT for Road Safety Application	櫻庭 彬 大原 衛 ほか1名	Springer	Proceedings of the 36th International Conference on Advanced Information Networking and Applications
4	Copper whitlockite synthesized via hydrothermal transformation of calcium hydrogen phosphate dihydrate	小西敏功 渡邊禎之	Japanese Association of Inorganic Phosphorus Chemistry	Phosphorus Research Bulletin
5	Revisiting wet-chemically synthesized β -tricalcium phosphate: solid-state NMR study of local structure	小西敏功	Japanese Association of Inorganic Phosphorus Chemistry	Phosphorus Research Bulletin
6	ロータリースイッチ操作時の感触とオノマトペ表現の関係性	宮入 徹 ほか3名	日本感性工学会	日本感性工学会論文誌
7	Particle Filter Design Based on Reinforcement Learning and Its Application to Mobile Robot Localization	吉村僚太 佐藤 研 小林祐介 ほか2名	(一社)電子情報通信学会	IEICE Transactions on Information and Systems
8	Mechanical Methods of Producing Biomaterials with Aligned Collagen Fibrils	柚木俊二 ほか2名	IntechOpen	Collagen Biomaterials
9	Formation of radicals in irradiated maltose - the role of hydrogen bonding with water	中川清子	Taylor & Francis	Free Radical Research
10	Capability token selection algorithms to implement lightweight protocols	中村繁成 ほか2名	Elsevier	Internet of Things
11	Blood sorbitol measurement in diabetic rats treated with an aldose reductase inhibitor using an improved fiber-optic sorbitol biosensor	月精智子 紋川 亮 ほか2名	Elsevier	Talanta

2022年度 年報

No.	発表タイトル	執筆者	出版社などの名称	誌名
12	Preparation of Ni/12CaO · 7Al ₂ O ₃ honeycomb-type catalyst for continuous production of hydrogen by methane decomposition	染川正一 柳 捷凡 ほか2名	Elsevier	Inorganic Chemistry Communications
13	Synergetic Effect of Contact Surface Area and Elbow Joint Angle on Tendon Vibration-Induced Illusory Movement	大島浩幸 島田茂伸	Springer	24th International Conference on Human-Computer Interaction (HCI International 2022)
14	Characterization and preliminary in vivo evaluation of a self-expandable hydrogel stent with anisotropic swelling behavior and endoscopic deliverability for use in biliary drainage	永川栄泰 木下健司 ほか6名	Royal Society of Chemistry	Journal of Materials Chemistry B
15	Optical Emission Spectroscopic Measurement of Argon Low-Pressure Inductively Coupled Plasma Based on the Optimization Algorithm of Plasma Diagnostic Model	秋葉拓也 岩永敏秀 伊達修一 山岡英彦 ほか2名	IEEE	IEEE Transactions on Plasma Science
16	Ti-6Al-4V合金板の温間逐次成形における成形性に及ぼす成形条件の影響	奥出裕亮 岩岡 拓 中村 勲 片桐 嵩 村岡 剛	(一社)日本塑性加工学会	塑性と加工
17	Grain refinement of stainless steel by strontium oxide heterogeneous nucleation site particles during laser-based powder bed fusion	大久保 智 藤巻研吾 ほか3名	Elsevier	Journal of Materials Processing Technology
18	Quantitative and high-resolution mechanical pressure sensing functions of mechanochromic fluorenylidene-acridane	小汲佳祐 永田晃基 瀧本悠貴 三柴健太郎 ほか1名	Royal Society of Chemistry	Journal of Materials Chemistry C
19	Effects of plastic deformation and failure on the folding behavior of non-crosslinked ethylene propylene diene terpolymer composites	飛澤泰樹 ほか2名	Wiley	Polymer Engineering & Science
20	Polymorphism of Aspergillus fumigatus Major Allergen Genes Associating with Their Isolated Sites Affects Their IgE Epitope Structures	小沼ルミ ほか10名	Longdom Publishing SL	Fungal Genomics and Biology
21	Effects of mite allergen avoidance in children in two distant towns in Japan	小沼ルミ ほか14名	Elsevier	Revue Française d'Allergologie
22	Effect of acid-soluble wheat protein and improvement of the sponge and dough method on bread quality using domestic noodle flour	宮森清勝 ほか7名	(一社)日本食品保蔵科学会	Food Preservation Science
23	挟み込み型のコイル構造を持つ無線電力伝送システムの解析	秋山美郷 佐々木秀勝 佐野宏靖 ほか3名	(一社)電気学会	電気学会論文誌D (産業応用部門誌)
24	Development of Long and High-Density Flexible Printed Circuits	近藤 崇 藤原康平 ほか7名	(一社)エレクトロニクス実装学会	Transactions of The Japan Institute of Electronics Packaging
25	カラー写真と機械学習を用いた画像処理による鉄さび面積の測定	宇井 剛	(公財)腐食防食学会	材料と環境
26	Fog Computing Model for the Information Flow Control	中村繁成 ほか2名	Springer	Advances in Network-Based Information Systems; The 25th International Conference on Network-Based Information Systems (NBIS-2022)
27	Optimum Pressurization Mechanism for a Non-Electrical Piston-Driven Infusion Pump	加藤貴司 ほか9名	Multidisciplinary Digital Publishing Institute (MDPI)	Applied Sciences
28	感触と操作音の組み合わせを考慮したロータリースイッチ操作感覚設計手法の考案	宮入 徹 ほか4名	(公社)自動車技術会	自動車技術会論文集

No.	発表タイトル	執筆者	出版社などの名称	誌名
29	Enhanced nitrogen doping in porous carbon and its composite with MnO ₂ as an efficient oxygen reduction catalyst for Mg-air batteries	立花直樹 亀崎 悠 柴川正一 ほか1名	Springer	Journal of Materials Science
30	Band-gap engineering of rutile-structured SnO ₂ - GeO ₂ - SiO ₂ alloy system	太田優一 ほか5名	American Physical Society	Physical Review Materials
31	Biorefinery of galacturonic acid using a biofuel cell as a reactor	中川朋恵 月精智子 ほか4名	Royal Society of Chemistry	Reaction Chemistry&Engineering
32	Al ₂ O ₃ フィラー分散コーティング剤によるCFRP／アルミニウム合金の接着接合強化	小野澤明良 西川康博	(一社)強化プラスチック協会	強化プラスチック
33	Evaluation of a Non-Linguistic Tourism Information System in Mountainous Areas	阿部真也 ほか1名	GI Engineering, Technology, Applied Sciences Forum	Proceedings of the International Conference on Emerging Trends in Information Technology, Robotics, Design, Engineering and Applied Science
34	Natural band alignment of BAlN and BGaN alloys	太田優一 ほか3名	IOP Publishing	Journal of Physics D: Applied Physics
35	IEEE 802.11ad Packet Transmission Based on Radio-over-Fiber Technology with Optical SSB modulation in D-band	藤原康平 時田幸一 ほか1名	IEEE	2022 47th International Conference on Infrared, Millimeter and Terahertz Waves (IRMMW-THz)
36	Uniform irradiation of table eggs in the shell with low-energy electron beams	片岡憲昭 河原大吾 関口正之	Elsevier	Radiation Physics and Chemistry
37	Precursor concentration effects on crystallite size and enzyme immobilization efficiency of Enzyme@ZIF-8 composite	木下真梨子 柳田さやか 月精智子 紋川 亮	Elsevier	Journal of Crystal Growth
38	Inkjet printing of mechanochromic fluorenylidene-acridane	小汲佳祐 永田晃基 瀧本悠貴 三柴健太郎 ほか1名	Springer Nature	Scientific Reports
39	Potential of temperature-response collagen-genipin sol as a novel submucosal injection agent for endoscopic resection: Acute and chronic phase study using living animals	成田武文 ほか6名	Japan Gastroenterological Endoscopy Society	Digestive Endoscopy
40	Direct fluorescence evaluation of D-amino acid oxidase activity using a synthetic D-kynurenine derivative	藤巻康人 ほか6名	ACS Publications	Analytical Chemistry
41	Evaluation of the Information Flow Control in the Fog Computing Model	中村繁成 ほか2名	Springer	Proceedings of the 17th International Conference on Broad-Band Wireless Computing, Communication and Applications (BWCCA-2022)
42	Objective Odor Assessment in Patients with Osmidrosis	佐々木直里 ほか5名	American Society of Plastic Surgeons	Plastic and Reconstructive Surgery-Global Open
43	Transmission Coefficient Measurement Based on Six-port Correlator in 28-GHz-band	藤原康平 時田幸一 ほか2名	IEEE	2022 24th International Microwave and Radar Conference (MIKON)
44	New insights into local structure of wet-chemically synthesized β-tricalcium phosphate using solid-state NMR spectroscopy	小西敏功	無機マテリアル学会	Journal of the Society of Inorganic Materials, Japan
45	Comparison of decellularization protocols for cultured cell-derived extracellular matrix-Effects on decellularization efficacy, extracellular matrix retention, and cell functions	干場隆志 ほか1名	Wiley	Journal of Biomedical Materials Research Part B

No.	発表タイトル	執筆者	出版社などの名称	誌名
46	A decellularized extracellular matrix derived from keratinocytes can suppress cellular senescence induced by replicative and oxidative stresses	干場隆志	Royal Society of Chemistry	Biomaterials Science
47	Optimization of penetration depth and powder layer thickness for proper interlayer adhesion in polymer laser sintering	山内友貴 木暮尊志 ほか1名	International Solid Freeform Fabrication Symposium	Proceedings of the 33rd Annual International Solid Freeform Fabrication Symposium
48	Design and Fabrication of Additive Manufactured Violin (1st Report, Process Construction and Design Implementation)	横山幸雄 紋川 亮 木暮尊志 大久保 智	(公社)日本設計工学会	設計工学
49	Design and Fabrication of Additive Manufactured Violin (2nd Report, Implementation of Fabrication and Evaluation)	横山幸雄 紋川 亮 木暮尊志 大久保 智	(公社)日本設計工学会	設計工学
50	Evacuation-route Navigation System with Non-linguistic Interfaces	阿部真也 ほか1名	Global Illuminators	Proceedings of the International Conference on Emerging Trends in Academic Research
51	Electrochemical degradation mechanism of trichloroethylene in glass bead model soil	田熊保彦 ほか6名	日本沙漠学会	沙漠研究
52	Effects of random and controlled irregularity in strut lattice structure of PA12 on compression anisotropy	大久保 智 山内友貴 ほか1名	Elsevier	Additive Manufacturing
53	Development of a Simplified Six-Port Correlator for the 28 GHz Band	時田幸一 藤原康平 ほか2名	IEEE	Proceedings of 2022 Asia-Pacific Microwave Conference
54	Analysis of reaction products on hydroxyapatite created by tooth etchants with different compositions	寺西義一 ほか10名	日本大学歯学部	Journal of oral science
55	Quaternary ammonium ionene porous polymers via Menshutkin reaction of methylated polyethyleneimine and dibromoalkanes	成田武文 ほか3名	Elsevier	Materials Chemistry and Physics
56	Hydraulic Loss and Internal Flow of a Pump Equipped with an Impeller with Radial and Annular Flow Channels	小西 毅 平野康之 ほか1名	ターボ機械協会	International Journal of Fluid Machinery and Systems
57	Soft Metal Hydride Actuator as a Rescue Jack Using Accessible Heat Sources	島田茂伸 ほか4名	Springer Nature	International Journal of Precision Engineering and Manufacturing
58	Load Balancing Algorithm for Information Flow Control in Fog Computing Model	中村繁成 ほか2名	Springer	Proceedings of the 11th International Conference on Emerging Internet, Data & Web Technologies
59	Localized surface plasmon resonance sensing of SO ₂ and H ₂ S using zeolitic imidazolate framework-8	瀧本悠貴 紋川 亮 永田晃基 月精智子 小林真大 木下真梨子 ほか2名	Elsevier	Sensors and Actuators B: Chemical
60	Whitlockites: Conventional and novel ceramics for synthetic bone graft substitutes	小西敏功	無機マテリアル学会	Journal of the Society of Inorganic Materials, Japan
61	Non-linguistic Evacuation-route Navigation System in Tsunami Disaster Areas	阿部真也 ほか1名	Global Illuminators	Proceedings of the International Conference on Global Issues in Multidisciplinary Academic Research
62	Object Placement Algorithm with Information Flow Control in Fog Computing Model	中村繁成 ほか2名	Springer	Proceedings of the 37th International Conference on Advanced Information Networking and Applications
63	Study on microwave absorber acting as an antenna	小畑 輝 高橋文緒 渡部雄太	(一社)電気情報通信学会	IEICE Communications Express

No.	発表タイトル	執筆者	出版社などの名称	誌名
64	Automatic drift compensation for nanoscale imaging using feature point matching	上田啓市 ほか5名	AIP Publishing	Applied Physics Letters
65	Nondestructive observation of the surrounding powder in the vicinity of polymer laser-sintered specimens for understanding orange peel formation	小林隆一 ほか1名	Emerald Publishing	Rapid Prototyping Journal
66	Investigation into effect of beam defocusing in low temperature laser sintering of PEEK	木暮尊志 山内友貴 ほか1名	International Solid Freeform Fabrication Symposium	Proceedings of the 33rd Annual International Solid Freeform Fabrication Symposium

論文発表（査読なし） 3件

No.	発表タイトル	執筆者	出版社などの名称	誌名
1	Domain Invariant Siamese Attention Mask for Small Object Change Detection via Everyday Indoor Robot Navigation	武田康司 中村佳雅 ほか1名	IEEE	2022 IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robots and Systems (IROS)
2	Natural band alignment of MgO _{1-x} S _x alloys	太田優一 ほか3名	AIP Publishing	AIP Advances
3	Development of a novel rutile-type SnO ₂ -GeO ₂ -SiO ₂ alloy system	太田優一 ほか5名	SPIE	Proceedings of Society of Photo-Optical Instrumentation Engineers

口頭発表 132件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
1	Energy Consumption of the Information Flow Control in the IoT: Simulation Evaluation	中村繁成 ほか2名	2022. 4. 15	The 36th International Conference on Advanced Information Networking and Applications
2	An Implementation of V2R Data Delivery Method Based on MQTT for Road Safety Application	櫻庭 彬 大原 衛 ほか1名	2022. 4. 15	The 36th International Conference on Advanced Information Networking and Applications
3	車いす走行時の心拍数と酸素摂取量の関係－機械学習を用いた生体情報パラメータ推定のための基礎的研究	石堂 均 大島浩幸 ほか8名	2022. 5. 13	MEとバイオサイバネティクス研究会 (MBE)
4	60 GHz帯 SIW 電力分配器の開発	藤原康平 時田幸一 ほか1名	2022. 5. 20	電子情報通信学会マイクロ波研究会5月
5	CFRP製フライホイール成形における樹脂流動が繊維配向に与える影響の解析的検討	窪寺健吾 ほか2名	2022. 5. 22	日本設計工学会2022年度 春季大会研究発表講演会
6	ZrO ₂ とDLCの超低摩擦現象に及ぼす垂直剛性の影響	齋藤庸賀 徳田祐樹 國枝泰博 川口雅弘	2022. 5. 23	トライボロジー会議2022 春 東京
7	WC-Ni硬質皮膜の機械的特性に及ぼすめっき膜厚および熱処理条件の影響	齋藤庸賀 ほか4名	2022. 5. 24	粉末冶金協会2022年度春季大会（第129回講演大会）
8	摩擦フェイドアウトを発現したトライボフィルムのTOF-SIMS分析による炭素sp ¹ 結合の評価	徳田祐樹 川口雅弘 ほか3名	2022. 5. 25	トライボロジー会議2022春 東京
9	真菌類由来揮発性有機化合物の木材腐朽菌に対する生理活性に関する調査	小沼ルミ ほか2名	2022. 5. 25	日本木材保存協会第38回年次大会
10	屋外に暴露した含浸形塗装木材表面色の経年変化の統計的性質	村井まどか ほか19名	2022. 5. 25	日本木材保存協会第38回年次大会
11	Analyses of Band Alignment in Rocksalt-Structured MgZnO/MgO Interface	太田優一 ほか7名	2022. 5. 26	The 5th International Workshop on UV Materials and Devices
12	感触と操作音の組み合わせを考慮したロータリースイッチ操作感覚の創生	宮入 徹 ほか4名	2022. 5. 27	自動車技術会2022年春季大会
13	均熱性に優れた立体形状ヒーターの開発	唐木由佑 窪寺健吾 ほか2名	2022. 6. 2	日本繊維機械学会第75回年次大会
14	湿式合成したβ-リン酸三カルシウムの局所結晶構造	小西敏功	2022. 6. 2	無機マテリアル学会第144回講演会
15	CFRTP格子構造材の曲げ特性	西川康博 武田浩司	2022. 6. 3	日本繊維機械学会第75回年次大会

2022年度 年報

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
16	高アスペクト比の角筒ケース成形を目的とした深絞り加工性に及ぼすパンチ形状の影響	玉置賢次 ほか6名	2022. 6. 5	2022年度塑性加工春季講演会
17	チタン合金板の絞りしごき成形と成形シミュレーション	奥出裕亮 岩岡 拓 中村 勲 片桐 嵩 村岡 剛	2022. 6. 5	2022年度塑性加工春季講演会
18	細胞老化を抑制する生体内環境を模倣した角化細胞用培養基板の作製	干場隆志	2022. 6. 11	第47回日本香粧品学会
19	Application of low energy X-rays for conservation and restoration of Nguyen dynasty woodblocks in Vietnam	片岡憲昭 ほか4名	2022. 6. 14	IAEA Workshop on Innovative Approaches of Accelerator Science and Technology for Sustainable Heritage Management
20	導波管マイクロストリップ変換器を付与したW帯SIW電力分配器の開発	藤原康平 時田幸一 ほか1名	2022. 7. 19	電子情報通信学会 マイクロ波研究会7月
21	Investigation into effect of beam defocusing in low temperature laser sintering of PEEK	木暮尊志 山内友貴 ほか1名	2022. 7. 26	The 33rd Annual International Solid Freeform Fabrication Symposium 2022
22	Optimization of penetration depth and powder layer thickness for proper interlayer adhesion in polymer laser sintering	山内友貴 木暮尊志 ほか1名	2022. 7. 26	The 33rd Annual International Solid Freeform Fabrication Symposium 2022
23	障害がある子どもに対するストロー補助具の開発	酒井日出子 西川康博 大島浩幸 福原悠太 ほか2名	2022. 8. 20	LIFE2022「第21回日本生活支援工学会大会」
24	加水分解分離大豆タンパク質によるエマルションの物性	野田誠司 ほか4名	2022. 8. 25	日本食品科学工学会第69回大会
25	Evaluation of a Non-Linguistic Tourism Information System in Mountainous Areas	阿部真也 ほか1名	2022. 8. 27	4th International Conference on Emerging Trends in Information Technology, Robotics, Design, Engineering and Applied Science
26	IEEE 802.11ad Packet Transmission Based on Radio-over-Fiber Technology with Optical SSB modulation in D-band	藤原康平 時田幸一 ほか1名	2022. 8. 29	47th International Conference on Infrared, Millimeter and Terahertz Waves
27	フィルター溶出によって得られた多孔質AM部品の空隙率と機械的特性の調査	藤井絃一 山内友貴 木暮尊志	2022. 8. 29	2022年度砥粒加工学会学術講演会
28	流量制御器における近接照射法を用いたノイズ耐性向上の検討	佐々木秀勝 佐野宏靖 ほか1名	2022. 8. 31	2022年電気学会産業応用部門大会
29	実使用状態を考慮したモータ性能評価結果	長谷川 孝 志水 匠	2022. 9. 1	2022年電気学会産業応用部門大会
30	Development and in vivo evaluation of self-expandable hydrogel biliary stent with anisotropic swelling behavior	永川榮泰 木下健司 ほか6名	2022. 9. 6	第71回高分子討論会
31	Visualization and Quantification of Corrosion Processes during Salt Spray Tests	石田祐也 山田麻祐子 村井まどか 佐熊範和 ほか2名	2022. 9. 6	The 9th IIAE International Conference on Intelligent Systems and Image Processing 2022
32	はりの固有振動数最大化を目的とした断面形状の検討	福田良司 金 大貴	2022. 9. 6	Dynamics and Design Conference 2022
33	画像変化検出を使用した床上小物体回避アプリケーションの移動ロボットへの実装	武田康司 中村佳雅 ほか1名	2022. 9. 6	第40回日本ロボット学会学術講演会
34	低締付トルク時における整形外科用インプラントの疲労強度向上に関する研究	鈴木悠矢 西川康博	2022. 9. 7	2022年度精密工学会秋季大会学術講演会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
35	現場環境における三次元測定機の高度化に関する研究 -レーザ測長器と校正された温度計を用いた温度補正の評価-	大西 徹 ほか1名	2022. 9. 7	2022年度精密工学会秋季大会学術講演会
36	Fog Computing Model for the Information Flow Control	中村繁成 ほか2名	2022. 9. 7	The 25th International Conference on Network-Based Information Systems
37	上市されている生分解樹脂フィルムの実海域での崩壊性挙動	佐野 森 ほか15名	2022. 9. 7	第71回高分子討論会
38	宇宙線を用いたsPHENIX実験-中間飛跡検出器INTT用シリコンセンサーの性能評価	近藤 崇 ほか15名	2022. 9. 7	日本物理学会2022年秋季大会
39	sPHENIX実験-INTTシリコン検出器用マイクロ同軸製読み出しケーブルの開発	近藤 崇 ほか15名	2022. 9. 7	日本物理学会2022年秋季大会
40	X線CT画像を活用した内部欠陥検出技術の精度向上	富山真一 竹澤 勉	2022. 9. 8	産業応用工学会全国大会2022
41	メカノケミカル処理による窒素ドープカーボンブラック触媒の酸素還元特性	立花直樹 並木宏允 染川正一	2022. 9. 8	2022年電気化学秋季大会
42	塩水噴霧試験中の腐食過程の可視化および定量化方法の提案	石田祐也 山田麻祐子 村井まどか 佐熊範和 ほか2名	2022. 9. 8	産業応用工学会全国大会2022
43	内外寸形状測定における評価ゲージの検討	樋口英一 富山真一 中西正一 三浦由佳	2022. 9. 8	産業応用工学会全国大会2022
44	Effect of laminated elastic mandrel on deformation behavior of extruded aluminum rectangle section during bending process	奥出裕亮 村岡 剛 片桐 嵩 ほか3名	2022. 9. 8	The 18th International Conference on Aluminium Alloys
45	PBF式金属AMにおけるレーザ溶融プロセスの粉末挙動	藤巻研吾	2022. 9. 9	2022年度精密工学会秋季大会学術講演会
46	軟X線照射におけるアラニンラジカル生成効率とスピン緩和時間のX線エネルギー依存性(1)	中川清子 ほか3名	2022. 9. 10	第65回放射線化学討論会
47	Transmission Coefficient Measurement Based on Six-port Correlator in 28-GHz-band	藤原康平 時田幸一 ほか2名	2022. 9. 12	2022 24th International Microwave and Radar Conference (MIKON)
48	電気技術史研究会における研究動向	岡部 忠	2022. 9. 13	令和4年電気学会基礎・材料・共通部門大会
49	On the growth of Ti and Al films on inner wall of millimeter-sized hole by high-power impulse magnetron sputtering	寺西義一 ほか3名	2022. 9. 13	The 22nd International Vacuum Congress
50	放射・環状流路羽根車を有する遠心式ポンプの内部流動と水力損失	小西 毅 平野康之 ほか1名	2022. 9. 14	日本機械学会2022年度年次大会
51	めっき工程の化学物質濃度推定技術と環境負荷の低減	田熊保彦 森久保 諭 榎本大佑 西田 葵 安藤恵理 小坂幸夫	2022. 9. 14	化学工学会第53回秋季大会
52	微細気泡がめっき排水中の沈殿物に与える効果	森久保 諭 榎本大佑 西田 葵 田熊保彦	2022. 9. 14	化学工学会第53回秋季大会
53	垂鉛めっき廃水由来の陰イオン吸着材における廃液中の夾雑物質の影響	榎本大佑 森久保 諭 田熊保彦	2022. 9. 14	化学工学会第53回秋季大会
54	低抵抗測定における測定器のドリフト除去	倉持幸佑 佐々木正史	2022. 9. 14	令和4年電気学会基礎・材料・共通部門大会

2022年度 年報

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
55	樹脂粉末溶融結合とめっきによるアンテナ付き28GHz帯ダウンコンバータモジュールの開発	小林隆一 藤原康平 渡部雄太 桑原聡士 竹村昌太 滝沢耕平	2022. 9. 14	電子情報通信学会マイクロ波研究会9月
56	光触媒反応に向けた金属酸化物/金属複合量子ドットの合成	柳田さやか 染川正一 ほか4名	2022. 9. 14	日本セラミックス協会第35回秋季シンポジウム
57	クリック数に着目したロータリースイッチ操作感覚のオノマトベによる評価	宮入 徹 ほか4名	2022. 9. 15	日本音響学会2022年秋季研究発表会
58	A novel ultra-wide bandgap alloy system based on rutile-type oxides	太田優一 ほか5名	2022. 9. 19	The 2022 E-MRS Fall Meeting
59	化合物系太陽電池パネルのリサイクル方法の検討	平井和彦 中澤亮二 亀崎 悠	2022. 9. 20	第33回廃棄物資源循環学会研究発表会
60	明視野X線トポグラフィによるZnO基板中転位の同定	太田優一 ほか4名	2022. 9. 20	第83回応用物理学会秋季学術講演会
61	岩塩型MgZnO混晶のドーピング傾向の予測	太田優一 ほか3名	2022. 9. 21	第83回応用物理学会秋季学術講演会
62	リン化物熱電材料Ag ₅ Ge ₁₀ P ₁₂ の状態密度有効質量とキャリア密度の関係	並木宏允 小林真大 永田晃基 齋藤庸賀 立花直樹 太田優一	2022. 9. 21	第83回応用物理学会秋季学術講演会
63	高速度カメラCT装置における周期運動を行う物体の4次元CT再構成手法	紋川 亮 瀧本悠貴 三浦由佳 月精智子 ほか5名	2022. 9. 21	日本機械学会第32回設計工学・システム部門講演会
64	放射環状流路を有する羽根車を搭載したポンプの水力損失とその損失発生メカニズム	小西 毅 平野康之 ほか1名	2022. 9. 28	日本流体力学会年会2022
65	金属積層造形における造形割れ感受性評価方法の検討	千葉浩行	2022. 9. 30	日本鑄造工学会第180回全国講演大会
66	銅-亜鉛還元コイル法を用いた硝酸分析法の開発	榎本大佑 森久保 諭 田熊保彦 ほか4名	2022. 10. 7	日本環境測定分析協会2022年度第29回日環協・環境セミナー全国大会 in 京都
67	Surface Treatment of Eggs and Lemons by Low-Energy Electron Beams.	片岡憲昭	2022. 10. 10	Second Research Coordination Meeting of CRP D61025 on Innovating Radiation Processing of Food with Low Energy Beams from Machine Sources
68	60 GHz帯SIWハイブリッドカプラの開発	藤原康平 時田幸一 ほか1名	2022. 10. 13	電子情報通信学会マイクロ波研究会10月
69	強化ガラスにおける起点部をもつ破片探索高効率化に向けた光学的手法の検討	平 健吾 澁谷孝幸 宮宅ゆみ子 藤井美紅	2022. 10. 13	日本材料学会第17回フラクトグラフィシンポジウム
70	Development of warm and cold incremental press forming method of titanium alloy sheets	奥出裕亮 岩岡 拓 中村 勲 片桐 嵩 村岡 剛	2022. 10. 13	23rd International Conference on Advances in Materials and Processing Technologies
71	機能性樹脂をパターン配置したCFRPのご紹介	武田浩司 峯 英一 西川康博	2022. 10. 14	強化プラスチック協会66th FRP CON-EX 2022
72	Experimental Study of Flammability Test on Our Test Facility	中澤誠人 村岡 剛 ほか4名	2022. 10. 20	10th Triennial International Aircraft Fire and Cabin Safety Research Conference

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
73	Small Object Change Detection for Small Obstacle Avoidance in Everyday Robot Navigation	武田康司 中村佳雅 ほか1名	2022. 10. 23	13th IROS Workshop on Planning, Perception, Navigation for Intelligent Vehicle
74	Domain Invariant Siamese Attention Mask for Small Object Change Detection via Everyday Indoor Robot Navigation	武田康司 中村佳雅 ほか1名	2022. 10. 24	2022 IEEE/RSJ International Conference on Intelligent Robots and Systems
75	The effect of auditory feedback on user perception during rotary switch operation	宮入 徹 ほか4名	2022. 10. 24	24th International Congress on Acoustics
76	CR法における撮影条件などの決定における一考察	河原大吾 ほか2名	2022. 10. 25	日本非破壊検査協会2022年度秋季講演大会
77	DDA法の撮影条件などの決定と散乱比	河原大吾 ほか3名	2022. 10. 25	日本非破壊検査協会2022年度秋季講演大会
78	Evaluation of the Information Flow Control in the Fog Computing Model	中村繁成 ほか2名	2022. 10. 28	The 17th International Conference on Broad-Band Wireless Computing, Communication and Applications
79	偏波変換メタサーフェスを用いたチップレスRFIDタグの形状最適化	渡部雄太	2022. 11. 1	日本AEM学会第31回MAGDAコンファレンス
80	Measurement of the Infusion Flow Rate Produced by a Novel Non-electric-powered Infusion Pump	加藤貴司 ほか9名	2022. 11. 3	Flomeko 2022
81	深層学習を用いた車いす駆動時の酸素摂取量の推定	石堂 均 大島浩幸 佐々木智典 ほか6名	2022. 11. 5	日本機械学会スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス部門 シンポジウム：スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス2022
82	慣性センサを用いた材質の異なる競技用車いすの性能評価	石堂 均 大島浩幸 佐々木智典 ほか6名	2022. 11. 5	日本機械学会スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス部門 シンポジウム：スポーツ工学・ヒューマンダイナミクス2022
83	アームスリングケーブルの温熱的快適性が心身に与える影響	山田 巧 ほか3名	2022. 11. 6	第6回日本リハビリテーション医学会秋季学術集会
84	積層造形用マグネシウム合金粉末の着火性に及ぼす合金元素添加の影響	岩岡 拓 小林 旦 ほか1名	2022. 11. 13	軽金属学会第143回秋期大会
85	微小サンプルの高効率回収法の提案	山岡英彦 永田晃基 ほか2名	2022. 11. 14	ものづくり企業のための大学・産業技術研究センター 研究発表・交流会
86	Realization of Near-Band-Edge Cathodoluminescence in 190 nm Wavelength Range by Rocksalt-Structured MgZnO Epitaxial Films	太田優一 ほか8名	2022. 11. 14	The 10th Asia-Pacific Workshop on Widegap Semiconductors
87	天然素材を活用したプラスチック代替素材によるストロー開発	酒井日出子	2022. 11. 14	ものづくり企業のための大学・産業技術研究センター 研究発表・交流会
88	導波管マイクロストリップ変換器を付与したW帯SIWハイブリッドカプラの開発	藤原康平 時田幸一 ほか1名	2022. 11. 15	電子情報通信学会マイクロ波研究会11月
89	打ち抜き加工用WC-Ni硬質皮膜の耐久性に及ぼす皮膜施工条件の影響	齋藤庸賀 ほか6名	2022. 11. 15	粉末冶金協会2022年度秋季大会（第130回講演大会）
90	Effect of strain rate and punch shape on formability in flaring process for tube diameter expansion in the finite element analysis	村岡 剛 奥出裕亮 ほか2名	2022. 11. 15	Tubehydro2022
91	Tube forming of Mg alloy by drawing and ironing	奥出裕亮 中村 勲 片桐 嵩 村岡 剛	2022. 11. 16	Tubehydro2022
92	28GHz帯基準信号発生器の開発	藤原康平 時田幸一 ほか2名	2022. 11. 16	電子情報通信学会マイクロ波研究会11月
93	基板実装部品のsパラメータ測定におけるジグ補正手法の検証	近藤 崇 藤原康平	2022. 11. 16	電子情報通信学会マイクロ波研究会11月

2022年度 年報

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
94	ルチル型酸化物混晶系 (SnO ₂ -GeO ₂ -SiO ₂) の開発	太田優一 ほか5名	2022. 11. 19	2022年度第3回半導体エレクトロニクス部門委員会第2回研究会、2022年度第1回ナノ材料部門委員会第1回研究会
95	金型形状および材料の異方性に着目した円筒深絞り加工法	村岡 剛 奥出裕亮 中村 勲 片桐 嵩	2022. 11. 19	第73回塑性加工連合講演会
96	マグネシウム合金板の温間絞りしごき成形	奥出裕亮 中村 勲 片桐 嵩 村岡 剛	2022. 11. 19	第73回塑性加工連合講演会
97	ポリビニルアルコールゲルを母材とした自己拡張型胆管ステントのin vivo評価	永川栄泰 木下健司 石川雄樹 ほか6名	2022. 11. 21	第44回日本バイオマテリアル学会大会
98	角化細胞の細胞老化を抑制する脱細胞化細胞外マトリックス基板の作製	干場隆志	2022. 11. 22	第44回日本バイオマテリアル学会大会
99	Evacuation-route Navigation System with Non-linguistic Interfaces	阿部真也 ほか1名	2022. 11. 26	8TH INTERNATIONAL CONFERENCE ON "EMERGING TRENDS IN ACADEMIC RESEARCH" (ETAR-2022)
100	Development of a Simplified Six-Port Correlator for the 28 GHz Band	時田幸一 藤原康平 ほか2名	2022. 12. 1	2022 Asia-Pacific Microwave Conference
101	ROSを用いた屋外自律走行機能の研究開発	中村佳雅	2022. 12. 9	継続学習と知能の創発研究会（日本知能情報ファジィ学会） 第4回 継続学習と知能の創発研究会
102	60GHz帯 SIW 方向性結合器の開発	藤原康平 時田幸一 ほか1名	2022. 12. 15	電子情報通信学会マイクロ波研究会12月
103	28GHz帯6ポート型VNAの開発	藤原康平 時田幸一 山岡英彦 ほか2名	2022. 12. 16	電子情報通信学会マイクロ波研究会12月
104	溝幅及び開口部エッジ曲率半径を制御した微細溝足場構造におけるがん細胞の運動評価	小宮一毅 永田晃基 ほか3名	2022. 12. 18	日本機械学会 第33回バイオフロンティア講演会
105	光学活性キヌレン誘導体MeS-D, L-キヌレンの合成ならびに応用	藤巻康人 ほか5名	2022. 12. 25	日本トリプトファン研究会第41回学術集会
106	低エネルギー電子線の食品照射利用と国際動向	片岡憲昭 河原大吾 関口正之 ほか3名	2023. 1. 19	令和4年度日本原子力学会北関東支部「リモート若手研究者・技術者発表会」
107	表面弾性波による工業用クロムめっき評価法の検討	長内慧多 西村信司 ほか5名	2023. 1. 25	日本非破壊検査協会超音波部門 第30回超音波による非破壊評価シンポジウム
108	Local 3D measurement with a mobile manipulator in a wide-area space	萩原颯人 中村佳雅 ほか1名	2023. 1. 26	28th International Symposium on Artificial Life and Robotics
109	Non-linguistic Evacuation-route Navigation System in Tsunami Disaster Areas	阿部真也 ほか1名	2023. 2. 18	8th International Conference on Global Issues in Multidisciplinary Academic Research
110	Load Balancing Algorithm for Information Flow Control in Fog Computing Model	中村繁成 ほか2名	2023. 2. 24	The 11th International Conference on Emerging Internet, Data & Web Technologies
111	製造現場のボトムアップ改善ループに向けたデジタル化生産プロセス情報の適用	中川善継 ほか4名	2023. 3. 4	情報処理学会第85回全国大会
112	挟み込み構造 WPT方式の伝送効率の送受電コイル間角度特性	秋山美郷 新井宏章 佐野靖宏 ほか3名	2023. 3. 7	電子情報通信学会2023年総合大会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
113	表皮効果を考慮したゲート電極を用いたFETモデリングの検討	近藤 崇 藤原康平 ほか3名	2023. 3. 7	電子情報通信学会2023年総合大会
114	インプラントの固定性状に及ぼす β -リン酸三カルシウム系骨セメントの適用条件の影響	小船論史 田中 陽 小西敏功 ほか2名	2023. 3. 9	日本セラミックス協会2023年年会
115	複数PFM制御電源における遠方界測定ノイズ分離推定の一検討	佐野宏靖 鈴木 聡 佐々木秀勝 金田泰昌 ほか1名	2023. 3. 10	電子情報通信学会2023年総合大会
116	XAFSと電子顕微鏡観察によるCu ₂ O-Au-TiO ₂ 複合体中の電子移動の調査	柳田さやか 染川正一	2023. 3. 10	日本セラミックス協会2023年年会
117	清酒を異なる温度にて9か月間貯蔵した際の品質変化	佐藤万里 三枝静江 細井知弘	2023. 3. 14	日本農芸化学会2023年度大会
118	真菌類が放散する揮発性有機化合物が有する木材腐朽菌の菌糸成長に対する生物活性に関する調査	小沼ルミ ほか2名	2023. 3. 14	第73回日本木材学会大会
119	高速摩擦処理した木材表面におけるトライボケミカル反応の影響	樋口智寛 西田 葵 峯 英一 ほか4名	2023. 3. 14	第73回日本木材学会大会
120	木材の高速摩擦処理における表面温度の予測と制御	樋口智寛 西田 葵 峯 英一 ほか4名	2023. 3. 14	第73回日本木材学会大会
121	定格負荷を連続的に与えたときのモータ筐体およびモータ回転軸の温度測定	長谷川 孝	2023. 3. 15	令和5年電気学会全国大会
122	計量テキスト分析によるHISTELCONにおける研究動向	岡部 忠	2023. 3. 15	令和5年電気学会全国大会
123	高音域の音圧低下による子音の聴き取りにくさに関する基礎検討	渡辺茂幸 宮入 徹	2023. 3. 15	日本音響学会 第149回（2023年春季）研究発表会
124	誘電泳動法により捕集されたマイクロプラスチック量の定量評価手法の開発	山岡英彦 永田晃基 ほか3名	2023. 3. 15	令和5年電気学会全国大会
125	レーザー焼結の積層ピッチ拡大に向けたプロセス最適化方法の検討	山内友貴 木暮尊志 ほか1名	2023. 3. 16	2023年度精密工学会春季大会学術講演会
126	矩形試験室における低周波域の音響透過損失測定に関する実験的検討	西沢啓子 ほか2名	2023. 3. 16	日本音響学会 第149回（2023年春季）研究発表会
127	レーザー焼結低温造形の材料溶融プロセスの考察	木暮尊志 山内友貴 ほか1名	2023. 3. 16	2023年度精密工学会春季大会学術講演会
128	特徴点マッチングを用いたナノスケールイメージングに向けた自動ドリフト補正システム	上田啓市 ほか5名	2023. 3. 16	第70回応用物理学会春季学術講演会
129	誘電泳動インピーダンス計測法によるマイクロプラスチック数量測定デバイスの検討	山岡英彦 永田晃基 ほか3名	2023. 3. 16	令和5年電気学会全国大会
130	宇宙線を用いたsPHENIX実験-中間飛跡検出器INTTの検出効率計算およびタイミング依存性の確認	近藤 崇 ほか18名	2023. 3. 25	日本物理学会2023年春季大会
131	D-アミノ酸酸化酵素活性評価のためのD-キヌレニン型蛍光プローブの開発と応用（第2報）	藤巻康人 ほか5名	2023. 3. 28	日本薬学会第143年会（札幌）
132	Object Placement Algorithm with Information Flow Control in Fog Computing Model	中村繁成 ほか2名	2023. 3. 30	The 37th International Conference on Advanced Information Networking and Applications

2022年度 年報

ポスター発表 46件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
1	Conductivity of metal woven structure for solid oxide fuel cell	窪寺健吾 峯 英一 ほか1名	2022. 5. 26	2022 International Conference on Clothing and Textiles
2	Stability of electrical resistance of a textile crack sensor under accelerated weathering test	峯 英一 窪寺健吾 伊東洋一 渡部友太郎 ほか2名	2022. 5. 27	2022 International Conference on Clothing and Textiles
3	均熱性に優れた立体形状ヒーターの開発	唐木由佑 窪寺健吾 ほか2名	2022. 6. 2	日本繊維機械学会第75回年次大会
4	100%天然素材でできたストロー	酒井日出子	2022. 6. 25	日本デザイン学会第69回春季研究発表大会
5	Synergetic Effect of Contact Surface Area and Elbow Joint Angle on Tendon Vibration-Induced Illusory Movement	大島浩幸 島田茂伸	2022. 6. 26	24th International Conference on Human-Computer Interaction
6	Isolation and characterization of a manganese oxidizing bacterium from a submerged plant, <i>Ranunculus nipponicus</i> var. <i>submersus</i>	永川榮泰 ほか4名	2022. 7. 11	The 8th International Symposium on Metallomics
7	Determination of Energy Levels for Organic semiconductor Film by Photoemission Yield Spectroscopy and UV-vis-NIR Spectroscopy	小汲佳祐 藤巻康人 ほか1名	2022. 7. 12	25th IUPAC International Conference on Physical Organic Chemistry
8	光触媒反応に向けた金属酸化物/金属複合量子ドットの合成	柳田さやか 柴川正一 ほか4名	2022. 7. 14	日本ゾル-ゲル学会第20回討論会
9	Natural band alignment of III-nitride semiconductor alloys: A simple approach	太田優一	2022. 8. 5	The 5th International Union of Materials Research Societies International Conference of Young Researchers on Advanced Materials
10	親水性及び親油性物質の透過性を有するセラチンフィルムの開発	永川榮泰 ほか2名	2022. 9. 6	第71回高分子討論会
11	細胞の働きで修復されるコラーゲン基材の設計	利根川朝人	2022. 9. 7	第71回高分子討論会
12	陶磁器製作に使われる糊の効果-焼成に伴う顔料の成分変化-	樋口智寛 ほか2名	2022. 9. 11	日本文化財科学会第39回大会
13	レファレンスフリーツールを含む発現変動解析ツールの比較	吉次なぎ ほか3名	2022. 9. 14	2022年日本バイオインフォマティクス学会年会・第11回生命医薬情報学連合大会
14	近赤外分光法による樹脂構造体内部での接着剤硬化モニタリング	藤巻康人 古杉美幸 井上 潤	2022. 9. 15	日本分析化学会第71年会
15	ポーラス17-4PHステンレス鋼のエネルギー吸収プロセスにおける残留オーステナイト相の役割	大久保 智 ほか3名	2022. 9. 20	日本金属学会2022年秋期（第171回）講演大会
16	メカノクロミズムの発現制御とインクジェットプリンタへの応用展開	小汲佳祐 永田晃基 瀧本悠貴 三柴健太郎 ほか1名	2022. 9. 20	第32回基礎有機化学討論会
17	絶対PL量子収率測定を用いた医薬品評価手法	藤巻康人 ほか2名	2022. 9. 21	第83回応用物理学会秋季学術講演会
18	漆喰の消石灰含有率が防カビ効果に与える影響	小沼ルミ ほか5名	2022. 9. 27	日本防菌防黴学会第49回年次大会
19	光触媒反応によるCO ₂ 還元に向けた酸化インジウム量子ドットの欠陥制御	柳田さやか 柴川正一 ほか4名	2022. 10. 18	日本化学会秋季事業第12回CSJ化学フェスタ2022
20	Automatic thermal drift compensation for scanning probe microscopy using the feature point extraction	上田啓市 ほか5名	2022. 10. 18	14th International Symposium on Atomic Level Characterizations for New Materials and Devices '22
21	Development of a novel rutile-type SnO ₂ -GeO ₂ -SiO ₂ alloy system	太田優一 ほか5名	2022. 10. 19	第41回電子材料シンポジウム（EMS41）

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
22	Development of highly functional adaptors for sports prostheses	千葉浩行 小林隆一 新垣 翔 ほか5名	2022. 10. 19	2022 IEEE 11th Global Conference on Consumer Electronics
23	Schottky barrier height for Ga ₂ O ₃ polymorphs: A simple estimation	太田優一 ほか3名	2022. 10. 20	第41回電子材料シンポジウム (EMS41)
24	Shape Optimization of mmWave Band Chipless RFID Tag Composed of Metasurface Polarizer	渡部雄太	2022. 10. 24	20th Biennial Conference on Electromagnetic Field Computation
25	Optimization of Corrugated Horn Antenna Fabricated by Additive Manufacturing and Plating	渡部雄太 桑原聡士 小林隆一 滝沢耕平 竹村昌太 藤原康平	2022. 10. 24	20th Biennial Conference on Electromagnetic Field Computation
26	コマツナの機能性成分ルテインとそのバイオアクセシビリティ評価法	石本太郎 堀江秀樹 ほか2名	2022. 11. 2	農業・食品産業技術総合研究機構 食品研究部門食品研究成果展示会2022
27	Adsorption Behavior of Dye on Natural Banana Fiber	梶山哲人 ほか4名	2022. 11. 6	The 8th International Conference on Ion Exchange
28	サーモカメラおよび熱電対による衣素材の吸湿発熱と放湿吸熱評価	山口隆志 ほか3名	2022. 11. 9	2022年繊維学会秋季研究発表会
29	高分子ブレンドの加水分解を用いたポリマーモノリスの細孔径モデルの検討	白波瀬朋子 佐野 森 磯田和貴	2022. 11. 9	2022年繊維学会秋季研究発表会
30	繊維芽・角化細胞の複製・酸化老化モデル誘導法とその比較	原 司 干場隆志	2022. 11. 10	第95回日本生化学会大会
31	ナノギャップデバイスによる真空度測定の検討	小宮一毅 永田晃基 山岡英彦 伊達修一 宮下惟人 ほか1名	2022. 11. 16	第39回「センサ・マイクロマシンと応用システム」シンポジウム
32	固体NMRによるβ-リン酸三カルシウム合成の最適化	小西敏功	2022. 11. 22	第44回日本バイオマテリアル学会大会
33	細胞により修復されるコラーゲンのための格子型骨格の設計	利根川朝人	2022. 11. 22	第44回日本バイオマテリアル学会大会
34	親水性及び親油性物質に透過性を有するヒト爪甲モデルの開発	永川栄泰 石川雄樹 ほか2名	2022. 11. 22	第44回日本バイオマテリアル学会大会
35	アラニン-d4へのイオンビーム照射で生成するラジカルのスピン-スピン緩和時間とエネルギー付与の関係	中川清子	2022. 12. 2	第61回電子スピンサイエンス学会年会
36	Effect of tribo-chemical reaction on high-speed friction treated surface of wood	西田 葵 樋口智寛 ほか4名	2022. 12. 6	第32回日本MRS年次大会
37	Prediction and control of surface temperature in high-speed friction treatment of wood	樋口智寛 西田 葵 ほか4名	2022. 12. 6	第32回日本MRS年次大会
38	Cu ₂ O-Au-TiO ₂ 光触媒における電荷移動のXAFSおよび微細構造観察を用いた評価	柳田さやか 染川正一	2022. 12. 16	光機能材料研究会第27回シンポジウム「光触媒反応の最近の展開」
39	住宅床ハウスダストの真菌叢に影響を及ぼす住環境因子に関する研究	小沼ルミ ほか12名	2023. 1. 6	日本マイコトキシン学会第88回学術講演会
40	レーザー積層造形されたポーラス17-4PHステンレス鋼における後熱処理が機械的特性に及ぼす影響	大久保 智 ほか2名	2023. 3. 7	日本金属学会2023年春期（第172回）講演大会
41	D-アミノ酸酸化酵素活性評価のためのD-キヌレン型蛍光プローブの開発と応用	藤巻康人 ほか5名	2023. 3. 11	第19回東邦大学5学部合同学術集会
42	軟X線照射におけるアラニンラジカル生成効率のX線エネルギー依存性	中川清子 ほか3名	2023. 3. 15	2022年度量子ビームサイエンスフェスタ
43	超ワイドバンドギャップ酸化物混晶のバリガ性能指数の評価	太田優一 ほか3名	2023. 3. 16	2023年第70回応用物理学会春季学術講演会

2022年度 年報

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
44	圧縮センシングを応用した時間短縮SPMの開発	上田啓市 ほか4名	2023. 3. 16	2023年第70回応用物理学会春季学術講演会
45	大気中光電子収量分光法を用いた水溶液中の酸化鉄(Ⅲ)粒子の表面電子状態の解析	木下真梨子 柳田さやか 柴川正一 桑原聡士	2023. 3. 17	2023年第70回応用物理学会春季学術講演会
46	絶対PL量子収率測定を用いた医薬品の製造工程管理	藤巻康人 ほか2名	2023. 3. 27	日本薬学会第143年会(札幌)

座長 12件

No.	大会などの名称	職員名	年月日	学会などの名称
1	The 36th International Conference on Advanced Information Networking and Applications	中村繁成	2022. 4. 15	AINA-2022 Organizing Committee
2	第144回講演会	小西敏功	2022. 6. 2	無機マテリアル学会
3	第23回 総会・第60回定例研究会	富山真一	2022. 6. 10	NPO法人 VCAD システム研究会
4	第65回放射線化学討論会	中川清子	2022. 9. 12	日本放射線化学会
5	令和4年電気学会基礎・材料・共通部門大会	倉持幸佑	2022. 9. 14	(一社)電気学会
6	第53回秋季大会	森久保 諭	2022. 9. 14	(公社)化学工学会
7	第35回秋季シンポジウム	柳田さやか	2022. 9. 15	(公社)日本セラミックス協会
8	2022年度全国大会	岩永敏秀	2022. 9. 22	(一社)照明学会
9	マイクロ波研究会10月	藤原康平	2022. 10. 14	(一社)電子情報通信学会
10	マイクロ波研究会11月	藤原康平	2022. 11. 15	(一社)電子情報通信学会
11	第44回日本バイオマテリアル学会大会	干場隆志	2022. 11. 22	日本バイオマテリアル学会
12	The 37th International Conference on Advanced Information Networking and Applications	中村繁成	2023. 3. 30	AINA-2023 Organizing Committee

依頼講演 18件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
1	金属積層造形の造形品質向上と造形金型を活用した湯回りに及ぼす背圧の影響の検討	千葉浩行	2022. 5. 22	日本鑄造工学会第179回全国講演大会
2	塗装による熱処理木材の耐候性向上に関する研究	村井まどか	2022. 5. 25	日本木材保存協会第38回年次大会
3	東京都立産業技術研究センターにおけるCAE活用事例 第1部：付加製造バイオリンの設計について	横山幸雄 大久保 智 小西 毅	2022. 6. 1	第27回計算工学講演会第10回公設試シンポジウム
4	東京都立産業技術研究センターにおけるCAE活用事例 第2部：CAEを活用した研究・支援事例について	小西 毅 横山幸雄 大久保 智	2022. 6. 1	第27回計算工学講演会第10回公設試シンポジウム
5	Additive Manufacturingへのめっきと電気的応用の試み	桑原聡士	2022. 6. 24	表面技術協会めっき部会6月例会
6	チタン合金板の温・冷間プレス成形に関する取り組みと共同研究紹介	奥出裕亮	2022. 9. 2	日本塑性加工学会関東支部第66回技術懇談会
7	塗装によるスギの熱処理木材の耐候性向上	村井まどか	2022. 10. 14	マテリアルライフ学会表面-界面物性研究会2022年秋季講演会
8	熱分解装置を応用したGCによる技術支援～異物分析、成分調査、不具合調査～	木下健司	2022. 10. 28	第379回ガスクロマトグラフィー研究会講演会・見学会～中小企業支援に貢献するガスクロマトグラフィー～
9	特殊環境下における超低摩擦現象	川口雅弘 齋藤庸賀 徳田祐樹	2022. 11. 1	日本トライボロジー学会 第3回水素のトライボロジー研究会
10	LA-ICP-MSによるガラス成分の分析	林 英男	2022. 11. 17	日本硝子製品工業会技術研修会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
11	位置ずれに強く低ノイズなワイヤレス給電	新井宏章 秋山美郷 佐野宏靖 小畑輝 ほか2名	2022. 12. 7	東京都立大学 エネルギーインテグリティシステム研究センターシンポジウム
12	オイルレス環境におけるDLC膜の低摩擦化技術に関する研究	徳田祐樹	2022. 12. 15	日本溶射学会関東支部2022年度第2回関東支部講演会
13	樹脂PBFの高速化	山内友貴	2023. 1. 20	東京大学生産技術研究所付加製造科学研究室 第13回 Additive Manufacturing (AM) シンポジウム
14	めっき工程の改善による排水由来の環境負荷の低減	田熊保彦	2023. 2. 1	表面技術協会表面技術環境部会第81回講演会
15	Development of a novel rutile-type SnO ₂ -GeO ₂ -SiO ₂ alloy system	太田優一 ほか5名	2023. 2. 1	Photonics West
16	オイルレス環境におけるDLC膜の低摩擦化技術に関する研究	徳田祐樹	2023. 2. 2	表面技術協会ヘテロ界面制御部会第12回研究会
17	Sub-200 nm Far-UV Emission Characteristics in Rocksalt-Structured MgZnO Epitaxial Films	太田優一 ほか8名	2023. 3. 7	ISPlasma2023/IC-PLANTS2023
18	木から作った環境素材MIRAIWOODの開発	加藤貴司 ほか1名	2023. 3. 17	第17回マテリアルデザイン研究協会オープンカンファレンス

依頼原稿 26件

No.	発表タイトル	執筆者	出版社などの名称	誌名など
1	柔軟樹脂をパターン配置した炭素繊維強化プラスチックの開発	武田浩司 西川康博	(一社)強化プラスチック協会	強化プラスチック
2	魚油の乳化による水産ねり製品の品質向上に関する研究	野田誠司	缶詰技術研究会	食品と容器 FOOD&PACKAGING
3	マスクの着用時および卓上パーティション設置時の使用者周辺の音響特性について	渡辺茂幸	(一社)日本音響材料協会	音響技術
4	光触媒を用いた水中の六価クロムの除去	柳田さやか	(公社)日本セラミックス協会	セラミックス
5	金属腐食過程とその可視化装置	石田祐也 ほか2名	(株)シーエムシー出版	バイオインダストリー
6	可視光外領域におけるハイパースペクトルカメラの分光放射輝度校正方法	澁谷孝幸 秋葉拓也 岩永敏秀 ほか2名	(株)日本出版制作センター	月刊JETI
7	めっきプロセスの総合的な改善による環境負荷低減	田熊保彦 森久保 諭 榎本大佑 小坂幸夫 西田 葵 安藤恵理	(株)日本出版制作センター	月刊JETI
8	(7) 低エネルギー電子を利用した新しい食品処理技術の開発	片岡憲昭	(公社)日本アイソトープ協会	RADIOISOTOPES
9	紙製ばねの開発/振動試験による技術支援	岩田雄介 福田良司	(公社)日本包装技術協会	包装技術
10	接着剤で接合した樹脂内部の硬化状態を非破壊で評価する	藤巻康人 古杉美幸 井上 潤	(公社)日本分析化学会	日本分析化学会第71年会「展望とトピックス」
11	腐食過程の可視化装置の開発	石田祐也 ほか2名	(株)潤滑通信社	潤滑経済
12	メカノクロミズムの空間分解能の定量的測定に成功	小汲佳祐	Chem-station	Chem-station
13	亜酸化銅-酸化チタン複合光触媒による水中の六価クロムの除去	柳田さやか	(株)日本出版制作センター	月刊JETI
14	紙パウダー (25 ~ 30 μm) と生分解性樹脂原料による複合素材の製品事例	角坂麗子 加藤貴司 ほか2名	アクトライエム	WEB Journal

2022年度 年報

No.	発表タイトル	執筆者	出版社などの名称	誌名など
15	ステンレス材にも活用できるドライ加工技術の提案	玉置賢次	(公財)東京都中小企業振興公社	ARGUS
16	PBII&D法による塩素含有DLC膜の創製としゅう動特性向上に関する研究	徳田祐樹	(一社)日本トライボロジー学会	トライボロジスト
17	局在表面プラズモン共鳴 (LSPR) 基板の作製方法とセンサへの応用	瀧本悠貴 永田晃基 伊達修一 月精智子 紋川 亮	(株)日本出版制作センター	月刊JETI
18	Development of inspection system for bus extender cable of RHIC-sPHENIX INTT detector	近藤 崇 ほか22名	(国研)理化学研究所 仁科加速器研究センター	RIKEN Accelerator Progress Report
19	Performance evaluation for sPHENIX-INTT ladder with a beta source	近藤 崇 ほか30名	(国研)理化学研究所 仁科加速器研究センター	RIKEN Accelerator Progress Report
20	Construction status of the INTT silicon tracker for sPHENIX at RHIC	近藤 崇 ほか32名	(国研)理化学研究所 仁科加速器研究センター	RIKEN Accelerator Progress Report
21	Production of bus-extender for sPHENIX INTT detector	近藤 崇 ほか30名	(国研)理化学研究所 仁科加速器研究センター	RIKEN Accelerator Progress Report
22	Detection efficiency of the RHIC-sPHENIX-INTT detector	近藤 崇 ほか32名	(国研)理化学研究所 仁科加速器研究センター	RIKEN Accelerator Progress Report
23	Test beam experiment at ELPH in Tohoku University for sPHENIX INTT	近藤 崇 ほか32名	(国研)理化学研究所 仁科加速器研究センター	RIKEN Accelerator Progress Report
24	マスクと卓上パーティションの音響的影響について	渡辺茂幸	キハラ(株)	機関誌「LISN」
25	100%天然素材を用いたストロー試作	酒井日出子	(株)シーエムシー出版	バイオインダストリー
26	メカノクロミック材料の機械的加工とインクジェットプリンタへの適用	小汲佳祐 ほか1名	(株)加工技術研究会	月刊コンバーテック

コンテスト応募 2件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
1	300年と未来を繋ぐクリアな名器～Stradivarius 1727～演奏可能モデル	横山幸雄 村上祐一 紋川 亮 月精智子 富山真一 石田祐也 鈴木雅洋 ほか1名	2022. 8. 11	JIAS 日本国際美術家協会 第23回日本・フランス現代美術世界展 (2022)
2	TIRIのストロー補助具	酒井日出子 西川康博 大島浩幸 福原悠太 ほか2名	2022. 8. 21	(一社)日本リハビリテーション工学協会 福祉機器コンテスト2022

技術解説 (依頼講演) 8件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
1	X線CTによる金属AM技術の品質保証方法の検討	千葉浩行 紋川 亮	2022. 9. 14	日本機械学会2022年次大会
2	カビを用いた試験法	小沼ルミ	2022. 9. 27	日本防菌防黴学会第49回年次大会
3	におい嗅ぎGC/MSによる技術支援～異臭分析、クレーム解析、研究事例の紹介～	佐々木直里	2022. 10. 28	第379回ガスクロマトグラフィー研究会講演会・見学会-中小企業支援に貢献するガスクロマトグラフィー-
4	触媒開発支援におけるマイクロGCの活用	染川正一	2022. 10. 28	第379回ガスクロマトグラフィー研究会講演会・見学会-中小企業支援に貢献するガスクロマトグラフィー-
5	悪臭分析調査について～におい分析事例を中心に～	佐々木直里	2022. 12. 15	国際工業塗装高度化推進会議 IPCO 合同会議 IPCO STUDY
6	担子菌に分類される木材腐朽菌の木材構成成分分解メカニズムについて	田丸慶明	2023. 1. 26	木材塗装研究会 令和5年(2023年)第1回運営委員会・委員研修会

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
7	悪臭測定進捗報告（塗装工場から排出するにおい成分の特定）	亀崎 悠	2023. 2. 16	国際工業塗装高度化推進会議 2022年度第5回IPCO合同会議
8	食品で活躍する真菌	小沼ルミ	2023. 3. 17	NPO法人カビ相談センター 第56回生活環境とカビ管理対策セミナー

技術解説（依頼原稿） 18件

No.	発表タイトル	執筆者	出版社などの名称	誌名など
1	木工塗装と漆	村井まどか	漆を科学する会	うるしニュース
2	サービス工学・サステナブル設計	根本裕太郎 ほか1名	(一社)日本機械学会	機械工学年鑑2022
3	耐光試験における新規ブルースケールの開発	小柴多佳子 ほか1名	(一社)繊維学会	繊維学会誌
4	木材塗装と塗膜性能試験	村井まどか	日本材料試験技術協会	材料試験技術
5	セラミックス工具でドライ・セミドライ絞り加工は可能か？	玉置賢次	日刊工業新聞社	プレス技術
6	ダイヤモンド膜コーテッド工具でドライ絞り・しごき加工は可能か？	玉置賢次	日刊工業新聞社	プレス技術
7	添加剤に使用される油性剤とはどんな物質？	中村健太	日刊工業新聞社	プレス技術
8	添加剤に使用される極圧剤とはどんな物質？	中村健太	日刊工業新聞社	プレス技術
9	ショックマーク（初回絞り、再絞り）が発生するのはなぜ？	中村健太	日刊工業新聞社	プレス技術
10	SFFS2022ショート速報 [3Dプリンタ]	木暮尊志	(一財)光産業技術振興協会	国際会議速報
11	木材塗装における塗装欠陥	村井まどか	(一社)日本塗装技術協会	塗装工学
12	Ti合金の温・冷間プレス成形法の開発	奥出裕亮	日刊工業新聞社	型技術
13	異物分析における熱分解ガスクロマトグラフィー質量分析法の活用	木下健司	(公社)日本分析化学会	ぶんせき
14	ヒト皮膚への目的物質の浸透評価	鍋田真弓 石川雄樹 永川栄泰	(株)技術情報協会	COSMETIC STAGE
15	熱処理木材の気象劣化	村井まどか	(公社)日本木材保存協会	木材保存
16	かびの菌名変更は厄介ですね	小沼ルミ	NPO法人カビ相談センター	かびと生活
17	燃料電池の出力を向上するプリント加工	峯 英一	(公財)東京都中小企業振興公社	ARGUS
18	木材・木工塗装の魅力と可能性	村井まどか	コーテック(株)	塗装技術

事業紹介（依頼講演） 5件

No.	発表タイトル	発表者	年月日	大会などの名称
1	都産技研のIoT化支援と共同研究事例の紹介	岡部 忠	2022. 7. 29	令和4年度第1回先端技術セミナー
2	東京都立産業技術研究センター事業紹介	片桐 嵩	2022. 8. 19	AMATERAS-北海道航空宇宙クラスター技術交流会
3	技術相談や保有機器の紹介	添田 心	2022. 9. 13	ものづくり企業のための大学・産業技術研究センター活用セミナー
4	TMANに対する東京都立産業技術研究センターの技術支援事例紹介	奥出裕亮	2022. 11. 18	AMATERAS - SUSANOO 技術交流会
5	食品技術センターの取り組み	小沼ルミ	2023. 2. 3	第47回カビ毒研究連絡会

2022年度 年報

事業紹介（依頼原稿） 5件

No.	発表タイトル	執筆者	出版社などの名称	誌名など
1	ソフトマターとしての化粧品の特徴評価とそれを支える分析・試験機器	永川栄泰 干場隆志 兼本美津 ほか1名	メカニカル・テック社	月刊ソフトマター
2	デザインアプローチによる手動ポンプの製品開発支援事例	酒井日出子	(株)アグネ技術センター	金属
3	「産業交流展2021」と「都産技研設立100周年記念イベント」について	村井まどか	(公社)日本木材保存協会	木材保存
4	研究室紹介 東京都立産業技術研究センター 機械技術グループ 積層造形分野	山内友貴	(公社)砥粒加工学会	砥粒加工学会誌
5	研究グループ紹介 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター 表面処理分野	石田祐也	(一社)日本エネルギー学会	えねるみくす

その他 37件

No.	発表タイトル	発表者	学会／出版社などの名称	大会名／誌名など
1	含有成分がコマツナのうま味、甘味、苦味に及ぼす影響	石本太郎 堀江秀樹 ほか2名	(公財)東京都農林水産振興財団 東京都農林総合研究センター	東京都農林総合研究センター研究報告
2	東京都におけるアヒル飼育とその研究の取り組み	三枝弘育 ほか1名	(公財)東京都農林水産振興財団 東京都農林総合研究センター	東京都農林総合研究センター研究報告
3	新世紀賞を拝受して	小汲佳祐	(公財)日本分析化学会関東支部	日本分析化学会関東支部ニュース
4	学会印象記 第43回日本バイオマテリアル学会大会	木下真梨子	日本バイオマテリアル学会	バイオマテリアル-生体材料-
5	無電源で吊さない輸液ポンプの開発	加藤貴司 ほか7名	(国研)日本医療研究開発機構	産学官協働による革新的医療技術研究開発推進のためのワークショップ
6	機械加工油剤と気泡	國枝泰博	マイクロ加工研究会	マイクロ加工懇談会
7	光触媒による六価クロムの還元反応と生成物の調査	柳田さやか	あいちシンクロトロン光センター	2021年度 公共等利用 成果報告書
8	新規メカノクロミック材料の定量的物性測定とアルコールセンシング特性を利用した感染症対策への応用展開	小汲佳祐	(公社)日本化学会	化学と工業
9	チタニア系可視光応答光触媒の窒素の分析	染川正一	あいちシンクロトロン光センター	2021年度 公共等利用 成果報告書
10	亜酸化銅結晶構造の熱処理の影響	染川正一	あいちシンクロトロン光センター	2021年度 公共等利用 成果報告書
11	賦形性に優れた編物強化基材の開発 一多面体サンドイッチコアへの適用一	唐木由佑	複合材料懇話会 (NPO 法人北関東産官学研究会)	第118回複合材料懇話会
12	東京都立産業技術研究センターの保有技術	清水研一	(一社)JAIST支援機構	プラスチックの未来を考える会 第6回研究会
13	遮断円筒導波管反射法による大径寸法の治具を用いた10 - 1000 MHzでの液体の誘電率測定	藤原康平 ほか1名	(一社)電子情報通信学会	マイクロ波研究会7月
14	採卵後ヤマメの有効利用を図る	野田誠司 ほか1名	東京都島しょ農林水産総合センター	令和4年度研究成果発表会 (水産部門)
15	いろんな方の出会いを大切に	片岡憲昭	(公社)日本アイソトープ協会	理工・ライフサイエンス部会 最前線のアイソトープ・放射線 研究紹介ー私が研究者になるまでー
16	Python 意思決定の数理入門	佐々木智典 ほか2名	(株)オーム社	Python 意思決定の数理入門
17	第144回学術講演会に出席して	小西敏功	無機マテリアル学会	Journal of the Society of Inorganic Materials, Japan
18	エレクトロスピンニングで作製した海洋分解性セルロース複合化ポリエステルナノファイバー	永川栄泰 ほか4名	(公社)高分子学会	第71回高分子討論会

No.	発表タイトル	発表者	学会／出版社などの名称	大会名／誌名など
19	遮断円筒導波管反射法によるLiBF ₄ およびLiPF ₆ 溶液の複素誘電率測定	藤原康平 時田幸一 ほか4名	(一社)電子情報通信学会	マイクロ波研究会9月
20	Broadband Calibration of Input Impedance for Coaxial Tips Based on RF I-V, and Related Application to Dielectric Evaluation for Liquids	藤原康平 時田幸一 ほか1名	IEEE	The 8th IEEE International Conference On Smart Instrumentation, Measurement And Application
21	亜酸化銅担持酸化チタン光触媒における構造中の金微粒子の効果の調査	柳田さやか	あいちシンクロトロン光センター	2022年度 公共等利用 成果報告書
22	Water-phase synthesis of Au and Au-Ag nanowires and their SERS activity	小川大輔 杉森博和 ほか5名	The Royal Society of Chemistry	RSC Advances
23	遮断円筒導波管反射法によるLi(N(SO ₂ CF ₃) ₂)水溶液の複素誘電率測定	藤原康平 時田幸一 ほか4名	(一社)電子情報通信学会	マイクロ波研究会10月
24	水蒸気プロセスを用いたAl合金上へのAlO(OH)/カーボンヘテロ構造皮膜の形成	徳田祐樹 ほか3名	日本結晶成長学会	第51回結晶成長国内会議(JCCG-51)
25	Seawater-degradable, tough, and fully bio-derived nonwoven polyester fibres reinforced with mechanically defibrated cellulose nanofibres	永川栄泰 ほか4名	Royal Society of Chemistry	Environmental Science: Nano
26	終端開放同軸線路と集中定数理論によるMHz帯での液体の複素誘電率測定	藤原康平 ほか1名	(一社)電子情報通信学会	マイクロ波研究会11月
27	チタニア系可視光応答光触媒のUV照射下における酸化銅の挙動	柴川正一	あいちシンクロトロン光センター	2022年度 公共等利用 成果報告書
28	チタニア系可視光応答光触媒の浸漬処理前後の解析	柴川正一	あいちシンクロトロン光センター	2022年度 公共等利用 成果報告書
29	微細藻類由来β-1, 3-グルカンの高分散化ナノファイバーの作製と水系塗料添加剤としての機能性	成田武文 ほか3名	材料技術研究協会	材料技術研究協会討論会2022
30	トライボ化学反応を誘発するロールプレス加工法の開発 -セラミックス風な表層を持つ木質複合材料を目指して	樋口智寛	(公財)天田財団	天田財団 助成研究成果報告書2022
31	Ti-6Al-4V合金板の冷間プレス成形法の開発	奥出裕亮	(公財)天田財団	天田財団 助成研究成果報告書2022
32	発熱体寸法が流動するプロパン/空気予混合気の着火性に及ぼす影響	中澤誠人 ほか3名	(NPO法人)安全工学会	第55回安全工学研究発表会
33	紙パウダーを用いた生分解性複合材料の開発と食品容器への応用	加藤貴司 角坂麗子 ほか1名	(株)技術情報協会	容器包装材料の環境対応とリサイクル技術
34	令和4年度 日本無機リン科学会表彰	小西敏功	日本無機リン化学会	PHOSPHORUS LETTER
35	層状ニオブ酸光触媒にドーブされたルテニウムおよびロジウムの価数調査	柳田さやか ほか1名	あいちシンクロトロン光センター	2022年度 公共等利用 成果報告書
36	JIS B8451-1 サービスロボットの性能試験方法 - 第1部: 衝撃吸収型接触検知外装カバー	森田裕介 ほか	(一財)日本規格協会	JIS B8451-1 サービスロボットの性能試験方法 - 第1部: 衝撃吸収型接触検知外装カバー
37	ダイナミックチアヘリセン超分子ナノファイバーのメカニカル形成と電子回折による分子配列解析	柳 捷凡 ほか5名	(公社)日本化学会	日本化学会第103春季年会(2023)

2.9 職員の受賞

国内外の学協会などから、研究成果の実用化、優れた研究、技術の普及・移転に対して、2022年度は13件の賞を受けた。

2022年度受賞実績

受賞名	日本化学会 第102春季年会 優秀講演賞
件名	新規メカノクロミック材料の定量的物性測定とアルコールセンシング特性を利用した感染症対策への応用展開
受賞者	小汲佳祐
受賞名	第69回応用物理学会 春季学術講演会 Poster Award
件名	スピネル構造 MgX_2O_4 (X = Al, Ga, In) 混晶のバンドエンジニアリング
受賞者	太田優一
受賞名	日本 casting 工学会 日下賞
件名	金属積層造形の造形品向上と造形金型を活用した湯回りに及ぼす背圧の影響の検討
受賞者	千葉浩行
受賞名	日本熱処理技術協会 技術精励賞
件名	CVD多結晶ダイヤモンド被覆メカニカルシール部材及び冷間圧延用工具の低歪み高速加工プロセスに係る表面改質・熱処理技術の開発並びに熱処理技術者への教育普及
受賞者	中村 勲
受賞名	日本トライボロジー学会 第66期 奨励賞
件名	PBII&D法による塩素含有DLC膜の創製としゅう動特性向上に関する研究
受賞者	徳田祐樹
受賞名	産業応用工学会全国大会 2022優秀論文発表賞
件名	X線CT画像を活用した内部欠陥検出技術の精度向上
受賞者	富山真一、竹澤 勉
受賞名	日本無機リン化学会 奨励賞
件名	骨修復用バイオマテリアル開発を指向した無機リン化合物の合成とその局所構造解析に関する研究
受賞者	小西敏功
受賞名	中央職業能力開発協会会長表彰
受賞者	三尾 淳
受賞名	東京TASKものづくりアワード2022 優秀賞
件名	商品名「あけてケロン」シリコン製ペットボトルオープナー
受賞者	秋山 正

受賞名	材料技術研究協会 優秀口頭講演賞
件名	微細藻類由来 β -1,3-グルカンの高分散化ナノファイバーの作製と水系塗料添加剤としての機能性
受賞者	小泉樹奈（金沢工大院）、成田武文、 谷田育宏（金沢工大院）、大澤 敏（金沢工大院）
受賞名	全国食品関係試験研究場所長会 令和4年度優良研究・指導業績表彰
件名	納豆菌の腸管における作用の解析及び新規納豆菌の分離と活用
受賞者	細井知弘
受賞名	日本繊維機械学会 フェロー認定
受賞者	近藤幹也
受賞名	福祉機器コンテスト2022 機械開発部門 優秀賞
件名	TIRIのストロー補助具
受賞者	酒井日出子

2.10 知的財産権

2.10.1 知的財産保有件数

知的財産権の保有件数と出願件数を示す。

		特許 (件)		実用新案 (件)		意匠 (件)		商標 (件)	
		登録	出願中	登録	出願中	登録	出願中	登録	出願中
国内 ^{※1}	今年度分	35	10	0	0	0	0	1	2
	累計	257	104	4	0	35	1	16	2
国外 ^{※2}	今年度分	7	4					0	0
	累計	37	18					2	0
PCT ^{※3}	今年度分		0						
	累計		0						

※1 国内優先権主張を利用したものは、原出願を件数から削除した。登録となった場合には、累計における「出願中」から削除した。「出願中」は、出願公開後に放棄などした件数は含まない。登録累計は、前年度以前に権利終了した案件は含まない。

※2 自国（日本）指定は、出願段階は国外に、登録後は国内の登録に計上した。

※3 PCT出願後、各国への移行が完了したものについては、PCTの「出願中」から削除した。

2.10.2 保有する登録済み知的財産権

(1) 国内特許登録

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
1	第3779290号 (2003-322418)	漆および植物繊維を用いた成形用材料、前記成形用材料を用いて得られる漆/植物繊維成形体	2006. 3. 10 (2003. 9. 16)	共有	漆と植物繊維を混合して漆を植物繊維に含浸させた後、加熱して粉末化成用材料およびこの材料を金型で加熱圧縮成形した成形体
2	第3993784号 (2002-106827)	多次元座標測定機の性能評価方法、多次元座標測定機の校正用ゲージ及び校正用ゲージの治具	2007. 8. 3 (2002. 4. 9)	共有	反転法を利用して被測定物を多次元で測定するため、三次元座標測定機において、スケール誤差、真直度、および直角度を容易に評価するための方法および校正用ゲージ
3	第4086241号 (2004-035337)	水素吸蔵合金粉末	2008. 2. 29 (2004. 2. 12)	共有	鉄とチタンを主成分とする金属原料粉末をボールミリングすることにより得られる水素吸蔵合金粉末
4	第4359537号 (2004-177562)	立体製織体、金属繊維立体製織体及びそれらの製造方法	2009. 8. 14 (2004. 6. 15)	単独	立体製織体、金属繊維立体製織体の製造方法、製織繊維の一部を屈曲させ立体製織体を得るための構造および製法の改良
5	第4392719号 (2004-036734)	母材表面の下地処理方法及びこの方法により下地処理された表面を持つ母材及び製品	2009. 10. 23 (2004. 2. 13)	共有	プレス用金型や機械部品の摩擦面などにおける摩擦特性を改善し、DLC膜を強固に密着させる加工方法
6	第4394050号 (2005-254626)	低摩擦性、耐摩耗性を向上させた金属板の製造方法	2009. 10. 23 (2005. 9. 2)	共有	金属板およびその製造方法に関して金属母材表面の低摩擦性、耐摩耗性を一層向上させた金属板
7	第4764973号 (2005-356870)	CRC値の算出装置	2011. 6. 24 (2005. 12. 9)	共有	誤り検出方式の一つである簡易なハードウェアにおいて実現できるシリアル伝送路における誤り検査などに広く用いられる回路規模の増大を極力抑え回路の高速化を実現
8	第4791746号 (2005-094574)	無鉛珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	2011. 7. 29 (2005. 3. 29)	共有	鉛加工物を用いずに、珪酸塩系ガラス原料を利用して580℃以下の温度でガラス基板などへの焼付けができる実用的な低融点無鉛ガラスフリット
9	第5025209号 (2006-262181)	絶縁層を形成するための無鉛珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	2012. 6. 29 (2006. 9. 27)	共有	絶縁層を形成するガラス組成物中にPbOを含まない絶縁層形成用のガラスフリット

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
10	第5107261号 (2008-548357)	手術ナイフ、手術ナイフ用ブレード及びその製造方法、並びに手術ナイフ用ハンドル	2012. 10. 12 (2007. 12. 7)	共有	単結晶シリコンの異方性エッチング技術を用いて手術用ナイフを製造する技術
11	第5175584号 (2008-064141)	局所表面プラズモン共鳴イメージング装置	2013. 1. 11 (2008. 3. 13)	単独	金ナノパターン基板上で発生する局所表面プラズモン共鳴 (LSPR) を利用して、DNA およびタンパク質などの多検体試料を基板上に配置し、蛍光などのタンパク質標識を行うことなく検出するLSPRイメージング装置
12	第5183328号 (2008-174673)	編成体及びその製造方法	2013. 1. 25 (2008. 7. 3)	単独	無機繊維と収縮繊維との交差糸から編成されたものを用い、収縮繊維を収縮させたことにより無機繊維が不規則に変形した状態で編成されていることを特徴とする編成体
13	第5214290号 (2008-071504)	食品用X線異物検査装置およびその方法	2013. 3. 8 (2008. 3. 19)	共有	ベルトコンベア上を流れる食品パックにX線を透過し、異物の判定を行う装置で、従来では検出困難であった微小な樹脂やガラスなどの異物を検出する装置および方法
14	第5243222号 (2008-322621)	粉体分離装置 粉体分離システム、及び粉体分離方法	2013. 4. 12 (2008. 12. 18)	単独	異種の粉体の混合物を好適に分離可能な粉体分離装置、粉体分離方法、および、これを用いた粉体分離システム
15	第5242289号 (2008-207817)	揮発性有機物吸収材及びその製造方法	2013. 4. 12 (2008. 8. 12)	単独	取り扱いが簡便で、VOCの吸収能が高く、さらに活性炭やメソポーラスシリカなどといった従来のVOC吸着材よりもVOCの吸収能が極めて高い吸収材であるため、吸収材の交換や再生を頻繁に行う必要のない揮発性有機物吸収材およびその製造方法
16	第5261690号 (2008-131617)	高強度ダイヤモンド膜工具	2013. 5. 10 (2008. 5. 20)	共有	気相法でダイヤモンド膜を合成する際に、合成雰囲気中にボロンを含むガスを積極的に導入することでボロンドーパダイヤモンド膜を有する高強度ダイヤモンド膜工具
17	第5268050号 (2008-010369)	カーボンナノチューブ含有樹脂組成物、硬化物、成形体及びカーボンナノチューブ含有樹脂組成物の製造方法	2013. 5. 17 (2008. 1. 21)	単独	機械強度（曲げ強度、曲げ弾性率）や導電性（特に均一性）に優れたカーボンナノチューブ含有樹脂組成物、硬化物、成形体およびカーボンナノチューブ含有樹脂組成物の製造方法
18	第5281926号 (2009-046676)	揮発性有機化合物吸着材とその製造方法、並びに樹皮又はその成型体の利用方法	2013. 5. 31 (2009. 2. 27)	単独	樹皮またはその成型体を有効利用できる、揮発性有機化合物吸着材とその製造方法、ならびに樹皮またはその成型体の利用方法
19	第5302860号 (2009-266467)	家畜骨残渣の処理方法	2013. 6. 28 (2009. 11. 24)	単独	食肉と骨とを含む家畜骨材料からエキスを抽出した後の家畜骨残渣の処理方法
20	第5301140号 (2007-286805)	ガラス状炭素材からなる微細成型材料とその製造方法ならびにそれを用いた微細成型	2013. 6. 28 (2007. 11. 2)	単独	凹凸部の寸法を数nm～数百 μ m程度とする微細な成形が行われた微細成型の材料とその製造方法ならびにそれを用いた微細成型
21	第5309354号 (2006-052500)	高速パターンマッチング装置の探索方法	2013. 7. 12 (2006. 2. 28)	共有	バイナリデータのパターンマッチングを高速に行う高速パターンマッチング装置の探索方法
22	第5350866号 (2009-096262)	皮革または革製品	2013. 8. 30 (2009. 4. 10)	単独	皮革および革製品の表面に付着した主に環境由来のかび胞子の発芽を抑制し、かびの発生を防止もしくは低減化できる皮革または革製品
23	第5367341号 (2008-283986)	アルミニウム合金鋳物およびアルミニウム合金鋳物の製造方法	2013. 9. 20 (2008. 11. 5)	単独	Al-Si (Al-Si-Mg) 系合金と Al-Mg 系合金を複合化したアルミニウム合金鋳物およびこの製造方法
24	第5378024号 (2009-075049)	揮発性有機物吸収材	2013. 10. 4 (2009. 3. 25)	単独	揮発性有機物の吸収能（吸収量および吸収速度）が高く、また、熱処理により脱着が簡単に行えるため吸収した揮発性有機物の処理が容易な揮発性有機物吸収材
25	第5388304号 (2010-074034)	掲示板のための照明装置	2013. 10. 18 (2010. 3. 29)	共有	掲示板のための照明装置、より詳細には掲示板に掲げられた情報（掲示情報）についての視認性の改善に寄与する照明装置

2022年度 年報

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
26	第5394132号 (2009-134259)	揮発性有機化合物の浄化装置及びその浄化方法	2013. 10. 25 (2009. 6. 3)	共有	小型で設置が容易な、揮発性有機化合物に汚染された大気、土壌からその汚染化合物を吸着剤で除去して光触媒で分解する揮発性有機化合物の浄化装置、およびその浄化方法
27	第5399034号 (2008-246074)	微細成型および微細成型用基材並びに微細成型の製造方法	2013. 11. 1 (2008. 9. 25)	単独	コート材や潤滑材を塗布することなく離型性を高めた微細成型および微細成型用基材ならびに微細成型の製造方法
28	第5404465号 (2010-031649)	ポリアリニン半導体材料	2013. 11. 8 (2010. 2. 16)	単独	化学的操作では必要であった廃液の処理などが不要なポリアリニン半導体材料
29	第5413939号 (2007-198213)	タンパク質自動合成精製方法及び装置	2013. 11. 22 (2007. 7. 30)	単独	ディスク内に微細流路および反応室などを形成して内部でタンパク質を自動合成し、精製したタンパク質を供給可能とするディスクを用いたタンパク質自動合成精製装置
30	第5414719号 (2011-052181)	揮発性有機化合物分解用無機酸化物成形触媒とその製造方法	2013. 11. 22 (2011. 3. 9)	共有	強度が強く保たれるとともに高い触媒活性が保持され、安価で簡便な押し出し成形法、低温での焼成が可能な無機酸化物成形触媒など
31	第5422320号 (2009-218022)	揮発性有機化合物分解用触媒と揮発性有機化合物の分解方法	2013. 11. 29 (2009. 9. 18)	共有	VOC分解用触媒として用いられている貴金属担持触媒よりも材料コストを抑え、より低い温度でVOCを分解することができる触媒など
32	第5425689号 (2010-081190)	ネズミ誘引方法および装置、並びにネズミ捕獲装置	2013. 12. 6 (2010. 3. 31)	共有	複数の音節からなるユニットが複数回繰り返される周波数特性を有する超音波を用いることによって、優れた誘因効果を得ることができ、ネズミを効率よく捕獲することができるネズミ誘引方法など
33	第5439155号 (2009-286011)	歯間清掃具およびその製造方法	2013. 12. 20 (2009. 12. 17)	単独	歯の表面に付着している歯垢などの汚れを除去するための歯間清掃具およびその製造方法
34	第5435911号 (2008-218293)	徐放性製剤とその製造方法	2013. 12. 20 (2008. 8. 27)	単独	短期間で気化しやすい常温揮発性薬剤成分を緩やかに放出することができ、廃棄物量が少なく、薬剤成分の効果の消失を容易に判別することができ、人体への安全性も高い徐放性製剤とその製造方法
35	第5438287号 (2008-143107)	難溶性アミノ酸類含有混合組成物及びその製造方法、並びに皮膚外用剤	2013. 12. 20 (2008. 5. 30)	共有	難溶性アミノ酸類微細粒子およびその製造方法、ならびに皮膚外用剤
36	第5441485号 (2009-106510)	揮発性有機物処理装置及び揮発性有機物処理方法	2013. 12. 27 (2009. 4. 24)	単独	VOCの触媒分解処理を静的環境で行うことができ、触媒活性の低下が抑制される揮発性有機物処理装置およびVOC処理方法
37	第5448549号 (2009-106520)	光イオン化検出器および光イオン化検出方法	2014. 1. 10 (2009. 4. 24)	単独	金属電極に交流電圧または交流電流を印加することで、汚染物質の存在下でもVOC濃度の測定が可能な光イオン化検出器など
38	第5460113号 (2009-105359)	局在表面プラズモン共鳴測定基板及び局在表面プラズモン共鳴センサ	2014. 1. 24 (2009. 4. 23)	単独	VOCなどの検出対象物を捕捉するために多孔質吸着材を備えているため、表面へのガス分子吸着による物性変化が大きく、極めて高感度なガス検出が可能な、局在表面プラズモン共鳴現象を利用した化学センサ
39	第5479826号 (2009-204833)	ガス浄化装置、プラズマ生成用電極、及びガス浄化方法	2014. 2. 21 (2009. 9. 4)	共有	低コストかつ短時間でガスの分解および処理を実現可能とする新規な構成のガス浄化装置およびガス浄化方法、ならびにこれに使用するプラズマ電極
40	第5486790号 (2008-263686)	多孔質アパタイトおよびその製造方法	2014. 2. 28 (2008. 10. 10)	単独	天然骨などの廃棄物を原料とした、大きな比表面積のアパタイト微粒子を有する多孔質アパタイトであり、吸着剤として用いることが可能
41	第5511523号 (2010-129014)	二脚型移動装置	2014. 4. 4 (2010. 6. 4)	単独	人間が暮らす住環境に存在する障害物をスムーズに跨ぎ越すことのできる二脚型移動装置

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
42	第5548144号 (2011-016517)	表示装置	2014. 5. 23 (2011. 1. 28)	単独	液晶ディスプレイに比べ目の疲労が少なく、製造コストを抑えることができるという優れた効果を有する表示装置
43	第5560065号 (2010-047994)	防護服	2014. 6. 13 (2010. 3. 4)	単独	フード部を有する上衣とズボンとが一体に形成されたツナギ型の防護服であり、脇下近辺に開閉部があるため、脱衣しやすく、製造が容易で十分な防護性を確保
44	第5560066号 (2010-047997)	防護服	2014. 6. 13 (2010. 3. 4)	単独	フード部を有する上衣とズボンとが一体に形成されたツナギ型の防護服であり、前面に開閉部があるため脱衣しやすく、迅速に脱衣が可能
45	第5564680号 (2009-170391)	ガラス発泡体、ガラス発泡体を含むリン酸吸着剤、ガラス発泡体を含む植物育成用培地及びガラス発泡体の製造方法	2014. 6. 27 (2009. 7. 21)	単独	排水中のリン酸を回収するのに適した高いリン酸吸着能を有し、かつ排水処理に使用後のガラス発泡体の植物栽培への利用を容易にするため、植物に利用可能な水を保持できるガラス発泡体
46	第5572459号 (2010-152637)	4種のハロゲン及び硫黄分析用の標準物質及びその製造方法	2014. 7. 4 (2010. 7. 5)	共有	試料中の微量な4種類のハロゲン（フッ素、塩素、臭素、ヨウ素）および硫黄の有機元素を、迅速に高精度で自動定量分析する際の検量線を作成する、4種のハロゲンおよび硫黄分析用の標準物質およびその製造方法
47	第5579644号 (2011-059966)	赤色ガラス	2014. 7. 18 (2011. 3. 18)	共有	有害元素であるカドミウムを着色剤として使用せずに、カドミウム含有の赤色ガラスと同じ赤い色を示すソーダ石灰の赤色ガラス
48	第5604094号 (2009-286822)	防かび剤組成物、およびそれを使用した木材および木製品	2014. 8. 29 (2009. 12. 17)	単独	木材および木製品にも適した防かび剤組成物、およびそれを使用した防かび加工方法、木材および木製品など
49	第5632597号 (2009-200679)	弦楽器、弦楽器の製造方法及び弦楽器製造装置	2014. 10. 17 (2009. 8. 31)	単独	積層造形法を活用した弦楽器、弦楽器の製造方法および弦楽器製造装置
50	第5647836号 (2010-198628)	導電紙及びその製造方法	2014. 11. 14 (2010. 9. 6)	単独	無電解金属めっきにより金属で覆われた木材パルプを含む導電紙およびその製造方法
51	第5647669号 (2012-503249)	多孔質シリカの製造方法	2014. 11. 14 (2011. 3. 3)	単独	種々の形状に成型容易であり、透明性に優れ、ナノ粒子化が可能であり、かつ炭素数が7以下のカチオン性界面活性剤を使用しても高効率で得ることができる多孔質シリカの製造方法
52	第5650916号 (2010-047999)	防護服	2014. 11. 21 (2010. 3. 4)	単独	フード部を有する上衣とズボンとが一体に形成されたツナギ型の防護服であり、一端の袖部から頭部近辺を跨ぎ、他端の袖部にかけて開閉部があるため、防護服の脱衣が容易で、短時間で迅速に脱衣可能
53	第5660831号 (2010-219707)	アルミニウム合金の材質判定方法	2014. 12. 12 (2010. 9. 29)	単独	アルミニウム合金のリサイクルにおいてアルミニウム合金のグループ分けを行う場合に適用して好適なアルミニウム合金の材質判定方法
54	第5660918号 (2011-026993)	情報処理装置、コンピュータプログラム、および情報処理方法	2014. 12. 12 (2011. 2. 10)	単独	三次元図形を構成する複数の頂点に対応する複数の頂点データを有する三次元図形データに対する電子透かしなどの付加情報の埋め込みにおいて、データの改ざんが検出されやすくなるようにする情報処理装置、コンピュータプログラム、および情報処理方法
55	第5667431号 (2010-287832)	三次元座標測定機簡易検査用ゲージ	2014. 12. 19 (2010. 12. 24)	単独	三次元座標測定機の寸法検査を短時間に簡便に行うことができ、マルチスタイルスの検査も実施可能な三次元座標測定機簡易検査用ゲージ
56	第5690244号 (2011-179367)	はんだの組成分析方法	2015. 2. 6 (2011. 8. 19)	単独	鉛フリーはんだに含まれる各種元素を分析する方法

2022年度 年報

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
57	第5697309号 (2009-053490)	局在プラズモン共鳴センサの製造方法	2015. 2. 20 (2009. 3. 6)	単独	局在表面プラズモン共鳴現象を応用した化学センサの性能向上に関し、センサ性能低下の要因となっていた導電・密着層を熱処理により誘電体化することが特徴
58	第5697852号 (2009-073154)	揮発性有機物回収システム	2015. 2. 20 (2009. 3. 25)	単独	VOCを効率的に液化して回収することができる揮発性有機物回収システム
59	第5698034号 (2011-045449)	加熱補助器具及び加熱装置並びに化学的酸素消費量の測定方法及び加熱方法	2015. 2. 20 (2011. 3. 2)	単独	マイクロ波によって複数の試料を簡易かつ迅速に加熱することができるとともに、試料間の加熱むらを小さくすることができる加熱補助器具、加熱装置および加熱方法、ならびに、複数の試料水について簡易かつ迅速に加熱することができるとともに、試料間の測定精度のばらつきを小さくすることができる化学的酸素消費量の測定方法
60	第5706069号 (2009-024032)	ダイヤモンド研磨装置及びダイヤモンド研磨方法	2015. 3. 6 (2009. 2. 4)	単独	被研磨物にコーティングされたダイヤモンドを研磨する装置および方法
61	第5711927号 (2010-222197)	固体酸化物型燃料電池	2015. 3. 13 (2010. 9. 30)	共有	MEAセルとセパレータの間に集電材が設けられる平板型の固体酸化物型燃料電池、およびMEAセルの空気極と燃料極の内周面または外周面に集電材が設けられる円筒型の固体酸化物型燃料電池
62	第5717491号 (2011-065307)	揮発性有機化合物用の担体触媒及びその製造方法	2015. 3. 27 (2011. 3. 24)	単独	VOC用の触媒層を担体に担持するにあたって、触媒担持量を増やしても比表面積を大きくでき、かつ触媒層が担体から剥離しにくいので、触媒性能のアップを図ることができるとともに触媒燃焼法の装置設計を容易化
63	第5722736号 (2011-202620)	流路形成用ガラス組成物、その組成物で形成される微細流路を備える石英ガラスマイクロリアクター及びその流路形成方法	2015. 4. 3 (2011. 9. 16)	共有	一對の石英ガラス基板の両板の対向面に、スクリーン印刷法でガラスペーストを印刷して焼成により該両板間に微細流路を形成する流路形成用ガラス組成物、その組成物で形成される微細流路を備える石英ガラスマイクロリアクター、およびその石英ガラスマイクロリアクターの流路形成方法
64	第5734589号 (2010-162015)	水道用ゴムパッキン	2015. 4. 24 (2010. 7. 16)	共有	バルブ、フランジ、その他各種の継手に使用する水密性に優れた水道用ゴムパッキン
65	第5739125号 (2010-201507)	人工骨部材	2015. 5. 1 (2010. 9. 9)	単独	自家骨との接合強度を高くして自家骨との強固な接合を発現維持させて、しかも汎用性の高い人工骨部材
66	第5753568号 (2013-240142)	局在プラズモン共鳴センサ及びその製造方法	2015. 5. 29 (2013. 11. 20)	単独	金属微細構造を持つ局在プラズモン共鳴センサの製造方法であって、誘電体基板と金属微細構造の間に設けた導電層または密着層を誘電体化する、局在プラズモン共鳴センサ製造方法
67	第5762151号 (2011-126795)	数値データの圧縮システム及び方法	2015. 6. 19 (2011. 6. 6)	単独	主にコンピューターによる科学技術計算や表計算のソフトウェアで一般的に採用されている浮動小数点形式の数値データの処理に関し、連続して入力される数値入力データを効率的に圧縮および伸長するためのシステム、方法およびその装置
68	第5767076号 (2011-227936)	熱型加速度センサー	2015. 6. 26 (2011. 10. 17)	単独	加速度センサーに関し、三軸方向の加速度を同時に測定可能な熱型加速度センサー
69	第5775326号 (2011-041203)	LED点灯回路	2015. 7. 10 (2011. 2. 28)	単独	照明器具、照明装置関連技術分野における省エネルギー型で、比較的大きな動作電流を持つLED（発光ダイオード）の点灯回路
70	第5779038号 (2011-175078)	揮発性有機物検出器及び揮発性有機物検出方法	2015. 7. 17 (2011. 8. 10)	単独	被測定対象に含まれるVOCを検出するVOC検出器およびVOC検出方法、特に、VOCをイオン化させ、拡散定数の大きさを判別することで、被測定対象に含まれるVOCの種別を特定することが可能なVOC検出器およびVOC検出方法

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
71	第5780640号 (2011-146285)	燃料電池、その駆動システム及び燃料電池組み立てキット	2015. 7. 24 (2011. 6. 30)	共有	必要な部品数を少なくして組み立ておよび分解を容易にするとともに、良好な出力電圧を有する燃料電池、その駆動システムおよび燃料電池組み立てキット
72	第5803003号 (2011-150689)	熱フィラメントCVD装置及び成膜方法	2015. 9. 11 (2011. 7. 7)	単独	基材の表面にダイヤモンド薄膜などの薄膜を形成するための熱フィラメントCVD装置およびその装置を用いて薄膜を形成するための成膜方法
73	第5812828号 (2011-262112)	管内壁の研掃方法、管内壁の研掃方法に用いる偏向部材および管内壁研掃システム	2015. 10. 2 (2011. 11. 30)	共有	錆面（付着物が付着した管内壁）への研削材の衝突エネルギーを高め、錆除去のプラスト力とその効率をさらに向上させるとともに、円錐形部材の円錐面の摩耗を少なくすることができる。したがって、偏向部材を長時間使用可能であること、研掃効率がよいこと、同じ範囲をより短い時間で研掃できることから、大変経済性の高い偏向手段
74	第5818619号 (2011-220890)	スラリー状触媒液の付着装置	2015. 10. 9 (2011. 10. 5)	単独	有害ガスを浄化するためのハニカム構造の触媒担持担体の製造において、担体にスラリー状触媒液を遠心力を利用して均一に付着させる技術
75	第5827735号 (2014-198975)	多孔質シリカの製造方法	2015. 10. 23 (2014. 9. 29)	単独	種々の形状に成型容易であり、透明性に優れ、ナノ粒子化が可能である多孔質シリカを、炭素数が7以下のカチオン性界面活性剤を使用しても高効率で得ることができる多孔質シリカの製造方法
76	第5840054号 (2012-074775)	複合材料、培養容器及び細胞培養器用仕切り部材	2015. 11. 20 (2012. 3. 28)	単独	細胞を通過させずに培養液成分などの物質を通過可能であるとともに、細胞の観察に適した透明性を有するコラーゲン膜およびこれを用いた培養容器
77	第5861231号 (2011-138440)	絹繊維品のプリーツ加工方法及び絹繊維品のプリーツ加工品	2016. 1. 8 (2011. 6. 22)	単独	絹繊維品のプリーツ加工に非常に有効であり、絹繊維品本来の特性を損なうことなく、プリーツの保持性にも優れるという効果を有する、プリーツ加工方法
78	第5861177号 (2011-228859)	有機溶剤の脱着方法および有機溶剤の脱着装置	2016. 1. 8 (2011. 10. 18)	共有	活性炭やゼオライトなどの吸着剤に吸着された有機溶剤を脱着して回収するための有機溶剤の脱着方法および有機溶剤の脱着装置
79	第5875761号 (2010-280036)	コラーゲン線維ゲルおよびその用途	2016. 1. 29 (2010. 12. 16)	単独	コラーゲン線維を架橋してなり、接着・増殖した細胞の牽引力によって収縮しない硬さを持つコラーゲン線維ゲル、およびそのコラーゲン線維ゲルを用いた動物移植用培養基材
80	第5876311号 (2012-015800)	吸音率測定装置、吸音率測定方法および吸音率測定プログラム	2016. 1. 29 (2012. 1. 27)	単独	試料の吸音率を測定する吸音率測定装置、吸音率測定方法および吸音率測定プログラム
81	第5878294号 (2011-002763)	チタン部材の曲げ加工方法および曲げ加工具	2016. 2. 5 (2011. 1. 11)	共有	チタン部材の曲げ加工方法および曲げ加工具において、チタン部材について、潤滑油を用いることなくドライ環境下での曲げ加工が行えるとともに、ふっ素樹脂膜を潤滑皮膜としていても、曲げ加工が繰り返し行えるように、曲げ加工具の耐久性を高めることができる、加工方法及加工具
82	第5883287号 (2011-276326)	防護帽、防護帽の使用方法、防護服及び防護装置	2016. 2. 12 (2011. 12. 16)	共有	気体の供給によるフード部内の騒音を低減できるので、防護帽の装着者と他人との間で会話を適切に行うことができ、意思疎通を適切に図ることができる防護帽
83	第5892485号 (2011-282885)	降水降下物などの自動蒸発濃縮器	2016. 3. 4 (2011. 12. 26)	単独	簡素な構造によって、安全で大量の降水降下物の蒸発濃縮が行える降水降下物放射能測定などの試料水の自動蒸発濃縮器
84	第5901156号 (2011-144300)	無機有機複合粒子及びその製造方法	2016. 3. 18 (2011. 6. 29)	単独	水難溶解性有機化合物を無機多孔質の細孔内に含有し、種々の分野で利用することができるナノレベルサイズの無機有機複合粒子およびその製造方法

2022年度 年報

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
85	第5917108号 (2011-260878)	電解セル	2016. 4. 15 (2011. 11. 29)	単独	電解膜を用いて水を電気分解する電解セル、例えば重水、トリチウム水などの試料水中の純水を固体高分子電解質 (Solid Polymer Electrolyte) から成る電解膜を用いて電解し減容して該試料水を濃縮する電解セル
86	第5917139号 (2011-287408)	ダイヤモンド膜の研磨方法および装置	2016. 4. 15 (2011. 12. 28)	単独	ダイヤモンド膜表面の平滑化による発熱量の低下を伴う研磨速度の減速を抑制できるダイヤモンド膜の研磨方法および装置
87	第5989334号 (2011-283724)	造粒体、造粒体の製造方法、水質浄化装置、リン酸肥料、及び、土壌改良資材	2016. 8. 19 (2011. 12. 26)	単独	リン酸の吸着性に優れた造粒体、前記造粒体の製造方法、リン酸の吸着性に優れた水質浄化装置に関し、また、前記造粒体を用いたリン酸肥料および土壌改良資材
88	第6004528号 (2012-186879)	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ	2016. 9. 16 (2012. 8. 27)	単独	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子
89	第6017175号 (2012-103787)	尾てい骨保護下着	2016. 10. 7 (2012. 4. 27)	単独	尾てい骨を保護して、長時間の着用および着座が快適となる尾てい骨保護下着
90	第6017431号 (2013-533461)	イオン化ガス検出器及びイオン化ガス検出方法	2016. 10. 7 (2012. 6. 21)	単独	イオン化された被測定対象ガスを検出するイオン化ガス検出器およびイオン化ガス検出方法
91	第6029149号 (2014-126615)	編針の製造方法	2016. 10. 28 (2014. 6. 19)	単独	金属糸などの難編成糸を編成可能とし、また、編成時に編針に発生するキズやさびを防止するためにDLC膜を施した編針の製造方法
92	第6045273号 (2012-214096)	リング撚糸機、リング撚糸製造方法、織物の製造方法および押圧スイッチの製造方法	2016. 11. 25 (2012. 9. 27)	単独	金属繊維と化学繊維などを撚り合わせてなる撚糸における金属繊維の張力の適切化を図ることができ、さらに金属繊維の張力が適切化された撚糸、そのような撚糸を製織してなる織物、そのような織物を使用した押圧スイッチ
93	第6052958号 (2012-151440)	相溶化剤、その相溶化剤により相溶されてなる複合体、相溶化剤の製造方法及びその相溶化剤により相溶されてなる複合体の製造方法	2016. 12. 9 (2012. 7. 5)	単独	脂肪族ポリエステルと天然繊維とを相溶せしめる際に用いる相溶化剤およびその相溶化剤により相溶されてなる複合体、そして、相溶化剤の製造方法さらに、その相溶化剤により相溶されてなる複合体の製造方法
94	第6057569号 (2012-150881)	冷却シート	2016. 12. 16 (2012. 7. 4)	単独	冷却シートに関するもので、物体を省エネルギー的に冷却する冷却シート
95	第6059957号 (2012-241704)	鳥獣識別装置、鳥獣識別方法、及びプログラム	2016. 12. 16 (2012. 11. 1)	共有	特定の空間領域に存在する鳥獣のうち羽ばたいている状態の鳥獣を識別することのできる鳥獣識別装置など
96	第6061483号 (2012-068325)	冷却シート及びネッククーラー	2016. 12. 22 (2012. 3. 23)	単独	冷却シートおよびネッククーラーに関するもので、物体を省エネルギー的に冷却する冷却基材、冷却シートおよびネッククーラー
97	第6066600号 (2012-154100)	人体模型、衣服圧測定装置および衣服圧測定方法	2017. 1. 6 (2012. 7. 9)	単独	人体模型、衣服圧測定装置および衣服圧測定方法に関し、特に、衣服圧測定用の人体模型、当該人体模型を用いた衣服圧測定装置および衣服圧測定方法
98	第6071468号 (2012-256802)	コラーゲン水溶液及びそれから得られるゲル	2017. 1. 13 (2012. 11. 22)	単独	室温での流動性を長い時間保持でき、かつ、生体温度で速やかにゲル化することが可能なコラーゲン水溶液と、そのゲル
99	第6081781号 (2012-255357)	高融点ゼラチン組成物、その製造方法、およびその用途	2017. 1. 27 (2012. 11. 21)	単独	一般的な細胞育成の温度条件においてゲル状態を維持することができる高融点ゼラチンと、その製造方法など
100	第6081156号 (2012-251622)	ハイドロゲル	2017. 1. 27 (2012. 11. 15)	共有	持続的な抗菌作用を有し、かつ正常組織への刺激が少なく、生体適合性の高いハイドロゲル
101	第6080762号 (2013-531434)	成形体の製造方法	2017. 1. 27 (2012. 8. 31)	共有	漆、植物繊維といった天然資源のみから形成される成形用材料であっても、外観により一層優れた成形体を製造することができる製造方法

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
102	第6108272号 (2013-193718)	プラスチックのバイオマス由来判別方法	2017. 3. 17 (2013. 9. 19)	単独	固体プラスチックに含まれる放射性炭素(14C)を、LSC法を用いて固体のまま測定するプラスチックのバイオマス由来判別方法
103	第6122706号 (2013-125803)	配光測定装置および配光測定方法	2017. 4. 7 (2013. 6. 14)	単独	面発光体の配光分布の測定を精度よく行うことを可能にしつつ、装置の大型化を回避可能にする配光測定装置など
104	第6129078号 (2013-540845)	制御システム	2017. 4. 21 (2012. 10. 26)	単独	制御器と負荷とが電力線を介して接続された制御システム
105	第6140999号 (2012-275046)	骨結合性材料、人工骨並びに基材と自家骨との結合促進方法	2017. 5. 12 (2012. 12. 17)	共有	所望の部位において自家骨との結合を促進させることができる骨結合性材料など
106	第6140608号 (2013-531435)	成形用材料	2017. 5. 12 (2012. 8. 31)	単独	漆、植物繊維といった天然資源(バイオマス)を原料として用いた場合であっても、製造時の原料混合物の流動性が良好で、各原料が混合機に焼き付くことを防止でき、良好な粒度を有し、成形性により一層優れた成形用材料と、これを用いた成形体
107	第6140607号 (2013-531433)	成形用材料及びその製造方法	2017. 5. 12 (2012. 8. 31)	共有	漆、植物繊維といった天然資源(バイオマス)を主原料とした成形用材料に関し、また、この成形用材料から得られる圧縮成形体、圧縮成形体
108	第6157173号 (2013-070640)	LED照明の分光分布設計方法	2017. 6. 16 (2013. 3. 28)	共有	基準光源との色みえの差が小さい分光分布を得ることができる、または、ある特定の色を鮮やかでかつ明るく見せる分光分布を得ることが可能となるLED照明の分光分布設計方法
109	第6158648号 (2013-181647)	クロムフリー化成処理液および化成処理方法	2017. 6. 16 (2013. 9. 2)	単独	クロムを用いずに、亜鉛や亜鉛合金の表面に耐食性のより高い化成皮膜を形成する化成処理液など
110	第6163349号 (2013-096087)	金属編地及びその製造方法	2017. 6. 23 (2013. 4. 30)	単独	通気性、光透過性に優れた金属編地およびその製造方法
111	第6165937号 (2016-141417)	多孔質シリカ内包粒子の製造方法	2017. 6. 30 (2016. 7. 19)	単独	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関し、特に、微細な孔を有する多孔質シリカを利用し、その孔の内部に微細な粒子を内包させる技術
112	第6169896号 (2013-119604)	重金属吸着剤及び重金属回収方法	2017. 7. 7 (2013. 6. 6)	単独	液体中の金属、特に廃水中の重金属を迅速に吸着した後、効率よく回収できる吸着剤およびそれを用いた重金属の回収方法
113	第6194226号 (2013-224629)	三次元測定装置及び三次元測定方法	2017. 8. 18 (2013. 10. 29)	単独	測定対象物の三次元形状を測定する際の作業効率を格段に向上させることができる三次元測定装置
114	第6195745号 (2013-129077)	電気ニッケルめっき液、めっき液の製造方法および電気めっき方法	2017. 8. 25 (2013. 6. 19)	単独	ピット防止などのための添加剤やほう素を含まない、高速電気めっきのめっき液として用いた場合にも、耐食性および外観に優れためっき皮膜が得られる電気ニッケルめっき液
115	第6199662号 (2013-172143)	照明器具の測光量測定安定性評価方法、測光量測定安定性評価装置、測光量測定安定性評価プログラム、およびその記録媒体	2017. 9. 1 (2013. 8. 22)	単独	放熱構造が備えられた照明器具の光源特性を明確にすることができ、照明器具の測光量を測定する際の安定性の評価を精度よく行うことができる測光量測定安定性評価方法などに係る技術
116	第6207132号 (2012-181879)	補助布付きコート、補助布及びマフラー	2017. 9. 15 (2012. 8. 20)	単独	高い防寒性を確保でき、また、補助布をマフラーとして使用できるので、補助布を外しても邪魔にならず、防寒性をさらに向上できる補助布付きコートなど
117	第6210841号 (2013-224627)	X線三次元測定装置及びX線三次元測定方法	2017. 9. 22 (2013. 10. 29)	単独	X線CT画像を補正して測定対象物のエッジを精確に特定することができるX線三次元測定装置

2022年度 年報

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
118	第6216605号 (2013-218054)	光学部材および光源装置	2017. 9. 29 (2013. 10. 21)	単独	面発光光源を発光体として用いた場合であっても、必要十分な平行度の出射光を得ることを実現可能とする光源装置
119	第6222982号 (2013-100737)	光源装置	2017. 10. 13 (2013. 5. 10)	単独	面発光光源を発光体として用いた場合であっても、点光源を形成することを実現可能とする光源装置
120	第6228176号 (2015-207399)	ゼラチンまたはその化学修飾体、それを含有する水性組成物および医療用積層体、ならびに医療用積層体の製造方法および細胞シートの単離方法	2017. 10. 20 (2015. 10. 21)	共有	ゼラチンまたはその化学修飾体、それを含有する水性組成物および医療用積層体、ならびに医療用積層体の製造方法および細胞シートの単離方法
121	第6236245号 (2013-159010)	飛行装置	2017. 11. 2 (2013. 7. 31)	単独	空気より軽い気体を充填した気嚢を用いた飛行装置の姿勢を自由に制御可能とするシステム
122	第6245860号 (2013-134031)	移動台車の制御装置及び移動台車の制御方法	2017. 11. 24 (2013. 6. 26)	単独	移動台車上に配設された構造体の向きを所定方向に制御しつつ任意の方向に移動可能な移動台車の制御装置
123	第6262401号 (2017-508416)	ロッカーボギー	2017. 12. 22 (2016. 3. 24)	単独	機敏な動作と低コストを実現しつつ、なめるように障害物の踏破する機能も有する四輪構造のロッカーボギー
124	第6270115号 (2013-241895)	運動支援システム及び運動支援プログラム	2018. 1. 12 (2013. 11. 22)	共有	内発的動機付けを促進するとともに、運動強度および運動部位が適切な範囲にある運動を行うことができるようにユーザを支援することができる運動支援システムおよび運動支援プログラム
125	第6280544号 (2015-519944)	X線エネルギー別画像再構成装置及び方法並びにX線三次元測定装置及び方法	2018. 1. 26 (2014. 5. 29)	単独	アーチファクトなどを補正により除去してより高精度の画像再構成を実現することができる、X線エネルギー別画像再構成装置および方法ならびにX線三次元測定装置および方法
126	第6308464号 (2014-107600)	注意再獲得支援システム、訓練用画像生成装置及びそのプログラム	2018. 3. 23 (2014. 5. 23)	共有	半側空間無視患者に対するリハビリテーションを支援するための注意再獲得支援システム、訓練用画像生成装置およびそのプログラム
127	第6329744号 (2013-194199)	ノード装置およびネットワークシステム	2018. 4. 27 (2013. 9. 19)	単独	データの収集と、データフレームの転送とを同時に行うことができ、このためスループットの低下を抑制することができるノード装置およびネットワークシステム
128	第6327601号 (2013-256516)	反応物供給流路	2018. 4. 27 (2013. 12. 11)	共有	液体燃料に用いた場合にも発電性能が高く、簡便に製造できる、反応物供給流路
129	第6338397号 (2014-031747)	黒色の金・パラジウム合金メッキ用メッキ液およびメッキ方法	2018. 5. 18 (2014. 2. 21)	共有	亜硫酸金塩およびパラジウム錯塩を含むメッキ液を用いて深味のある黒色調の金
130	第6339870号 (2014-124534)	圧力測定用材料とその製造方法並びに圧力測定方法	2018. 5. 18 (2014. 6. 17)	単独	非晶質炭酸カルシウムと、水と反応して呈色する呈色剤とを有することを特徴とする圧力測定用材料
131	第6341704号 (2014-052115)	塩化物イオンの定量方法及び塩化物イオンの定量装置、並びに、塩素の定量方法	2018. 5. 25 (2014. 3. 14)	単独	現場で使用可能な小型の装置に適用でき、安価であって、短時間に塩化物イオンを定量することが可能であり、かつ指針値に対して十分な感度を有している塩化物イオンの定量方法および塩化物イオンの定量装置など
132	第6357466号 (2015-508824)	悪臭処理用担持触媒	2018. 6. 22 (2014. 3. 31)	共有	Co、Ce系酸化物担持触媒のさらなる高性能化、安定性の向上を図ることができ、長時間活性を有効に保持することのできる悪臭処理用の担持触媒
133	第6368092号 (2014-001479)	リグノセルロースからのセルロース抽出方法	2018. 7. 13 (2014. 1. 8)	単独	多量の廃棄物を生じるような高温高圧処理などを必要としない、簡便な、植物系バイオマスまたはリグノセルロースからのセルロースの溶解および／または抽出方法、特に簡便で高効率な植物系バイオマスの糖化前処理技術

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
134	第6370595号 (2014-092371)	マグネシウム粉末冶金焼結体の製造方法、そのマグネシウム粉末冶金焼結体およびマグネシウム粉末冶金材料	2018. 7. 20 (2014. 4. 28)	単独	マグネシウム粉末冶金材料中のマグネシウム粉末同士間の結合力を強化し、当該材料の組織を維持したまま、その組織を緻密化したマグネシウム粉末冶金焼結体の製造方法など
135	第6378079号 (2014-259095)	成形材料、成形体の製造方法、及び成形体	2018. 8. 3 (2014. 12. 22)	単独	本物のべっ甲製品に近い独自の風合いを有する成形体を自由な形状で低コストで大量に製造することができる成形材料および成形体の製造方法、ならびに本物のべっ甲製品に近い独自の風合いを有する成形体
136	第6382057号 (2014-209085)	遅延量測定回路および遅延量測定方法	2018. 8. 10 (2014. 10. 10)	単独	測定することができる遅延量の大小を選択して広範な測定を実現でき、少ない回路リソースにより、省電力と小回路規模を実現することができる遅延量測定回路および遅延量測定方法
137	第6385743号 (2014-144888)	マイクロヒータ	2018. 8. 17 (2014. 7. 15)	単独	熱応力を抑制することができるマイクロヒータ
138	第6407728号 (2014-560827)	メカニカルシールの製造方法	2018. 9. 28 (2014. 2. 7)	共有	メカニカルシールに要求される漏洩防止性能を満たしながら、優れた耐久性を有するダイヤモンド被膜面を有するメカニカルシールおよびその製造方法
139	第6410574号 (2014-233373)	多孔質シリカの製造方法	2018. 10. 5 (2014. 11. 18)	共有	ケイ酸アルカリのケイ酸化により多孔質シリカを製造する方法
140	第6417183号 (2014-211950)	金属イオン捕集材	2018. 10. 12 (2014. 10. 16)	単独	水溶液中の金属イオンを捕集でき、金属イオンによっては選択的に捕集できる地球環境に優しい金属イオン捕集材
141	第6422223号 (2014-048017)	信号検出装置及び信号検出方法	2018. 10. 26 (2014. 3. 11)	単独	電磁ノイズを検出対象信号として誤検出することを防止することができる信号検出装置および信号検出方法
142	第6427387号 (2014-223328)	量子ドット複合光触媒	2018. 11. 2 (2014. 10. 31)	単独	量子ドットを用いた反応効率の高い光触媒
143	第6436881号 (2015-172025)	造形材料	2018. 11. 22 (2015. 9. 1)	単独	常温で素手による造形が可能であり、硬化処理せずとも高い形状保持性を有する造形材料
144	第6445934号 (2015-116085)	廃棄汚泥の減少方法	2018. 12. 7 (2015. 6. 8)	単独	原料ガラスからガラスカレットを製造する際に発生する廃棄汚泥を減少させる方法、特に微生物処理により廃棄汚泥を減少させる方法
145	第6454125号 (2014-210060)	コラーゲンゲルの作製方法	2018. 12. 21 (2014. 10. 14)	単独	大きなスケールで立体的に成形された“線維束”を非破壊的に製造することができるコラーゲンゲルの作製方法
146	第6456663号 (2014-230504)	放熱性を向上させる塗装方法、塗装装置および塗料	2018. 12. 28 (2014. 11. 13)	共有	被塗装物の放熱性を向上させることができる新規な塗装方法
147	第6472635号 (2014-210057)	コラーゲン水溶液及びそれを用いたゲルの製造方法	2019. 2. 1 (2014. 10. 14)	単独	「その場調製」が可能なほどに線維化の体温応答性が高いコラーゲン水溶液
148	第6481179号 (2015-110645)	強度確知評価方法	2019. 2. 22 (2015. 5. 29)	共有	強化したガラスの色彩、平面形状、平滑性に左右されずに表面の強度および表面の深さ方向強度分布を直接確知評価できる強度確知評価方法
149	第6483884号 (2018-058081)	悪臭処理用担持触媒の製造方法	2019. 2. 22 (2018. 3. 26)	共有	Co、Ce系酸化物担持触媒のさらなる高性能化、安定性の向上を図ることができ、長時間活性を有効に保持することのできる悪臭処理用の担持触媒の製造方法
150	第6494992号 (2014-250421)	ナノ粒子の製造方法	2019. 3. 15 (2014. 12. 10)	単独	組成を限定することなく、粒径が100 nm以下のナノ粒子を簡便に製造することができるナノ粒子

2022年度 年報

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
151	第6509515号 (2014-189562)	揮発性有機化合物成分検出センサ	2019. 4. 12 (2014. 9. 18)	共有	酵素サイクリング反応によるNADH増幅によって生じるホルマジン色素の吸光度を測定することにより、測定対象ガスに含まれる揮発性有機化合物の成分量を選択的に高感度かつ、連続的に検出可能とする揮発性有機化合物成分量検出センサ
152	第6511242号 (2014-192135)	サンドイッチパネル用コア材、サンドイッチパネル用コアおよびサンドイッチパネル	2019. 4. 12 (2014. 9. 22)	単独	曲げ剛性が大きく、スキン材との接着力が強く、また十分な型抜き勾配が得られるサンドイッチパネル用コア材
153	第6533650号 (2014-168330)	触媒	2019. 5. 31 (2014. 8. 21)	共有	触媒燃焼式でVOC、アンモニア、硫化水素、一酸化炭素などのガス状化合物の処理を行う際、触媒が熱触媒として活性を発揮する温度に達する前に触媒槽にガス状化合物が入って来ても処理することができる触媒
154	第6533908号 (2014-202048)	成形体の製造方法	2019. 6. 7 (2014. 9. 30)	共有	強度に優れた成形体に関し、さらに詳細には、生体親和性、生体分解性、および強度に優れた医療用成形体や各種締結部材に最適な強度を有する成形体の製造方法
155	第6538389号 (2015-060009)	ダイヤモンド薄膜の製造方法、熱フィラメントCVD装置及びメカニカルシール	2019. 6. 14 (2015. 3. 23)	単独	ダイヤモンド薄膜を低コストで成膜するための、ダイヤモンド薄膜の製造方法
156	第6538765号 (2017-134886)	飛行装置	2019. 6. 14 (2017. 7. 10)	単独	空気より軽い気体を充填した気嚢を用いた飛行装置に搭載できる、簡素かつ軽量の駆動装置
157	第6546791号 (2015-120886)	光電変換装置	2019. 6. 28 (2015. 6. 16)	単独	光電変換装置、特に、中間準位を有するワイドギャップ半導体を用いた光電変換装置に適用して有効な技術
158	第6548981号 (2015-140165)	表面プラズモン共鳴測定装置及びそのチップ	2019. 7. 5 (2015. 7. 14)	単独	ウイルスを高感度かつ迅速に検出可能な測定装置
159	第6558983号 (2015-132390)	車輪構造体	2019. 7. 26 (2015. 7. 1)	単独	所定の高さを有する段差などの障害物の乗り越えに労する力を低減でき、簡易な構造の車輪構造体
160	第6564977号 (2017-040986)	ダイヤモンドライクカーボン膜、摺動部材、加工部材及びダイヤモンドライクカーボン膜の製造方法	2019. 8. 9 (2017. 3. 3)	共有	低摩擦性および耐摩耗性に優れたダイヤモンドライクカーボン膜、摺動部材、加工部材およびダイヤモンドライクカーボン膜の製造方法
161	第6585549号 (2016-112634)	情報処理装置、情報処理方法、及びプログラム	2019. 9. 13 (2016. 6. 6)	単独	3次元状の被検査対象物に含まれる特性が異なる領域の迅速な特定に寄与することができる情報処理装置、情報処理方法、およびプログラム
162	第6611441号 (2015-039192)	周波数変換ユニット、計測システム及び計測方法	2019. 11. 8 (2015. 2. 27)	単独	単純化した構成を有する周波数変換器、計測システムおよび計測方法
163	第6619556号 (2015-006392)	頭部装着体の製造方法、かつらの製造方法、及び、かつら	2019. 11. 22 (2015. 1. 16)	共有	頭部装着体の製造方法、かつらの製造方法、およびかつらにおいて、頭部装着体の装着感を良好にする方法
164	第6634217号 (2015-078027)	局在表面プラズモン共鳴センサ、ガスセンサ及び製造方法	2019. 12. 20 (2015. 4. 6)	単独	LSPRを用いたガスセンサの光学配置に起因する信号変動の回避を図り、広範囲なVOC濃度を適切に計測する方法
165	第6633844号 (2015-121205)	多孔質シリカに内包された炭素粒子蛍光体、炭素粒子蛍光体、多孔質シリカに内包された炭素粒子蛍光体の製造方法および炭素粒子蛍光体の製造方法	2019. 12. 20 (2015. 6. 16)	単独	微細な孔を有する多孔質シリカを利用し、その孔の内部に炭素を内包させることにより得られる炭素粒子蛍光体
166	第6630878号 (2015-208371)	ダイヤモンド結晶製造装置及びダイヤモンド結晶製造方法	2019. 12. 20 (2015. 10. 22)	共有	小型であり、かつ所望の位置にダイヤモンドを製造できるダイヤモンド結晶製造装置およびダイヤモンド結晶製造方法
167	第6650831号 (2016-107468)	ガス流路構造および流量センサ	2020. 1. 23 (2016. 5. 30)	共有	流量負荷を増加させることなく、ガス流の脈動を軽減することのできるガス流路構造、および、ガス流の脈動による影響を受けることなく、高い精度で流量測定を行うことのできる小型の流量センサ

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
168	第6652785号 (2015-080285)	L E D照明の分光分布設計方法	2020. 1. 28 (2015. 4. 9)	単独	基準光との色みえの差が十分に小さく、また特定の色の鮮やかさと明るさが十分に大きく、かつLED照明の光源効率が最大となる分光分布設計方法
169	第6668094号 (2016-019288)	緊急停止方法、緊急停止システム及びその自己診断方法	2020. 2. 28 (2016. 2. 3)	単独	部品コストの増大と、機器全体の故障率の増加（すなわち、信頼性の低下）を最小限に抑え、緊急時に上位ユニットからの指令で下位ユニットを確実に停止させることができる緊急停止方法、緊急停止システムおよびその自己診断方法
170	第6673663号 (2015-196042)	局在表面プラズモン共鳴センサ	2020. 3. 9 (2015. 10. 1)	単独	複雑な光学系を必要とせず、小型化が可能で、さらには検出精度の高い局在表面プラズモン共鳴センサ
171	第6674213号 (2015-168867)	微粒子凝集制御装置および微粒子凝集体生成方法	2020. 3. 10 (2015. 8. 28)	単独	微粒子および溶媒・媒質に対して化学的な修飾をすることなく、凝集度を制御しつつ短時間に微粒子凝集体を生成するしくみを安価かつ簡便に実現する方法
172	第6678901号 (2016-091317)	光学特性測定装置および光学特性測定方法	2020. 3. 23 (2016. 4. 28)	単独	被測定物の光学特性を測定する光学特性測定装置および光学特性測定方法
173	第6680470号 (2015-115101)	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	2020. 3. 24 (2015. 6. 5)	単独	測定対象物の内外輪郭を高い精度で取得することができる画像取得装置および画像取得方法
174	第6693786号 (2016-068938)	導電性繊維	2020. 4. 20 (2016. 3. 30)	単独	繊維としての柔軟性を維持しながら、優れた導電性を有する導電性繊維
175	第6719230号 (2016-030300)	積層造形装置を用いた積層造形方法	2020. 6. 18 (2016. 2. 19)	単独	正確な変形のデータを算出するとともに、その算出したデータを設計データに反映させることで、造形させる造形パーツの変形を制御する積層造形装置を用いた積層造形方法
176	第6722914号 (2016-120703)	アシスト装置装着用のウェアおよびアシストウェアシステム	2020. 6. 25 (2016. 6. 17)	共有	非外骨格型のアシスト装置を装着する作業を、装着者が一人で短時間のうちに簡単にできるアシスト装置装着用のウェア
177	第6727977号 (2016-151279)	揮発性有機物検出器及び揮発性有機物検出方法	2020. 7. 3 (2016. 8. 1)	単独	揮発性有機物の濃度と拡散定数を判定し、揮発性有機物検出室内の内壁における荷電粒子の移動量を制御することで、揮発性有機物を含むガスの判別精度を向上させる揮発性有機物検出器および揮発性有機物検出方法
178	第6738089号 (2016-195995)	通気性扉	2020. 7. 21 (2016. 10. 3)	単独	簡易な内部構造で高い遮音性能を発揮できる通気性扉
179	第6755044号 (2016-239628)	車輪構造体及び車両	2020. 8. 27 (2016. 12. 9)	単独	前進時及び後進時の両方において、荷台を安定させながら段差や斜面、凸凹道などの不整地の踏破性を向上させる車輪構造体および車両
180	第6757933号 (2016-172118)	白金担持体とそれを用いた酸素還元触媒およびその製造方法ならびに燃料電池、金属空気電池	2020. 9. 3 (2016. 9. 2)	単独	優れた酸素還元触媒活性を有し、かつ、製造コストおよび材料コストの両面から望ましい燃料電池や金属空気電池の空気極用に好適な白金担持体の製造方法および、優れた酸素還元触媒活性を有する新規な白金担持体とそれを用いた酸素還元触媒ならびに燃料電池、金属空気電池
181	第6765192号 (2016-008947)	レーザーマイクロダイセクター及びレーザーマイクロダイセクション方法	2020. 9. 17 (2016. 1. 20)	共有	試料の標的部分の周囲を正確に切断可能なレーザーマイクロダイセクターおよびレーザーマイクロダイセクション方法
182	第6778431号 (2016-243600)	導波管マイクロストリップ線路変換器	2020. 10. 14 (2016. 12. 15)	単独	低コストかつ容易に、ミリ波帯の広範囲にわたって共振が発生するのを抑えることができる導波管マイクロストリップ線路変換器
183	第6785000号 (2016-175457)	回転体、回転機械及びポンプ	2020. 10. 28 (2016. 9. 8)	単独	振動が少ない、低比速度の回転機械

2022年度 年報

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
184	第6792219号 (2016-153201)	温度補正方法、温度補正プログラム、温度補正装置、及び座標測定機	2020. 11. 10 (2016. 8. 3)	単独	目盛誤差をより低減することができる温度補正方法、温度補正プログラム、温度補正装置および座標測定機
185	第6795344号 (2016-138896)	ハイドロゲル及びハイドロゲルの製造方法	2020. 11. 16 (2016. 7. 13)	単独	機械的強度を備え、かつ瞬発的吸水性に優れ、生体模倣モデルに適用可能なハイドロゲル
186	第6796379号 (2016-008946)	レーザーマイクロダイセクター及びレーザーマイクロダイセクション方法	2020. 11. 18 (2016. 1. 20)	共有	試料の標的部分の周囲を正確に切断可能なレーザーマイクロダイセクターおよびレーザーマイクロダイセクション方法
187	第6797373号 (2016-172301)	ガス電子増幅器用電極、ガス電子増幅器及びガス電子増幅器用電極の製造方法	2020. 11. 20 (2016. 9. 2)	共有	ガス電子増幅器用電極、ガス電子増幅器およびガス電子増幅器用電極の製造方法
188	第6799325号 (2017-105517)	画像補正装置、画像補正方法、注目点認識装置、注目点認識方法及び異常検知システム	2020. 11. 25 (2017. 5. 29)	単独	監視カメラなどで用いられる画像の歪みを解消する方法
189	第6800482号 (2017-082843)	マグネシウム合金の製造方法	2020. 11. 27 (2017. 4. 19)	単独	強度と延性、熱的安定性を兼ね備えたマグネシウム合金
190	第6819983号 (2016-119770)	めっき付き樹脂成形体	2021. 1. 6 (2016. 6. 16)	単独	非導電性である樹脂成形体にめっき層を形成しためっき付き樹脂成形体
191	第6842622号 (2016-170665)	フローセンサ及びその製造方法	2021. 2. 25 (2016. 9. 1)	共有	より効率的に流体を加熱することができるフローセンサおよびその製造方法
192	第6843350号 (2016-231519)	放射線量計測装置、放射線量計測方法及び放射線量計測システム	2021. 2. 26 (2016. 11. 29)	共有	移動しながら放射線検出器を走査し、静止計測時の放射線量計測と同などの結果を算出し推定することができる放射線量計測装置
193	第6846031号 (2016-219707)	ガス電子増幅モジュール	2021. 3. 3 (2016. 11. 10)	単独	容易に実装可能で、一体化したガス電子増幅モジュール
194	第6847442号 (2016-113048)	物体追跡装置、物体追跡方法、および物体追跡プログラム	2021. 3. 5 (2016. 6. 6)	単独	物体追跡装置が運動する場合であっても、正確に物体を追跡する物体追跡装置、物体追跡方法、および物体追跡プログラム
195	第6858391号 (2016-197054)	X線CT装置、画像補正方法及び画像補正プログラム	2021. 3. 26 (2016. 10. 5)	単独	点光源式のX線源と、フラットパネル式の検出器とを備えるX線CT装置において、フラットパネル式の検出器の端部における投影画像の誤差を精度よく補正する方法
196	第6858395号 (2016-219377)	ノイズ源探査システムおよびノイズ源探査方法	2021. 3. 26 (2016. 11. 10)	単独	同じ周波数の信号出力源が近接位置に複数設けられていても、ノイズ源となっている信号の出力源を明確に識別できるノイズ源探査システム
197	第6865919号 (2017-212487)	光暴露方法及び光暴露装置	2021. 4. 9 (2017. 11. 2)	共有	材料の光と熱の関係を解析可能な光暴露装置及び光暴露方法
198	第6867657号 (2019-559900)	マグネシウム合金粉末の製造方法	2021. 4. 13 (2017. 12. 19)	単独	Mgを主成分とし、Y、Al、およびCaからなる群から選択される少なくとも1種を第1の副成分として含有するMg合金の溶解原料を溶解して、Mg合金の溶湯を得る工程、および空気を用いて、上記Mg合金の溶湯を噴霧して、Mg合金粉末を得る工程を有する、Mg合金粉末の製造方法
199	第6868268号 (2017-040525)	成形体の製造方法	2021. 4. 14 (2017. 3. 3)	単独	変形可能な基材の表面上に固化可能な流動体を塗布して第一塗膜を形成する第一塗布工程と、上記第一塗膜を固化して第一固化膜を得る第一固化工程と、上記基材を変形させることにより、上記第一固化膜を上記基材から剥離する剥離工程と、を備える成形体の製造方法
200	第6882745号 (2016-138685)	6価クロム含有廃液の処理剤および処理方法	2021. 5. 11 (2016. 7. 13)	単独	処理工程中のpH調整を1回とすることが可能で、処理設備を簡素化でき、処理中に危険な薬品を使用する回数を減らすことができる六価クロム含有廃液の処理剤および処理方法
201	第6900031号 (2017-108698)	パーソナルトレーナーズーツ、姿勢計測装置、姿勢計測方法、及び、トレーニングシャツ	2021. 6. 18 (2017. 5. 31)	単独	筋力トレーニング機器の利用者が「胸をはり」かつ「肩をすくめない」姿勢であるかを計測するパーソナルトレーナーズーツ

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
202	第6912042号 (2017-018226)	熱伝導式センサ	2021. 7. 12 (2017. 2. 3)	単独	結露などの発生を防止し、より適切な測定をすることができる熱伝導式センサ
203	第6923909号 (2017-098856)	偏光特性測定方法および偏光特性測定装置	2021. 8. 3 (2017. 5. 18)	単独	サンプリング数を抑制して演算処理の負荷を軽減するとともに、偏光特性を精度良く測定することができる偏光特性測定方法
204	第6928352号 (2018-233482)	水分率測定装置および水分率測定方法	2021. 8. 11 (2018. 12. 13)	共有	精度の高い水分率測定を行うことができる水分率測定装置および水分率測定方法
205	第6932343号 (2016-131911)	体表に適用する非架橋ゼラチン、これを含む化粧料用または医薬用ゼラチン、ゼラチン混合体の製造方法、および化粧料用または医薬用ゼラチンの製造方法	2021. 8. 20 (2016. 7. 1)	共有	30℃を超える程度の比較的高い融点を有し、かつ生体温度付近でゾル-ゲル転移を起こすことのできる非架橋ゼラチン
206	第6936482号 (2017-217331)	暗号システム、ユーザシステム、暗号方法、及び暗号プログラム	2021. 8. 31 (2017. 11. 10)	単独	属性ベース暗号を用いた暗号システム、ユーザシステム、暗号方法、および暗号プログラム
207	第6940042号 (2017-118594)	積層造形装置および積層造形システム	2021. 9. 6 (2017. 6. 16)	単独	造形物配置の制限や、冷却効率の低下を引き起こす特殊な構造を必要とせず、造形物入りケーキの内部温度の冷却を促進させることで、樹脂を用いた粉末床溶融結合による積層造形において、造形物完成までの時間を短縮できる積層造形装置および積層造形システム
208	第6944669号 (2020-065547)	食器用器具・容器包装	2021. 9. 15 (2020. 4. 1)	共有	海洋生分解性を有する樹脂の成形体によって構成される食品用器具・容器包装、及び海洋資材に関する
209	第6945203号 (2018-520890)	多層グラフェン分散液、熱物性測定用黒化剤および粉末焼結用離型剤・潤滑剤	2021. 9. 16 (2017. 5. 29)	単独	試料表面に多層グラフェンを含む薄くて均一な塗膜を瞬時に作製できる多層グラフェン分散液、黒化効果に優れた熱物性測定用黒化剤、および離型・潤滑効果に優れた粉末焼結用離型剤・潤滑剤
210	第6958837号 (2017-227160)	身体形状データ変換装置、身体形状データ変換方法およびプログラム	2021. 10. 11 (2017. 11. 27)	共有	形状計測装置によって得られた形状データの表面構造を、寸法精度を損なうことなく、動作データを適用可能な構造に変換することができる身体形状データ変換装置、身体形状データ変換方法およびプログラム
211	第6970422号 (2017-108148)	音響信号処理装置、音響信号処理方法、及び、音響信号処理プログラム	2021. 11. 2 (2017. 5. 31)	単独	マイク入力にエコー以外の音声（利用者の音声など）が含まれているか否かを速やかに正しく判定することができる音響信号処理装置
212	第6974821号 (2017-061293)	移動ロボット及び制御回路	2021. 11. 9 (2017. 3. 27)	単独	移動ロボットの転倒を防止でき、かつ、車輪駆動部への動力を遮断せずに、制御部に故障などが発生し移動ロボットが暴走したとしても、低コストな方法で移動ロボットの移動速度が適切に制限される安全性の高い移動ロボットおよび制御回路
213	第6980270号 (2018-019856)	背景騒音下における対象音の近似官能評価方法および背景騒音下における対象音の近似官能評価システム	2021. 11. 19 (2018. 2. 7)	単独	背景騒音下で被評価物から生じる対象音に対する聴感印象の官能評価と相関性の高い近似的な官能評価を定量的に行うことができる背景騒音下における対象音の近似官能評価システム
214	第6992980号 (2018-124435)	光触媒作用を有する積層構造体の製造方法	2021. 12. 13 (2018. 6. 29)	単独	光触媒層とスペーサ層とが積層する積層体において、スペーサ層を除去しやすい、光触媒作用を有する積層構造体の製造方法
215	第6994147号 (2017-210101)	高分子多糖類又はタンパク質架橋用架橋剤及びその製造方法、架橋高分子多糖類又は架橋タンパク質形成用ゾル及びその製造方法	2021. 12. 15 (2017. 10. 31)	共有	高分子多糖類またはタンパク質架橋用架橋剤およびその製造方法、架橋高分子多糖類または架橋タンパク質形成用ゾルおよびその製造方法

2022年度 年報

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
216	第6994723号 (2020-091946)	集電材用糸、集電材用糸からなる集電材、及び、集電材を用いた燃料電池システム	2021. 12. 16 (2020. 5. 27)	共有	集電材用糸、集電材用糸からなる集電材、及び、集電材を用いた燃料電池システムに係り、特に、高い導電性を有する導電性糸と燃料ガスを改質する改質触媒糸とが組み合わされた集電材用糸、この集電材用糸を編織した集電材、及び、この集電材を用いた燃料電池システム
217	第7007086号 (2016-224258)	粘膜下局注用コラーゲンゾル	2022. 1. 11 (2016. 11. 17)	共有	消化管粘膜下に局注された場合にゲル化し、隆起高の維持率が高い膨隆を形成する、安全な、粘膜下局注用ゾル
218	第7012950号 (2016-224255)	生体組織孔閉鎖用、潰瘍保護用及び血管塞栓療術用ゾル	2022. 1. 21 (2016. 11. 17)	共有	生体組織孔閉鎖、潰瘍保護、または血管塞栓療術に利用できる、カテーテルによる送達に適した生体注用ゾル
219	第7017709号 (2020-185789)	三次元形状造形物の製造装置、付加製造装置による三次元形状造形物の製造方法及び付加製造装置による三次元形状造形物の製造プログラム	2022. 2. 1 (2020. 11. 6)	単独	三次元形状造形物の製造装置、付加製造装置による三次元形状造形物の製造方法及び付加製造装置による三次元形状造形物の製造プログラムに関するもので、詳しくは、樹脂粉末床溶融結合固有の課題とされる、オレンジピールと呼ばれる凹凸の激しい表面の形成の抑制に加えて、材料消費量の低減も同時に達成する方法
220	第7030325号 (2018-008030)	殺菌方法	2022. 2. 25 (2018. 1. 22)	単独	可食部を覆う殻や外皮を有する食品について、その表面においては、殺菌ができる程度の電子線を照射しつつ、可食部のX線の吸収線量を基準値以下に抑える殺菌方法
221	第7038399号 (2017-183254)	C T装置用校正器	2022. 3. 10 (2017. 9. 25)	単独	CT装置による寸法測定と校正を同時に行うための校正器
222	第7048956号 (2017-169756)	F R P成形品及びその製造方法	2022. 3. 29 (2017. 9. 4)	単独	高い強度と、高い弾性率と、優れた耐衝撃性とを同時に満たすFRP成形品およびその製造方法
223	第7062283号 (2018-117844)	新規なポルフィリン誘導体、ポルフィリン誘導体の製造方法、ドナー材料、光電変換装置、および光電変換装置の製造方法	2022. 4. 22 (2018. 6. 21)	単独	電荷輸送効率の向上や、長い励起寿命などの特性向上が可能な光電変換装置のドナー材料としてのポルフィリン誘導体、および光電変換装置の製造方法
224	第7062284号 (2018-131206)	新規なポルフィリン誘導体、ポルフィリン誘導体の製造方法、ドナー材料、光電変換装置、および光電変換装置の製造方法	2022. 4. 22 (2018. 7. 11)	単独	新規なポルフィリン誘導体、ポルフィリン誘導体の製造方法、光電変換装置、および光電変換装置の製造方法に関し、特に、ドナー材料として用いて好適なポルフィリン誘導体やその製造方法、また、このポルフィリン誘導体をドナー材料として用いた光電変換装置や光電変換装置の製造方法
225	第7066116号 (2017-227159)	人体形状モデル可視化システム、人体形状モデル可視化方法およびプログラム	2022. 5. 2 (2017. 11. 27)	共有	運動および運動に関係する時間変化データをわかりやすく提示することができる人体形状モデル可視化システム、人体形状モデル可視化方法およびプログラム
226	第7066934号 (2018-191985)	チタン合金の絞り加工方法	2022. 5. 6 (2018. 10. 10)	単独	低温でチタン合金を良好に絞り加工できるチタン合金の絞り加工方法低温でチタン合金を良好に絞り加工できるチタン合金の絞り加工方法
227	第7075121号 (2018-154669)	電子製品の評価方法および評価装置	2022. 5. 17 (2018. 8. 21)	単独	電子製品の誤動作原因となるノイズ周波数を明確にし、さらに誤動作の原因であるノイズを低減させる際のレベル指標を定める、電子製品の評価方法およびこの方法を用いた評価装置
228	第7075055号 (2018-189218)	絞り加工装置及び絞り加工方法	2022. 5. 17 (2018. 10. 4)	単独	金属の金型への凝着を抑制できる絞り加工装置および絞り加工方法
229	第7079464号 (2017-213004)	炭酸カルシウム成形体の製造方法および炭酸カルシウム成形体	2022. 5. 25 (2017. 11. 2)	単独	緻密性や均質性などの非晶質炭酸カルシウムの長所が維持されており、強度に優れた炭酸カルシウム成形体を得ることができる炭酸カルシウム成形体の製造方法

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
230	第7081354号 (2018-132635)	センサ保持基板及びセンサモジュール	2022. 5. 30 (2018. 7. 12)	単独	断熱性を向上することができるセンサ保持基板およびセンサモジュール
231	第7081389号 (2018-153505)	温度補正方法、温度補正プログラム、及び座標測定機	2022. 5. 30 (2018. 8. 17)	単独	目盛誤差をより容易に低減することができる温度補正方法、温度補正プログラム、および座標測定機
232	第7083142号 (2017-119609)	移動装置、駆動制御方法、及び駆動制御プログラム	2022. 6. 2 (2017. 6. 19)	単独	移動経路に沿って移動する移動装置であり、構造物が配置された領域の状況に応じて適切に移動することができる移動装置、駆動制御方法および駆動制御プログラム
233	第7084575号 (2017-238382)	亀裂検知センサー及び亀裂検知システム	2022. 6. 7 (2017. 12. 13)	共有	現場での施工が容易であり、小さな亀裂の発生とその進展を検出することができる亀裂検知センサーと、このセンサーを使用した亀裂検知システム
234	第7092348号 (2018-153720)	比較測定機用校正ゲージ及び比較測定機の校正方法	2022. 6. 20 (2018. 8. 17)	単独	被測定物の位置ずれによる測定誤差が比較測定機の精度保証範囲内であることを確認できる比較測定機用校正ゲージ
235	第7102659号 (2018-185076)	樹脂金属複合部材及び樹脂金属複合部材の製造方法	2022. 7. 11 (2018. 9. 28)	単独	金属部材と接着層と繊維強化樹脂とを備える樹脂金属複合部材において、接着層に対する繊維強化樹脂の接着性に優れた樹脂金属複合部材の製造方法金属部材と接着層と繊維強化樹脂とを備える樹脂金属複合部材において、前記接着層に対する前記繊維強化樹脂の接着性に優れた樹脂金属複合部材
236	第7105477号 (2018-100159)	合金部材および合金部材の製造方法	2022. 7. 14 (2018. 5. 25)	単独	合金部材および合金部材の製造方法に関し、メカニカルアロイリング粒子を摩擦攪拌プロセスにより取り込んだ合金領域を有する合金部材およびその製造方法
237	第7111347号 (2018-110238)	磁界検出コイルおよびEMIアンテナ	2022. 7. 25 (2018. 6. 8)	単独	シールド材を施さずに外来ノイズの影響を低減し、被測定対象に流れるノイズ電流、即ち、ノイズ電流に起因する磁界成分のみを広帯域にわたり再現性よく検出することができる磁界検出コイルおよびEMIアンテナ
238	第7112072号 (2018-113072)	回転型レオメーター用乾燥防止用具	2022. 7. 26 (2018. 6. 13)	単独	回転型レオメーターを用いて測定する際の試料の乾燥を抑制することができ、計測精度を向上させることが可能な回転型レオメーター用乾燥防止用具
239	第7114056号 (2018-103401)	繊維強化樹脂製ボルト、繊維強化樹脂製締結部材の製造方法	2022. 7. 29 (2018. 5. 30)	単独	簡易な手法により軸に対して垂直な面内に繊維物を配置することによって、ネジ山の強度を向上させた繊維強化樹脂製ボルト及びナット、そして、それら締結部材の製造方法
240	第7119256号 (2017-131884)	VOC処理用触媒の製造方法、VOC処理方法及びVOC処理用触媒	2022. 8. 8 (2017. 7. 5)	単独	芳香族を含むVOCとそれを含まないVOCを300℃より低い温度領域で同時に処理することのできる触媒
241	第7123394号 (2018-215048)	歩行支援装置	2022. 8. 15 (2018. 11. 15)	単独	フレームの姿勢を安定させつつ方向転換を容易に行うことができる歩行支援装置
242	第7132605号 (2018-169190)	歩行支援装置	2022. 8. 30 (2018. 9. 10)	単独	構造が簡略であって、装置の寸法に関する設計上の制約が少なく、しかも安全性の点で優れている歩行支援装置
243	第7132606号 (2018-169193)	歩行支援装置	2022. 8. 30 (2018. 9. 10)	単独	収納形態における小型化を図ることができる歩行支援装置
244	第7133205号 (2018-150796)	ダイヤモンド研磨装置及びダイヤモンド研磨方法	2022. 8. 31 (2018. 8. 9)	単独	研磨工具の長寿命化のために、研磨工具の摩耗を低減し、さらに、研磨の高効率化を可能とするダイヤモンド研磨装置およびダイヤモンド研磨方法
245	第7141052号 (2018-126727)	機能性薄膜の製造方法	2022. 9. 13 (2018. 7. 3)	共有	機能性薄膜の組成の制御が可能な機能性薄膜の製造方法、ならびに組成が制御され、膜の厚さ方向において構成成分の組成比が異なる機能性薄膜

2022年度 年報

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
246	第7141095号 (2018-153394)	光触媒	2022. 9. 13 (2018. 8. 17)	単独	量子サイズ効果が生じる径を有する細孔が形成された担体と、細孔に挿入された量子ドットと、量子ドットと接触し、かつ、前記細孔の外部に配置されるナノ粒子とを有する触媒材料およびそれらを含む光触媒
247	第7142201号 (2017-252990)	撮影システム及び画像処理装置並びに画像処理方法	2022. 9. 15 (2017. 12. 28)	共有	偏光を用いてサンプル（試料）を観察するために、当該サンプルを被写体として写真撮影を行う撮影システム及び画像処理装置並びに画像処理方法
248	第7143994号 (2017-215184)	高配向コラーゲン線維束及びその製造方法	2022. 9. 20 (2017. 11. 8)	共有	一定以上のファイバー長を有する高配向のコラーゲン線維束の提供
249	第7145476号 (2017-181140)	複層ガラス剥離装置及び剥離方法	2022. 9. 22 (2017. 9. 21)	単独	複層ガラスからガラス板を短時間で分離することができる複層ガラス剥離装置と、複層ガラスからのガラス剥離方法
250	第7148100号 (2021-144034)	腐食試験方法及び装置	2022. 9. 27 (2021. 9. 3)	共有	鋼板などの金属表面のさび等の腐食の経時的变化を定量的に測定し、腐食状態を評価できる試験装置
251	第7149510号 (2018-012042)	演算システム、演算装置及びプログラム	2022. 9. 29 (2018. 1. 26)	共有	電磁界解析の演算を同時並列化することができる演算装置、演算管理装置及びプログラム
252	第7149451号 (2018-163335)	体温調節衣服	2022. 9. 29 (2018. 8. 31)	単独	着用者の側頸部（首の横部分）両脇や左右の腋窩（えきか、脇の下のくぼんだ部分）を効率よく保冷もしくは保温する衣服
253	第7161754号 (2018-214911)	移動走行装置	2022. 10. 19 (2018. 11. 15)	単独	車輪の適正なグリップをバネ、ダンバを使うことなく簡単なリンク機構で達成することができる移動走行装置
254	第7178650号 (2016-155123)	情報検索方法、情報検索プログラム、情報検索用端末および情報検索装置	2022. 11. 17 (2016. 8. 8)	共有	情報検索において非言語情報を入力に活用することで、言語格差をほとんど感じさせることなくユーザーが所望する観光などの情報を適切に検索・提供可能なシステム
255	第7201208号 (2018-153651)	校正ゲージ及び校正方法	2022. 12. 26 (2018. 8. 17)	単独	非接触式三次元測定機に用いることができる校正ゲージ及び校正方法
256	第7209996号 (2018-124252)	組成物、成形体の製造方法、及び、成形体	2023. 1. 13 (2018. 6. 29)	単独	常温で成形ができ、かつ、合成樹脂を必要としない組成物、成形体の製造方法、及び、成形体
257	第7216950号 (2017-021420)	保存対象物の保存方法および保存対象物を包埋したゲルの製造方法	2023. 1. 25 (2017. 2. 8)	共有	短時間でゲルの内部に細胞などの保存対象物を包埋することができ、かつ包埋後もゲルの内部で保存対象物を安定的に保存する方法

(2) 外国特許登録

番号	登録番号 (出願番号)	名 称 (和名)	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
1	韓国特許 第10-1212393号 (10-2006-28002)	無鉛硼珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	2012. 12. 7 (2006. 3. 28)	共有	鉛加工物を用いずに、硼珪酸塩系ガラス原料を利用して580℃以下の温度でガラス基板などへの焼付けができる実用的な低融点無鉛ガラスフリット
2	米国特許 第8,729,371号 (13/061,905)	弦楽器、その製造方法及び装置	2014. 5. 20 (2009. 8. 31)	単独	積層造形法を活用した弦楽器、弦楽器の製造方法および弦楽器製造装置
3	韓国特許 第10-1417009号 (10-2007-96585)	絶縁層を形成するための無鉛硼珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	2014. 6. 30 (2007. 9. 21)	共有	絶縁層を形成するガラス組成物中にPbOを含まない絶縁層形成用のガラスフリット
4	韓国特許 第10-1502996号 (10-2013-7006447)	固体酸化物型燃料電池	2015. 3. 10 (2013. 3. 13)	共有	MEAセルとセパレータの間に集電材が設けられる平板型の固体酸化物型燃料電池、およびMEAセルの空気極と燃料極の内周面または外周面に集電材が設けられる円筒型の固体酸化物型燃料電池

番号	登録番号 (出願番号)	名 称 (和名)	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
5	中国特許 ZL201180011994.1 (201180011994.1)	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	2015. 6. 24 (2010. 3. 4)	単独	種々の形状に成型容易であり、透明性に優れ、ナノ粒子化が可能である多孔質シリカを、炭素数が7以下のカチオン性界面活性剤を使用しても高効率で得ることができる多孔質シリカの製造方法
6	韓国特許 第10-1609080号 (10-2014-7004939)	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	2016. 3. 29 (2014. 2. 28)	単独	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子
7	中国特許 ZL201280042513.8 (201280042513.8)	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	2016. 8. 24 (2014. 3. 19)	単独	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子
8	米国特許 第9,480,117号 (14/354,758)	電力線を介して負荷を制御するための制御システム	2016. 10. 25 (2014. 4. 28)	単独	制御器と負荷とが電力線を介して接続された制御システム
9	欧州特許 第2757573号 (12831773.2)	イオン化ガス検出器及びイオン化ガス検出方法	2016. 11. 30 (2012. 6. 21)	単独	イオン化された被測定対象ガスを検出するイオン化ガス検出器およびイオン化ガス検出方法
10	米国特許 第9,645,113号 (14/216,588)	イオン化ガス検出器及びイオン化ガス検出方法	2017. 5. 9 (2012. 7. 21)	単独	イオン化された被測定対象ガスを検出するイオン化ガス検出器およびイオン化ガス検出方法
11	韓国特許 第10-1750584号 (10-2012-7025433)	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	2017. 9. 27 (2012. 9. 27)	単独	種々の形状に成型容易であり、透明性に優れ、ナノ粒子化が可能である多孔質シリカを、炭素数が7以下のカチオン性界面活性剤を使用しても高効率で得ることができる多孔質シリカの製造方法
12	米国特許 第9,928,619号 (14/894,325)	X線エネルギー別画像再構成装置及び方法並びにX線三次元測定装置および方法	2018. 3. 27 (2015. 11. 25)	単独	アーチファクトなどを補正により除去してより高精度の画像再構成を実現することができる、X線エネルギー別画像再構成装置および方法並びにX線三次元測定装置および方法
13	米国特許 第10,293,320号 (14/241,589)	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	2019. 5. 21 (2012. 8. 28)	単独	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子
14	米国特許 第10,336,380号 (15/560,372)	ロッカーボギー	2019. 7. 2 (2016. 5. 24)	単独	機敏な動作と低コストを実現しつつ、なめるように障害物の踏破する機能も有する四輪構造のロッカーボギー
15	中国特許 ZL201680017191.X (201680017191.X)	ロッカーボギー	2019. 8. 2 (2016. 3. 24)	単独	機敏な動作と低コストを実現しつつ、なめるように障害物の踏破する機能も有する四輪構造のロッカーボギー
16	米国特許 第10,521,936号 (15/674,396)	X線エネルギー別画像再構成装置及び方法並びにX線三次元測定装置及び方法	2019. 12. 31 (2017. 8. 10)	単独	アーチファクトなどを補正により除去してより高精度の画像再構成を実現することができる、X線エネルギー別画像再構成装置および方法並びにX線三次元測定装置および方法
17	米国特許 第10,520,453号 (15/579,672)	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	2019. 12. 31 (2016. 6. 3)	単独	測定対象物の内外輪郭を高い精度で取得することができる画像取得装置および画像取得方法
18	米国特許 第10,649,013号 (15/553,365)	周波数変換器、計測システム及び計測方法	2020. 5. 12 (2016. 2. 26)	単独	簡単化した構成を有する周波数変換器、計測システムおよび計測方法
19	米国特許 第10,815,393号 (15/769,362)	ゼラチンまたはその化学修飾体、それを含有する水性組成物及び医療用積層体ならびに医療用積層体の製造方法および細胞シートの単離方法	2020. 10. 27 (2016. 10. 18)	共有	ゼラチンまたはその化学修飾体、それを含有する水性組成物および医療用積層体、ならびに医療用積層体の製造方法および細胞シートの単離方法
20	中国特許 ZL201680032166.9 (201680032166.9)	画像取得装置および画像取得方法並びに画像補正プログラム	2021. 2. 9 (2017. 12. 1)	単独	測定対象物の内外輪郭を高い精度で取得することができる画像取得装置および画像取得方法

2022年度 年報

番号	登録番号 (出願番号)	名 称 (和名)	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
21	米国特許 第10,933,171号 (16/461,552)	粘膜下局注用コラーゲンゾル	2021. 3. 2 (2017. 11. 16)	共有	消化管粘膜下に局注された場合にゲル化し、隆起高の維持率が高い膨隆を形成する、安全な、粘膜下局注用ゾル
22	欧州特許 第3366700号 (16857430. 9)	ゼラチンまたはその化学修飾体、それを含有する水性組成物および医療用積層体ならびに医療用積層体の製造方法および細胞シートの単離方法	2021. 4. 7 (2016. 10. 18)	共有	ゼラチンまたはその化学修飾体、それを含有する水性組成物および医療用積層体、ならびに医療用積層体の製造方法および細胞シートの単離方法
23	米国特許 第11,008,218号 (16/074,846)	多層グラフェン分散剤、熱物性測定用黒化剤および粉末焼結用離型剤・潤滑剤	2021. 5. 18 (2017. 5. 29)	単独	試料表面に多層グラフェンを含む薄くて均一な塗膜を瞬時に作製できる多層グラフェン分散液、黒化効果に優れた熱物性測定用黒化剤、および離型・潤滑効果に優れた粉末焼結用離型剤・潤滑剤
24	中国特許 ZL201680011804.9 (201680011804.9)	周波数変換器、計測システム及び計測方法	2021. 6. 15 (2016. 2. 26)	単独	単純化した構成を有する周波数変換器、計測システムおよび計測方法
25	メキシコ特許 第385851号 (MX/a/2017/015731)	画像取得装置および画像取得方法並びに画像補正プログラム	2021. 9. 2 (2016. 6. 3)	単独	測定対象物の内外輪郭を高い精度で取得することができる画像取得装置および画像取得方法
26	中国特許 ZL201780020252.2 (201780020252.2)	多層グラフェン分散剤、熱物性測定用黒化剤および粉末焼結用離型剤・潤滑剤	2022. 4. 8 (2017. 5. 29)	単独	試料表面に多層グラフェンを含む薄くて均一な塗膜を瞬時に作製できる多層グラフェン分散液、黒化効果に優れた熱物性測定用黒化剤、および離型・潤滑効果に優れた粉末焼結用離型剤・潤滑剤
27	韓国特許 第10-2408275号 (10-2019-7016712)	生体組織孔閉鎖用、潰瘍保護用及び血管塞栓療術用ゾル	2022. 6. 8 (2019. 6. 11)	共有	生体組織孔閉鎖、潰瘍保護、または血管塞栓療術に利用できる、カテーテルによる送達に適した生体注用ゾル
28	欧州特許 第3542830号 (17872367.2)	生体組織孔閉鎖用、潰瘍保護用及び血管塞栓療術用ゾル	2022. 6. 22 (2017. 11. 16)	共有	生体組織孔閉鎖、潰瘍保護、または血管塞栓療術に利用できる、カテーテルによる送達に適した生体注用ゾル
29	欧州特許 第2752461号 (12828428.8)	成形用材料及びその製造方法並びに該成形用材料を用いた圧縮成形体	2022. 8. 17 (2012. 8. 31)	共有	漆、植物繊維といった天然資源（バイオマス）を主原料とした成形用材料に関し、また、この成形用材料から得られる圧縮成形体、圧縮成形体
30	米国特許 第11,559,602号 (16/461,527)	生体組織孔閉鎖用、潰瘍保護用及び血管塞栓療術用ゾル	2023. 1. 24 (2019. 5. 16)	共有	生体組織孔閉鎖、潰瘍保護、または血管塞栓療術に利用できる、カテーテルによる送達に適した生体注用ゾル
31	韓国特許 第10-2493849号 (10-2017-7034538)	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	2023. 1. 26 (2017. 11. 29)	単独	測定対象物の内外輪郭を高い精度で取得することができる画像取得装置および画像取得方法
32	欧州特許 第3006924号 (14804436.5)	X線エネルギー別画像再構成装置及び方法並びにX線三次元測定装置および方法	2019. 9. 11 (2014. 5. 29)	単独	アーチファクトなどを補正により除去してより高精度の画像再構成を実現することができる、X線エネルギー別画像再構成装置および方法ならびにX線三次元測定装置および方法
33	欧州特許 第2752460号 (12826932.1)	成形体用材料と、これを用いた成形体	2018. 1. 10 (2012. 8. 31)	単独	漆、植物繊維といった天然資源（バイオマス）を原料として用いた場合であっても、製造時の原料混合物の流動性が良好で、各原料が混合機に焼き付くことを防止でき、良好な粒度を有し、成形性により一層優れた成形用材料と、これを用いた成形体
34	欧州特許 第3281848号 (16768869.6)	ロッカーボギー	2020.7.15 (2016. 3. 24)	単独	機敏な動作と低コストを実現しつつ、なめるように障害物の踏破する機能も有する四輪構造のロッカーボギー
35	欧州特許 第3306309号 (16803489)	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	2020. 8. 26 (2016. 7. 3)	単独	測定対象物の内外輪郭を高い精度で取得することができる画像取得装置および画像取得方法
36	欧州特許 第2752284号 (12828401.5)	成形体の製造方法	2020. 12. 23 (2012. 8. 31)	共有	漆、植物繊維といった天然資源のみから形成される成形用材料であっても、外観により一層優れた成形体を製造することができる製造方法

番号	登録番号 (出願番号)	名 称 (和名)	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
37	欧州特許 第3109625号 (161808506)	X線エネルギー別画像再構成装置 および方法並びにX線三次元測定 装置及び方法	2021. 4. 7 (2016. 6. 22)	単独	アーチファクトなどを補正により除去して より高精度の画像再構成を実現することが できる、X線エネルギー別画像再構成装置 および方法ならびにX線三次元測定装置お よび方法

(3) 実用新案登録

番号	登録番号 (出願番号)	名 称	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
1	第3183799号 (2013-001526)	注射器の針部材取り外し器具ユ ニット	2013. 5. 8 (2013. 3. 21)	単独	注射器使用の際の針刺し事故の防止と、自 己注射器材のユーザビリティを追及する ための注射器、特に、ペン型のインスリン 自己注射器の針部材取り外し器具ユニット
2	第3183939号 (2013-001673)	炭素繊維強化樹脂製環状ばね	2013. 5. 15 (2013. 3. 27)	単独	炭素繊維で補強された樹脂を環状に巻回し て成る炭素繊維強化樹脂製環状ばね
3	第3195080号 (2014-005473)	ブックスタンド、ブックエンド及 びブックエンドユニット	2014. 12. 3 (2014.10.15)	単独	立て掛けて保管した書籍などの水平面での ズレを防止するとともに、ブックスタンド 一対を相互に向かい合わせて連結させて ブックエンドを構成する際、その連結を安 定させることができ、また、ブックスタン ドとブックエンドや、ブックエンド同士を それぞれ安定的に連結させていくことが でき、さらに、本の収納領域の段階的な間 隔調整も容易に行えるブックスタンド、ブ ックエンドおよびブックエンドユニット
4	第3194598号 (2014-003582)	装飾品及び照明器具	2014. 11. 12 (2014. 7. 4)	単独	希少なべっ甲を有効に利用しつつ、べっ甲 が持つ風合いを活かした装飾品および照明 器具

(4) 意匠登録

番号	登録番号 (出願番号)	意匠に係る物品	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
1	第1433084号 (2011-015358)	ランプシェード	2012. 1. 6 (2011. 7. 5)	単独	LEDなどの光源を内部に収容して使用する シェード
2	第1439104号 (2011-015359)	ランプシェード	2012. 3. 23 (2011. 7. 5)	単独	LEDなどの光源を内部に収容して使用する シェードであり、六角形状の面の素材が透 光性を有するもの
3	第1546747号 (2015-013530)	ランプシェード	2016. 2. 26 (2015. 6. 18)	単独	LEDなどの光源を内部に収容して使用する ランプシェードであり、大きさの異なる3 つの六角形の枠（大枠、中枠、小枠）から 形成され、大枠正面に透光性を有する素材 が配設されてなるもの
4	第1571378号 (2016-011576)	ロボット	2017. 2. 10 (2016. 5. 31)	単独	自律的に走行可能なロボットである。例え ば、屋内または屋外の施設で、施設内巡回 や施設利用者への案内などを行う
5	第1596642号 (2017-017954)	乗用自動車	2018. 1. 12 (2017. 8. 22)	共有	マイクロEVキッチンカー
6	第1603264号 (2017-018309)	ロボット	2018. 4. 6 (2017. 8. 25)	単独	自律的に走行可能なロボット
7	第1603265号 (2017-018310)	ロボット	2018. 4. 6 (2017. 8. 25)	単独	自律的に走行可能なロボット
8	第1670360号 (2018-018784)	スタンド付き調味料用容器	2020. 9. 29 (2018. 8. 29)	単独	専用のスタンド付きの調味料用容器
9	第1635868号 (2018-020792)	乗用自動車	2019. 6. 14 (2018. 9. 25)	単独	小型の乗用自動車
10	第1639458号 (2018-023125)	歩行者	2019. 7. 26 (2018. 10. 22)	単独	拡張式の歩行支援装置

2022年度 年報

番号	登録番号 (出願番号)	意匠に係る物品	登録年月日 (出願日)	権利者	内 容
11	第1639459号 (2018-023126)	歩行器	2019. 7. 26 (2018. 10. 22)	単独	折り畳み式の歩行支援装置
12	第1645079号 (2019-008058)	歩行器	2019. 10. 11 (2019. 4. 12)	単独	ハンドルの高さ調整可能な歩行支援装置
13	第1661840号 (2019-024791)	カフスポタン	2020. 5. 29 (2019. 11. 7)	単独	カフスポタン
14	第1661841号 (2019-024792)	カフスポタン	2020. 5. 29 (2019. 11. 7)	単独	カフスポタン
15	第1665268号 (2019-023015)	ロボット	2020. 3. 11 (2019. 10. 15)	単独	警備ロボット
16	第1662803号 (2019-025535)	ロボット	2020. 6. 12 (2019. 11. 18)	単独	案内ロボット
17	第1662804号 (2019-025537)	ロボット	2020. 6. 12 (2019. 11. 18)	単独	自律移動型案内ロボット
18	第1668448号 (2020-003607)	飲食用スプーン	2020. 8. 31 (2020. 2. 26)	共有	飲食用スプーン
19	第1668447号 (2020-003606)	飲食用スプーン	2020. 8. 31 (2020. 2. 26)	共有	飲食用スプーン
20	第1668450号 (2020-003615)	飲食用スプーン	2020. 8. 31 (2020. 2. 26)	共有	飲食用スプーン
21	第1668449号 (2020-003612)	飲食用スプーン	2020. 8. 31 (2020. 2. 26)	共有	飲食用スプーン
22	第1701605号 (2020-015520)	水引	2021. 11. 18 (2020. 7. 27)	単独	水引
23	第1676977号 (2020-015528)	スリーブ	2020. 12. 24 (2020. 7. 27)	単独	カップなどの円筒形の飲食の外側表面に装着して用いるスリーブ
24	第1683946号 (2020-015624)	猪口	2021. 4. 5 (2020. 7. 28)	単独	猪口（底面：東京都）
25	第1683947号 (2020-015625)	猪口	2021. 4. 5 (2020. 7. 28)	単独	猪口（底面：富山県）
26	第1686866号 (2020-016694)	飲食用皿	2021. 5. 14 (2020. 8. 7)	共有	飲食用皿の持ち手および箸置きとして機能する部分意匠
27	第1677763号 (2020-016695)	飲食用皿	2021. 1. 7 (2020. 8. 7)	共有	飲食用皿
28	第1684377号 (2020-016696)	コップ	2021. 4. 9 (2020. 8. 7)	共有	コップ
29	第1685785号 (2020-018651)	徳利	2021. 4. 28 (2020. 9. 2)	共有	徳利
30	第1685786号 (2020-018652)	猪口	2021. 4. 28 (2020. 9. 2)	共有	2個組合わせて卵形にすることができる猪口
31	第1682672号 (2020-018653)	タンブラー	2021. 3. 17 (2020. 9. 2)	共有	タンブラー
32	第1682202号 (2020-023604)	身の回り品用留め具	2021. 3. 11 (2020. 10. 30)	単独	身の回り品用留め具
33	第1702577号 (2021-005074)	飲食用皿	2021. 11. 30 (2021. 3. 12)	単独	左右における取手表面に複数の突起部が形成された飲食用皿
34	第1705799号 (2021-005075)	包装紙	2022. 1. 14 (2021. 3. 12)	共有	食器などの容器を包装するためのシート状部材
35	第1705800号 (2021-005076)	包装紙	2022. 1. 14 (2021. 3. 12)	共有	食器などの容器を包装するためのシート状部材

(5) 国内商標登録

番号	登録番号	商 標	登録年月日	内 容
1	第5424369号	サスティーモ (標準文字)	2011. 7. 8	漆と植物繊維を混合して漆を植物繊維に含浸させたのち加熱して粉末化成用材料、そして、この材料を金型で加熱圧縮成形した漆器のブランド
2	第5466219号		2012. 1. 27	有毒物を含まずに赤色の発色を実現したガラスのブランド
3	第5492668号	merilab●	2012. 5. 11	メリヤス（ニット）の使い方を研究するというコンセプトのもと、メリヤスの「メリ」とラボラトリー（実験室）の「ラボ」から生まれたニットブランド
4	第5663387号		2014. 4. 11	都産技研オリジナルのイメージキャラクター
5	第5663388号	チリン (標準文字)	2014. 4. 11	都産技研オリジナルのイメージキャラクター名
6	第5689214号		2014. 7. 25	都産技研のロゴマーク
7	第5689215号	東京都立産業技術研究センター (標準文字)	2014. 7. 25	都産技研の名称
8	第5689216号	TIRI (標準文字)	2014. 7. 25	都産技研の英語略称
9	第6295147号		2020. 9. 23	中小企業のIoT化支援事業に使用する商標 区分：第9,41,42類
10	第6295148号	TOKYO IoT (標準文字)	2020. 9. 23	中小企業のIoT化支援事業に使用する商標 区分：第9,41,42類
11	第6334205号	SUSCARE (標準文字)	2020. 12. 24	ヘルスケア産業支援事業に使用する商標 区分：第16,35,41,42,44類
12	第6368517号		2021. 3. 25	ヘルスケア産業支援事業に使用する商標 区分：第16,35,41,42,44類
13	第6368518号		2021. 3. 25	ヘルスケア産業支援事業に使用する商標 区分：第16,35,41,42,44類
14	第6368519号		2021. 3. 25	ヘルスケア産業支援事業に使用する商標 区分：第16,35,41,42,44類
15	第6436272号		2021. 8. 31	100周年記念事業に使用する商標区分：第41,42類
16	第6544766号		2022. 4. 14	都産技研が開発したシート状漆成形体に使用する図形商標 区分：第17,40類

(6) 外国商標登録

番号	登録番号	商 標	登録年月日	内 容
1	171101900 【タイ王国出願】		2017. 1. 20	都産技研のシンボルマーク 区分：第41類
2	171108525 【タイ王国出願】		2017. 3. 15	都産技研のシンボルマーク 区分：第42類

2. 10. 3 出願案件 (2022年度出願分のみ。国内特許は除く。)

(1) 外国特許出願

番号	出願番号	名 称 (和名)	出願年月日	権利者	内 容
1	11750758.2 【欧州移行出願】 PCT/JP2011/054928	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカ	2011. 3. 3	単独	多孔質シリカの製造方法および多孔質シリカに適用する有効な技術
2	12828309.0 【欧州移行出願】 PCT/JP2012/071699	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子	2011. 8. 29	単独	多孔質シリカ内包粒子の製造方法および多孔質シリカ、多孔質シリカ内包粒子に関し、特に、微細な孔を有する多孔質シリカを利用し、その孔の内部に微細な粒子を内包させる技術
3	16755691.9 【欧州移行出願】 PCT/JP2016/055825	周波数変換器、計測システム及び計測方法	2016. 2. 26	単独	単純化した構成を有する周波数変換器
4	2,983,722 【カナダ移行出願】 PCT/JP2016/066539	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	2016. 6. 3	単独	測定対象物の内外輪郭を高い精度で取得することができる画像取得装置および画像取得方法
5	10-2018-207-732.0 【ドイツ出願】 2017-118594	積層造形装置及び積層造形システム	2018. 5. 17	単独	造形物配置の制限や、冷却効率の低下を引き起こす特殊な構造を必要とせず、造形物入りケーキの内部温度の冷却を促進させることで、樹脂を用いた粉末床溶融結合による積層造形において、造形物完成までの時間を短縮できる積層造形装置および積層造形システム
6	17806594.2 【欧州移行出願】 PCT/JP2017/019888	多層グラフェン分散液および熱物性測定用黒化剤	2017. 5. 29	単独	試料表面に多層グラフェンを含む薄くて均一な塗膜を瞬時に作製できる多層グラフェン分散液、黒化効果に優れた熱物性測定用黒化剤、および離型・潤滑効果に優れた粉末焼結用離型剤・潤滑剤
7	17871681.7 【欧州移行出願】 PCT/JP2017/041244	粘膜下局注用コラーゲンゾル	2017. 11. 16	共有	消化管粘膜下に局注された場合にゲル化し、隆起高の維持率が高い膨隆を形成する、安全な、粘膜下局注用ゾル
8	201880029094.1 【中国移行出願】 PCT/JP2018/024929	VOC処理用触媒	2018. 6. 29	単独	芳香族を含むVOCとそれを含まないVOCを300℃より低い温度領域で同時に処理することのできる触媒
9	16/762,183 【米国移行出願】 PCT/JP2018/041057	高配向コラーゲン線維束及びその製造方法	2018. 11. 5	単独	一定以上のファイバー長を有する高配向のコラーゲン線維束の提供
10	17/142,805 【米国継続出願】 2017-118594 親出願15/980,826	積層造形装置及び積層造形システム	2021. 1. 6	単独	造形物配置の制限や、冷却効率の低下を引き起こす特殊な構造を必要とせず、造形物入りケーキの内部温度の冷却を促進させることで、樹脂を用いた粉末床溶融結合による積層造形において、造形物完成までの時間を短縮できる積層造形装置および積層造形システム
11	201980089893.2 【中国移行出願】 PCT/JP2019/046674	殺菌装置および殺菌方法	2019. 11. 28	単独	可食部を覆う殻や外皮を有する食品について、その表面の全体においてより均一に電子線を照射し、その表面の全体において電子線による殺菌効果を付与する殺菌装置
12	19913769.6 【欧州移行出願】 PCT/JP2019/046674	殺菌装置および殺菌方法	2019. 11. 26	単独	可食部を覆う殻や外皮を有する食品について、その表面の全体においてより均一に電子線を照射し、その表面の全体において電子線による殺菌効果を付与する殺菌装置

番号	出願番号	名 称 (和名)	出願年月日	権利者	内 容
13	202080057300.7 【中国移行出願】 PCT/JP2020/030617	VOC処理用触媒の製造方法	2020. 8. 11	共有	コバルト・セリウム系複合酸化物へ白金を直接担持させるとともに、ボールやハニカムなどの担体への担持に際して触媒性能が向上する技術手段
14	202080075917.1 【中国移行出願】 PCT/JP2019/046674	VOC処理用触媒、VOC処理装置およびVOCの処理方法	2020. 10. 29	共有	耐酸性を有し、ハロゲン系VOCの処理に長期間使用できるVOC処理用触媒
15	202180057864.5 【中国移行出願】 PCT/JP2021/020909	殺菌装置および殺菌方法	2021. 6. 1	単独	殺菌装置および殺菌方法に関し、特に、可食部を覆う殻や外皮を有する食品の表面殺菌処理に有効な技術
16	18/040688 【米国移行出願】 PCT/JP2021/020909	殺菌装置および殺菌方法	2021. 6. 1	単独	殺菌装置および殺菌方法に関し、特に、可食部を覆う殻や外皮を有する食品の表面殺菌処理に有効な技術
17	218529139 【欧州移行出願】 PCT/JP2021/020909	殺菌装置および殺菌方法	2021. 6. 1	単独	殺菌装置および殺菌方法に関し、特に、可食部を覆う殻や外皮を有する食品の表面殺菌処理に有効な技術
18	10-2019-7016710 【韓国移行出願】 PCT/JP2017/041244	粘膜下局注用コラーゲンゾル	2019. 6. 11	共有	消化管粘膜下に局注された場合にゲル化し、隆起高の維持率が高い膨隆を形成する、安全な、粘膜下局注用ゾル

(2) PCT出願

2022年度は出願なし。

(3) 実用新案登録出願

2022年度は出願なし。

(4) 意匠登録出願

2022年度は出願なし。

(5) 商標登録出願

番号	出願番号	商 標	出願年月日	内 容
1	2022-146750	Tokyo ものづくり Movement (標準文字)	2022. 12. 23	ものづくりベンチャー育成事業に使用する商標 区分：第35, 41, 42類
2	2022-146751		2022. 12. 23	ものづくりベンチャー育成事業に使用する商標 区分：第35, 41, 42類

2. 10. 4 消滅案件 ※2022年度に権利満了や出願中に権利化を断念および放棄したもの

(1) 国内特許出願・登録

番号	出願番号 (登録番号)	名 称	出願日 (登録日)	権利者	内 容
1	第4573174号 (2005-226475)	放射線廃棄物の処理方法及びその焼結体	2010. 8. 27 (2005. 8. 4)	共有	低濃度放射線物質を含有する廃棄物の処分を行うにあたり、発生した排気物の減容化だけでなく安全性、安定性や取り扱いやすさを画期的に向上させる技術
2	第4599529号 (2005-234849)	放射線照射判別方法および放射線照射判別システム	2010. 10. 8 (2005. 8. 12)	共有	食品や生薬に対する放射線照射の有無の判別を行うシステムと方法
3	第5116245号 (2006-083377)	自動分析装置に用いる検量線作成化合物	2012. 10. 26 (2006. 3. 24)	共有	硫黄および主要なハロゲン (F, Cl, Br, I) について同時に検量線を作成することのできる新規な検量線作成化合物

2022年度 年報

番号	出願番号 (登録番号)	名 称	出願日 (登録日)	権利者	内 容
4	第4873617号 (2006-093164)	低摩擦特性と耐剥離性を有する硬質膜の被覆部材	2011. 12. 2 (2006. 3. 30)	共有	研磨した第一硬質膜の表面にDLC膜をコーティングして第二硬質膜とし、表面を鏡面に研磨する硬質膜被覆工具および摺動材の製造方法
5	第5177472号 (2006-274408)	カット面を着色したダイヤモンド粒子の製造方法、およびカット面に文様を描画したダイヤモンド粒子の製造方法	2013. 1. 18 (2006. 10. 5)	共有	低価格の天然ダイヤモンドを着色する方法であり、短時間に処理でき、照射後の熱処理を必要としないカラーダイヤモンド製造方法
6	第5107571号 (2006-354819)	LED制御方法	2012. 10. 12 (2006. 12. 28)	単願	多数の多色LEDを均一に同時点灯可能なLED制御回路
7	第5203603号 (2006-355457)	親水性熱可塑性共重合体	2013. 2. 22 (2006. 12. 28)	単願	芳香族ビニルジエン共重合体の二重結合部分のみにカルボキシル基を付加して、親水性の高分子材料を得る方法
8	第5055617号 (2007-139787)	分注装置	2012. 8. 10 (2007. 5. 25)	共有	従来の分注装置の高さを低くした、小型の分注装置
9	第5105957号 (2007-146932)	自動車燃料中の植物由来エタノール混合量の測定法	2012. 10. 12 (2007. 6. 1)	単願	植物由来のエタノールを含む炭化水素系自動車燃料中のバイオエタノールの正確で簡便な測定法
10	第5207669号 (2007-165339)	再生繊維製造方法	2013. 3. 1 (2007. 6. 22)	共有	塩ビ系壁紙を粉碎処理した後に得られる塩ビ樹脂粉体とパルプ繊維の混合物を液体中で攪拌や分離、濾過を行い良質なパルプ繊維を回収する装置およびその製造方法
11	第5019445号 (2007-230736)	低摩擦摺動部材および低摩擦転動部材	2012. 6. 22 (2007. 9. 5)	共有	大気中、真空中、水中および潤滑剤中で低摩擦係数を有し、耐久性、耐荷重性に優れた摺動部材および転動部材
12	第5022207号 (2007-326851)	多層編地および多層編地の編成方法	2012. 6. 22 (2007. 12. 19)	単願	5層編地や7層編地など、3層より多くの層を有する多層編地
13	第5083768号 (2008-008191)	バイオセンサシステム	2012. 9. 14 (2008. 1. 17)	共有	溶存酸素の影響を受けずに、NAD ⁺ またはNADP ⁺ を補酵素とする脱水素酵素の基質を正確に定量することができ、安価に製造することができ、かつ携帯性に優れた、バイオセンサシステム
14	第5135022号 (2008-081958)	揮発性有機物分解菌用担持体及び汚染土壌の浄化方法	2012. 11. 16 (2008. 3. 26)	単願	特定の高分子吸収材の持つ高い揮発性有機物吸収能力を活用し、原位置処理で、揮発性有機物を効率的に分解することを可能とする揮発性有機物分解菌用担持体、および、該揮発性有機物分解菌用担持体を利用した汚染土壌の浄化方法
15	第5183301号 (2008-139659)	成形型およびその製造方法	2013. 1. 25 (2008. 5. 28)	共有	ガラス状炭素部材を用いた、離型性が高く、しかも凹凸部のアスペクト比が大きい場合に適した成形型およびその製造方法
16	第5140519号 (2008-212839)	はんだの組成分析方法	2012. 11. 22 (2008. 8. 21)	単願	鉛フリーはんだに含まれる全合金構成元素と不純物元素とを同時に分析する方法
17	第5137768号 (2008-253593)	断面形態制御繊維およびその製造方法	2012. 11. 22 (2008. 9. 30)	単願	減量加工用繊維、異形断面繊維、極細繊維などの断面形態を制御されたポリエチレンテレフタレート繊維およびその製造方法
18	第5147633号 (2008-263687)	フッ素アパタイトの製造方法	2012. 12. 7 (2008. 10. 10)	単願	高い活性の可視光応答型光触媒が得られるように、ヒドロキシアパタイト粉体からフッ素アパタイトを製造する
19	第5231294号 (2009-055710)	揮発性有機化合物吸着材とその製造方法	2013. 3. 29 (2009. 3. 9)	単願	廃木材を原料とするバイオエタノール製造で排出されるリグニン残渣をVOC吸着材に転換する技術
20	第5135341号 (2009-520544)	燃料用電池用セパレータプレートの製造方法及びそれを利用した燃料電池	2012. 11. 16 (2007. 6. 27)	共有	燃料電池用セパレータプレートの製造方法およびそれを利用した燃料電池。さらに詳しくは、低温駆動電源を必要とする自動車用、家庭用、携帯電子機器などの固体高分子型燃料電池用セパレータプレートの製造方法、前記製造方法によって得られるセパレータプレート、および前記セパレータプレートを用いた燃料電池

番号	出願番号 (登録番号)	名 称	出願日 (登録日)	権利者	内 容
21	2018-101830	軽金属板材、及びその製造方法	2018. 5. 28	単願	軽金属板材、及びその製造方法に関し、特に複数層が塑性変形を介して固相接合した軽金属複合板材とその製造方法
22	2018-158272	圧力測定方法および圧力測定装置	2018. 8. 27	単願	比較的簡便に、精度良く、広範な圧力範囲での圧力の測定が可能な圧力測定方法および圧力測定装置
23	2018-209216	内部構造推定装置、方法、及び、プログラム	2018. 11. 6	共有	生体の内部構造を推定する技術
24	2019-058382	暗号システム、ユーザ端末、ストレージ装置、認証方法、暗号プログラム、及び認証プログラム	2019. 3. 26	単願	ユーザの属性を示すことなく、書き込み権限を管理する、暗号システム、ユーザ端末、ストレージ装置、認証方法、暗号プログラム、及び認証プログラム

(2) 外国特許出願・登録

番号	出願番号 (登録番号)	名 称	出願日 (登録日)	権利者	内 容
1	2019-559901 【自国指定出願】 PCT/JP2017/045538	マグネシウム合金粉末及びその焼結部品	2019. 5. 8 (2017. 12. 19)	共有	空気アトマイズ法によって製造されたMg合金粉末であり、主成分としてMgを含有し、第1の副成分として、Mg合金粉末の全質量を基準として3.5～12質量%のAlを含有するMg合金粉末
2	2019-559902 【自国指定出願】 PCT/JP2017/045542	マグネシウム合金粉末及びその焼結部品	2019. 5. 8 (2017. 12. 19)	共有	空気アトマイズ法によって製造されたMg合金粉末であり、主成分としてMgを含有し、第1の副成分として、Mg合金粉末の全質量を基準として3.5～12質量%のAlを含有するMg合金粉末
3	15/980,826 【米国出願】 2017-118594	積層造形装置及び積層造形システム	2018. 5. 16 (2017. 6. 16)	単願	造形物配置の制限や、冷却効率の低下を引き起こす特殊な構造を必要とせず、造形物入りケーキの内部温度の冷却を促進させることで、樹脂を用いた粉末床溶融結合による積層造形において、造形物完成までの時間を短縮できる積層造形装置および積層造形システム

(3) PCT 出願

2022年度は消滅なし。

(4) 実用新案登録出願・登録

2022年度は消滅なし。

(5) 意匠登録出願・登録

2022年度は消滅なし。

(6) 商標登録出願・登録

2022年度は消滅なし。

2. 10. 5 実施許諾

番号	項目	番 号	名 称	実施許諾 企業数
1	特許	特許第4791746号	無鉛硼珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	1
2	特許	韓国第10-1212393	無鉛硼珪酸塩ガラスフリット及びそのガラスペースト	1
3	特許	特許第4394050号	低摩擦性、耐摩耗性を向上させた金属板の製造方法	1
4	特許	特許第5604094号	防かび剤組成物、およびそれを使用した木材および木製品	1
5	特許	特許第3779290号	漆および植物繊維を用いた成形用材料、前記成形用材料を用いて得られる漆／植物繊維成形体	1
6	特許	特許第5560066号	防護服	1
7	特許	特許第5302860号	家畜骨残渣の処理方法	1
8	特許	特許第5883287号	防護帽、防護帽の使用法、防護服及び防護装置	1
9	特許	特許第6081156号	ハイドロゲル	1
10	特許	特許第5579644号	赤色ガラス	1
11	特許	特許第6338397号	黒色の金・パラジウム合金メッキ用メッキ液およびメッキ方法	1
12	特許	特許第6045273号	リング撚糸機、リング撚糸製造方法、織物の製造方法および押圧スイッチ	1
13	特許	特許第6157173号	LED照明の分光分布設計方法	1
14	特許	特許第6945203号	多層グラフェン分散液ならびに熱物性測定用黒化剤	1
15	特許	特許第6680470号	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	1
16	特許	特許第6858391号	X線CT装置、画像補正方法及び画像補正プログラム	1
17	特許	特許第5388304号	掲示板のための照明装置	1
18	特許	特許第5803003号	熱フィラメントCVD装置及び成膜方法	1
19	特許	特許第6407728号	メカニカルシールの製造方法	1
20	特許	特許第6140607号	成形用材料及びその製造方法	1
21	特許	特許第6538389号	ダイヤモンド薄膜の製造方法、熱フィラメントCVD装置およびメカニカルシール	1
22	特許	特許第6140608号	成形用材料	1
23	特許	特許第6797373号	ガス電子増幅器用電極、ガス電子増幅器及びガス電子増幅器用電極の製造方法	1
24	特許	特許第6958837号	身体形状データ変換装置、身体形状データ変換方法およびプログラム	1
25	特許	特許第6923909号	偏光特性の測定方法および偏光特性測定装置	1
26	特許	特許第7142201号	撮影システム及び画像処理装置並びに画像処理方法	1
27	特許	特許第5632597号	弦楽器、弦楽器の製造方法及び弦楽器製造装置	1
28	特許	米国 8,729,371	弦楽器、弦楽器の製造方法及び弦楽器製造装置	1
29	特許	特許第7062283号	新規なボルフィリン誘導体、ボルフィリン誘導体の製造方法、ドナー材料、光電変換装置、および光電変換装置の製造方法	1
30	特許	特許第6262401号	ロッカーボギー	2
31	特許	中国 ZL201680017191.X	ロッカーボギー	1
32	特許	米国 10,336,380	ロッカーボギー	1
33	特許	欧州 16768869.6	ロッカーボギー	1
34	特許	中国 ZL201680032166.9	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	1
35	特許	韓国 10-2017-7034538	画像取得装置及び画像取得方法並びに画像補正プログラム	1
36	特許	特許第7119256号	VOC処理用触媒	1
37	特許	特許第6940042号	積層造形装置及び積層造形システム	1
38	特許	特願2018-133715	金属空気電池または燃料電池のガス拡散電極に使用されるガス拡散層とそれを用いたガス拡散電極およびその製造方法	1
39	特許	特願2019-148834	VOC処理用触媒の製造方法	1

番号	項目	番 号	名 称	実施許諾 企業数
40	特許	特願2019-199262	VOC処理用触媒、VOC処理装置	1
41	特許	特許第6511242号	サンドイッチパネル用コア材、サンドイッチパネル用コア及びサンドイッチパ ネル	1
42	特許	特許第5780640号	燃料電池、その駆動システム及び燃料電池組み立てキット	1
43	特許	特願2019-200030	ブリプレグ、ブリプレグの製造方法、成形体、及び成形体の製造方法	1
44	特許	米国11,008,218	多層グラフェン分散液および熱物性測定用黒化剤	1
45	特許	欧州17806594.2	多層グラフェン分散液および熱物性測定用黒化剤	1
46	特許	中国ZL201780020252.2	多層グラフェン分散液および熱物性測定用黒化剤	1
47	特許	特許第7114056号	繊維強化樹脂製ボルト及びナット、繊維強化樹脂製締結部材の製造方法	1
48	特許	特願2020-105186	ファイバー状有機ナノ結晶及びその製造方法	1
49	特許	特願2021-004210	バドミントンラケットの打音評価装置及び打音評価方法	1
50	特許	特許第7161754号	移動走行装置	1
51	特許	特願2020-214545	ダクト清掃器具及びダクト清掃装置	1
52	特許	特許第6994723号	集電材用糸、集電材用糸からなる集電材、及び、集電材を用いた燃料電池シス テム	1
53	特許	特願2020-218481	木材片用接着剤	1
54	特許	特願2021-121701	潤滑剤およびエアゾール潤滑剤組成物	1
55	特許	特願2021-085089	シート状成形材料、成形体及びこれらの製造方法	2
56	特許	欧州2752460	成形用材料と、これを用いた成形体	1
57	特許	特許第6755044号	車輪構造体及び車両	2
58	特許	特願2020-183126	保持具	1
59	特許	特願2021-145023	ネックストラップとその保持具	1
60	特許	特願2021-198836	複合粒子、ワニス、コーティング剤及び接着剤	1
61	特許	特許第5422320号	揮発性有機化合物分解用触媒と揮発性有機化合物の分解方法	1
62	特許	特許第5414719号	揮発性有機化合物分解用無機酸化物成形触媒とその製造方法	1
63	特許	特許第5717491号	揮発性有機化合物用の担体触媒及びその製造方法	1
64	特許	特許第6357466号	悪臭処理用担持触媒	1
65	実用新案	登録第3195080号	ブックスタンド、ブックエンド及びブックエンドユニット	1
66	意匠	登録第1596642号	乗用自動車	1
67	意匠	登録第1670360号	スタンド付き調味料用容器	1
68	意匠	登録第1668447号	飲食用スプーン	1
69	意匠	登録第1668448号	飲食用スプーン	1
70	意匠	登録第1668449号	飲食用スプーン	1
71	意匠	登録第1668450号	飲食用スプーン	1
72	意匠	登録第1677763号	飲食用皿	1
73	意匠	登録第1684377号	コップ	1
74	意匠	登録第1686866号	飲食用皿	1
75	意匠	登録第1682202号	身の回り品用留め具	1
76	意匠	登録第1662803号	ロボット	1
77	意匠	登録第1662804号	ロボット	1
78	商標	登録第5424369号	サスティーモ【標準文字】	1
79	商標	登録第6544766号	URUSHEET（ロゴ）	2

番号	項目	番号	名称	実施許諾 企業数
80	特許	特許第5268050号	カーボンナノチューブ含有樹脂組成物、硬化物、成型体及びカーボンナノチューブ含有樹脂組成物の製造方法	1
81	特許	特許出願中	ストロー保持具	1
82	特許	特願2020-092504	土木構造物の非破壊検査システム	1
83	特許	特許出願中	模擬尿臭組成物および評価方法	1
84	特許	特許出願中	容器保持具	1
85	特許	特許第5697309号	局在プラズモン共鳴センサ及びその製造方法	1
86	特許	特許第5753568号	局在プラズモン共鳴センサ及びその製造方法	1
87	特許	特許第7017709号	三次元形状造形物の製造装置、付加製造装置による三次元形状造形物の製造方法及び付加製造装置による三次元形状造形物の製造プログラム	1
88	特許	特許第6944669号	食器用器具・容器包装	1
89	特許	特許第6308464号	注意再獲得支援システム、訓練用画像生成装置及びそのプログラム	1
90	特許	特許第6619556号	頭部装着体の製造方法、かつらの製造方法、及び、かつら	1

2. 10. 6 著作権の許諾

都産技研が発行する著作物の記事利用について以下の通り掲載申請を許諾した。

著作物	許諾先	掲載先
都産技研 金属3Dプリンター（金属粉末積層造形装置）による造形 (https://www.youtube.com/watch?v=5KVb69CSTXU)	(株)正進社	技術・家庭科ワークブックの教師用冊子「Video Streaming Booklet Booklet」
「都産技研 IoT（Internet of Things）とは？」 (https://www.youtube.com/watch?v=bsmQCNQHfCU)	(株)正進社	技術・家庭科ワークブックの教師用冊子「Video Streaming Booklet Booklet」
アーカイブス 顕微鏡写真 ナイロン「顕微鏡試験 拡大写真21」 (https://www.iri-tokyo.jp/site/archives/complaint-technique-s04-p21.html)	ユニオン映画(株)	テレビ番組内
・東京都立産業技術研究センター 100年の軌跡 詳細版 ウェブ版PDFデータ (https://www.iri-tokyo.jp/uploaded/attachment/13754.pdf) P44～47「漆と伝統技法がバイオマス100%の素材に結実」 ・東京都立産業技術研究センター 100年の軌跡 ダイジェスト版PDFデータ https://www.iri-tokyo.jp/uploaded/attachment/13448.pdf P8「漆と伝統技法がバイオマス100%の素材に結実」	(同)ELEMUS ダントーホールディングス(株)	(同)ELEMUS ウェブサイトに掲載
100周年記念誌詳細版のP16（ぶらり都産技研の旅）の青海（都産技研本部）の画像 (https://www.iri-tokyo.jp/uploaded/attachment/13754.pdf)	テレビ朝日映像(株)	テレビ番組内
「都産技研 MTEP 事業紹介」 https://www.youtube.com/watch?qrcBKC3cUjI 「都産技研 CEマーケティング適合宣言に向けたMTEP支援サービス&支援事例」 https://www.youtube.com/watch?v=5S2-keZ6rz4	(独)日本貿易振興機構（ジェトロ）	(独)日本貿易振興機構（ジェトロ） ウェブサイトに掲載
TIRI NEWS 2023年3月号 p14 - 15	(株)H2&DX 社会研究所	(株)H2&DX 社会研究所 ウェブサイト、Twitterに掲載
TIRI NEWS 2023年3月号 p.10-11 都産技研表彰 表彰企業インタビュー 「薄膜のガラス被膜、ナノマテリアルコートで常識を塗り替える」ハドラスホールディングス(株) https://www.iri-tokyo.jp/uploaded/attachment/15128.pdf	ハドラスホールディングス(株)	ハドラスホールディングス(株) ウェブサイトに掲載
TIRI NEWS 2023年3月号 p45 「抗菌・消臭機能を有する繊維製品加工剤の開発に成功」 ((株)プロテック・墨田支所)	(株)プロテック	(株)プロテック ウェブサイトに掲載

また、著作物の複写（コピー）を適正に取り扱うために、2007年（平成19）年度より公益社団法人日本複製権センターと契約している。

2.11 機器整備

中小企業の要望を考慮し、需要の多い機器を更新した。2022年度に整備した主な機器整備は以下のとおりである。

2022年度機器整備実績

	機器名	事業所
1	卓上型高真空雰囲気熱処理炉	本部
2	浸透探傷試験装置	
3	半無響室音響分析装置	
4	BSDF測定器	
5	デジタルマイクロスコープ	
6	複合サイクル試験機	
7	全有機体炭素/全窒素測定装置	
8	1mm同軸エクステンダ	
9	熱拡散率測定装置	
10	ICP発光分光分析装置	
11	表面分析装置 (AES・XPS)	
12	三次元測定機	城南支所

3. 産業の発展と都民生活の向上を目指したプロジェクト型支援

「『未来の東京』戦略ビジョン」でも述べられているとおり、東京は経済、テクノロジー、気候変動、人口構造という四つの点において歴史的な転換点に直面しており、これまでの常識や価値観が変容するなど、さまざまな分野においてパラダイムシフトが起こる可能性がある。また、新型コロナウイルス感染症によって非対面・非接触など「新しい日常」の実践が求められている。こうした状況の中で、情報技術を活用した新産業の創出や社会的課題解決に向けて、最先端の技術を用いた製品や、これらに組み込まれる付加価値の高い部品の開発を支援していく。

3.1 新産業創出支援

3.1.1 中小企業の5G・IoT・ロボット普及促進事業

都産技研が、これまで培ってきたIoT、ロボット技術に5Gを含めた次世代通信技術などを活用することで、成長分野における中小企業の新技術・新製品開発を支援した。これにより、中小企業のデジタルトランスフォーメーションを後押しし、付加価値の高い製品開発やサービス創出を支援した。DX推進センターにおいて、5G技術の普及啓発や中小企業や大学などとの共同研究を通じ、IoT、ロボット技術などの社会実装を促進した。

(1) 研究開発

1) 公募型共同研究開発事業

5Gを活用したロボットやIoT関連の製品を開発支援するため、都産技研が開発経費を負担（委託）して、共同で開発を行う「公募型共同研究」を実施した。

2022年度実施 公募型共同研究テーマ一覧

テーマ名	事業者名 所在地	期間
OSSによるローカル5G基地局実験キットの開発	(株)アイダックス 杉並区	2021.7～2022.6
携帯圏外にて各種センサーデータ及び撮影画像の遠距離送信を可能にする統合型モニタリングカメラの研究・開発	(株)フォレストシー 江東区	2021.7～2022.6
ブロックチェーンとIoTによる物流データのバリューチェーン化	モノコトデザイン(株) 中央区	2021.7～2022.6
5G通信を活用した自動巡視点検ロボットシステムの開発	ブルーイノベーション(株) 文京区	2021.7～2022.6
5G対応の屋内屋外向け汎用警備ロボット開発	(株)カンブリアン・プロジェクト 品川区	2021.7～2022.6
ロボティクスを見据えたL5G基地局のパフォーマンスの向上	(株)FLARE SYSTEMS 千代田区	2022.3～2023.2
5Gカメラを用いた遠隔ロボット制御システム	ウイングロボティクス(株) 中央区	2022.3～2023.2
ローカル5Gを活用した展示会向け遠隔操作ロボットアクセス管理システム開発	iPresence(同) 中央区	2022.3～2024.2
VR空間を活用した教育イベントシステムの開発	(株)VRデザイン研究所 千代田区	2022.3～2024.2

テーマ名	事業者名 所在地	期間
5G通信を活用したRaaS制御基盤の開発	リプト(株) 八王子市	2022. 3～2024. 2
ローカル5Gウェアラブルカメラシステム開発	アストロデザイン(株) 大田区	2022. 3～2024. 2
介護施設向け見守りロボットサービスの開発	アンドロボティクス(株) 港区	2022. 10～2023. 9
5Gを使用した空間データ活用ロボットシステムの研究開発	Haloworld(株) 江東区	2022. 10～2023. 9
栈橋点検支援ロボットの研究開発	アップウィンドテクノロジー・ インコーポレイテッド 港区	2022. 10～2023. 9
各種ロボティクス環境提供のためのオフィスビルローカル5Gプラットフォーム	(株)イイガ 千代田区	2022. 10～2024. 3

2) 基盤・実証研究、共同研究

5G・IoT・ロボット分野において、中小企業への支援強化につながる技術開発や技術の習得のための基盤となる研究に取り組んだ。また、企業や業界団体などと協力し、それぞれが持つ技術とノウハウを融合して、5G・IoT・ロボット関連技術や製品の実用化に向けた研究開発に継続して取り組んだ。

2022年度実施 基盤・実証研究テーマ一覧

テーマ名	期間
コグニティブ無線システムと運転者センシングによる道路交通危険箇所集積プラットフォーム	2021. 6～2023. 3
通信品質の評価方法の開発とローカル5Gへの適用	2022. 6～2023. 3
5G通信の電波伝搬特性を用いた位置測位に関する研究	2022. 6～2023. 3
ローカル5Gのセンシングへの応用に関する研究	2022. 6～2023. 3
5G用低雑音増幅器の設計手法の確立	2022. 6～2023. 3
上腕への接触時における身体ダイナミクスを再現した接触安全性試験方法の開発	2022. 6～2023. 3
モバイルコンピュータによる3次元測定のための位置合わせ	2022. 6～2023. 3
自律走行車いすの搭乗者姿勢監視システムの開発	2022. 6～2023. 3
自己教師あり学習による訓練済み変化検出AIモデルのドメイン適応	2022. 6～2023. 3
IoT用途や車載向け低消費電力超音波センサの設計手法の開発	2022. 6～2023. 3

2022年度実施 共同研究テーマ一覧

テーマ名	事業者名	期間
6輪ロボットベース技術を用いた屋外用小型ロボットの研究開発	日本精工株式会社 岡山大学	2022. 6 ~ 2023. 5
建設現場向け自走式コンクリート散水ロボットの研究開発	(株)PM & PM	2022. 6 ~ 2023. 5
職場ウェルビーイング向上のためのRPA活用をデザインする共創的ワークショップの開発	(株)タイタンコミュニケーションズ 横浜市立大学	2022. 6 ~ 2023. 5
マグネシウム合金の腐食危険度を判定する画像認識AIシステムの開発	東京工科大学 東京都公立大学法人	2022. 10 ~ 2023. 9

(2) 製品開発支援

2022年度は、ローカル5G基地局および測定器を用いたオーダーメイド型技術支援を11件実施した。また、ローカル5G研究会会員に対して5G関連設備を体験できる制度を構築し、延べ7社が利用した。

(3) 人材育成

中小企業へのサービスロボットの社会実装、ローカル5G開発事例など、都や国の施策や、導入事例などのさまざまな情報を提供するため、セミナーなどを開催した。

セミナータイトル	開催日	参加者数
中小企業のDX支援セミナー	2022年7月20日	ハイブリッド 97名
中小企業のためのサイバーセキュリティ入門	2022年8月26日	オンライン 22名
L5G研究会会員向け5G活用セミナー	2022年11月10日	オンライン 29名
電気学会・東京都立産業技術研究センター連携セミナー	2022年12月9日	50名
サービスロボットの5G活用事例の紹介	2023年1月10日	194名
ベイエリアロボティクスフォーラム2023	2023年1月30日	—*
ロボット用ミドルウェアROS2を用いた自律走行ソフトウェア入門	2023年2月15日～16日	10名
DX事例紹介セミナー	2023年3月23日	77名

※他機関主催のオンラインセミナー

(4) 成果普及

都産技研の5G・IoT・ロボット分野における開発支援を広く周知し、共同開発企業の成果展開を支援するためにCEATEC 2022 や、Edge Tech+ 2022など9件の展示会に参加し、動画やパネルで共同研究成果や事業の紹介を行った。

3.1.2 航空機産業への参入支援事業

東京都が推し進める航空機産業参入支援事業と連携し、TMAN（Tokyo Metropolitan Aviation Network）に参画している中小企業に対する技術支援を目的に、2017年4月から「航空機産業への参入支援事業」を開始した（事業推進根拠：東京都長期ビジョン）。

本事業では、テーマ設定型共同研究、国際規格認証技術支援、航空宇宙産業人材育成により、東京都およびTMAN事務局と連携し、中小企業の航空機産業への参入を支援する。

(1) 研究開発

1) テーマ設定型共同研究

東京都が支援するTMANへの参加企業から、航空機部品製造、開発、評価に関する研究課題を募集し、生産技術、製品性能の向上や、製造工程のコストダウンなど、航空機産業参入支援と航空機部品製造・開発における課題解決を目的に9件の研究開発に取り組んだ。

2022年度実施 テーマ設定型共同研究一覧

研究テーマ	事業者名	期間
航空機用チタン合金の新しい板金加工技術の開発	(株)吉増製作所	2022.6～2023.3
プレス成形によるチタン製航空機用部品の製造	(株)名取製作所	2022.6～2023.3
誘電加熱を用いた難成形材料のへら絞り成形技術の開発	(株)ナガセ	2022.6～2023.3
アルミニウム合金形材導波管の高精度回転引き曲げ加工	(株)八洋	2022.6～2023.3
航空機交換部品の安定供給工程確立	(株)Opportunity	2022.8～2023.3
航空機部品の量産工程確立	(株)Opportunity	2022.8～2023.3
航空機用燃焼試験における試験データの習得と試験ネットワークの構築	山王テクノーツ(株) (公財)南信州・飯田産業センター	2022.8～2023.3
アルミニウム合金製航空機部品の製造工程の確立	電化皮膜工業(株) (株)大崎金属 増幸クローム精鍍(株) 東洋鍛工(株)	2022.8～2023.3
鍛造におけるシミュレーション技術の適用	(株)サンノハシ	2022.8～2023.3

(2) 製品開発支援

1) ASTM（米国試験材料協会）規格に基づいた2種類の硬さ試験について、2018年度から「JIS Q 9100：2016」に基づく品質マネジメントシステムの運用を行い、2019年8月2日付で公設試として初めて認証を取得、登録証を受領した。2021年10月より、英文での試験報告書発行を開始した。2022年度の支援実績は48件であった。

2) FAR（米国連邦航空規則）規格に基づいた燃焼試験について、2022年度に「JIS Q 9100：2016」認証の拡大審査を受審し、2023年3月3日付で公設試として初めて認証を取得、登録証を受領した。2022年度の支援実績は746件であった。

(3) 人材育成

航空機産業へ参入を目指すTMAN企業を対象に米国の航空機部品メーカーからのRFQ (Request For Quotation:見積依頼) を想定し、TMAN企業向け「戦略的販路開拓ワークショップ」を開催した。ワークショップは計9回開催し、計76名が参加した。

3.1.3 ものづくりベンチャー育成事業

都内製造業の出荷額・付加価値額などは減少傾向にあり、ものづくり産業は厳しい状況に直面している。今後都内ものづくり産業がより一層発展していくためには、新たな担い手となる優れたものづくりベンチャーを数多く育成する必要がある。

東京都や支援機関と連携し、試作から製品化に向けたアイデアを持つものづくりベンチャーの発掘、アイデアの機能試作支援、事業化を見据えた量産試作を支援する。

(1) 製品開発支援

1) 試作から製品化に向けたアイデアをもつものづくりベンチャーの発掘

10月25日から公募を開始し、個人を含む52件の応募から、書類審査・面接審査にて25者を選定した。

2) アイデアの機能試作支援

選定された25者中13者に対して、試作支援拠点「デジタルものづくりサイト」を活用した3Dプリンターによる24回の試作支援を実施

3) 事業化を見据えた機能試作から量産試作支援

機能試作支援による試作品について、製品アイデアの特徴などを審査員にプレゼンするピッチコンテストを実施し、8者を採択した。採択者へは、今後事業化を見据えた支援を行う。

3.2 社会的課題解決支援

QOLの向上などの社会的課題の解決に資する分野（ヘルスケア分野、食品分野など）における技術開発や製品化・事業化を促進するための支援を行った。

3.2.1 バイオ基盤技術を活用したヘルスケア産業支援事業

少子高齢化や健康志向の高まりの中、都民が生き活きと働き、生活する社会を実現するために、今後、健康・医療産業の発展が期待されている。

医療品、とりわけ化粧品や食品分野は、健康増進のための機能性商品などの市場が伸びているほか、規制面からも中小企業にとって参入しやすい。また、将来、再生医療の発展とともに周辺産業の成長が見込まれ、医療ベンチャーや中小企業の参入が期待される。

健康・医療分野における技術革新には、バイオ基盤技術による高度化が不可欠である。本事業ではバイオ基盤技術を活用し、動物実験の代替法などの新たな評価を用いた高付加価値な製品などの開発を支援する。

(1) 研究開発

動物実験代替法などの開発と普及のために基盤研究を実施し、代替モデルの開発に取り組んだ。

2022年度実施 基盤研究テーマ一覧

テーマ名	期間
細胞塊を構成物に用いた多汁性のある培養肉の3D造形	2021.11～2022.9
培養肉エキス開発に向けた基盤技術開発 ～実肉および培養細胞に含まれる風味・栄養成分の網羅解析～	2021.11～2022.9
食品の消化・吸収を妨げない嚥下困難者用増粘剤の開発	2021.12～2022.11
ウナギ細胞を用いた食肉開発技術の創出 ～食用培地の開発と継代における細胞特性評価～	2022.5～2023.3
毛髪キューティクルに近似したケラチンシートの開発	2022.5～2023.3
マトリックス化合物を使用しないイメージング質量顕微鏡用デバイスの作製	2022.6～2023.3

(2) 製品開発支援

1) ヘルスケア産業支援室（SUSCARE[®]）

中小企業のヘルスケア産業支援事業を促進するための総合支援拠点として、2020年4月1日、本部内にヘルスケア産業支援室（SUSCARE[®]）を開設した。SUSCARE[®]では、「我が国初のヘルスケア製品開発のトータルサポート」として、相談→材料の特性分析→試作品作成→性能評価→製品化の各ステップを支援することができる。

2) ヘルスケア産業支援室（SUSCARE[®]）会員

ヘルスケア産業支援室が提供する各種技術支援サービスを利用するため、会員登録制度を設けている。2022年度末時点の累計登録者数は959名であった。

3) 技術支援

2種の依頼試験事業を新規に立ち上げた。2022年度は、依頼試験594件、機器利用7,346件、オーダーメイド型技術支援49件、技術相談1,407件であった。

(3) 人材育成

中小企業において、ヘルスケア産業関連製品の差別化を行うための科学的評価技術を有する人材を育成するために、リアル形式およびウェブ形式のSUSCARE®セミナーならびにオーダーメイド型技術支援（セミナー）を実施した。SUSCARE®セミナーの動画および講演資料をSUSCARE®ウェブサイト（<https://suscare.iri-tokyo.jp/>）にて公開した。

(4) 広報活動

事業PRによる認知度向上のために第13回化粧品開発展に出展した。また、SUSCARE®ウェブサイトを刷新し、サービス、試験事例、保有設備の紹介を行っている。2022年度の見学者数は計258名であった。

3.2.2 フードテックによる製品開発支援事業

近年、世界的な人口増加による食糧危機の解決や新型コロナウイルス感染症拡大の影響による食品保存技術の高度化など、食品を取り巻く技術ニーズは多様化しており、中小企業においてもこれまで以上にビジネスチャンスが高まっている。

中でも、動物の飼育を前提としない代替肉の開発や海外情勢の影響を大きく受ける小麦の代替の開発、用途に応じた冷凍・保存技術の高度化などは、大きく成長が見込まれる開発分野であるものの、こうした製品開発を行うためには、高価で高度な分析機器などが必要であり、中小企業単独で進めることは難しい。

このため、都産技研の依頼試験や機器利用の実施ノウハウを活用しながら、食品技術センターでのサービスの充実を図り、こうした分野における中小企業の製品開発を促進する。

(1) 研究開発

2022年度実施 基盤研究テーマ一覧

テーマ名	期間
代替肉の高付加価値化に向けた食肉における呈味成分分布の解明	2022.10～2023.9
温度対応範囲を拡張したタンパク質とろみ剤の開発	2022.12～2023.9
摂取タイミングに基づく機能性成分吸収の新規評価試験系の確立	2022.12～2023.3

(2) 製品開発支援

2023年度からの製品開発支援事業開始に向けて、先端テクノロジーを用いた分析機器など、12機器を整備完了した。

- ・共焦点レーザー顕微鏡
- ・リアルタイムPCR
- ・低温インキュベーター
- ・細胞培養設備
- ・デジタルマイクロスコープ
- ・高精度質量分析計（TOF-MS）
- ・DNAシーケンサー 等

(3) 広報活動

広く中小企業に利用していただくため、「食品開発展2022」において、来場者に事業のPRを行うとともに、アンケートを実施した。また、フードテック事業の周知を図るため、専用ウェブサイトを立て、食品技術センターの事業や新たに整備した機器を紹介した。

3.2.3 障害者スポーツ研究開発推進事業

東京都では2020年東京大会のレガシーとして、パラリンピックを通じて誰もが暮らしやすい東京を実現することを掲げ、障害者がスポーツに取り組みやすい環境整備を進めているところである。

その一環として、障害者スポーツ用具のニーズのうち波及効果が高いと想定される一般の障害者向けスポーツ用品の開発を推進するとともに、得られた知見を活かしてスポーツ用以外の一般向け高性能障害者用具の開発を推進する。

(1) 研究開発

1) 公募型共同研究

アスリート向け障害者スポーツ用具を一般向け用具に展開する研究を4テーマ実施した。

2022年度実施 公募型共同研究テーマ一覧

テーマ名	事業者名 所在地	期間
一般向軽量Mgバドミントン用車いす開発	(株)オーエックスエンジニアリング 千葉県千葉市	2020.12～2023.3
スポーツ義足用高機能アダプターの開発	(株)名取製作所 埼玉県上尾市	2020.12～2023.3
アーチェリー弓具コンパウンドボウの開発	(株)西川精機製作所 江戸川区	2020.12～2023.3
競技用等車いす加工技術を活かした超軽量子ども用車いすの開発	(株)マクルウ 静岡県富士宮市	2022.9～2023.3

2) 基盤研究

公募型共同研究の一部を都産技研の技術によって解決する研究を実施した。

2022年度実施 基盤研究テーマ一覧

テーマ名	期間
パラバドミントン用車いす着座時の座位姿勢定量化技術の基礎的検討（着座姿勢評価技術の確立）	2020.12～2023.3
マグネシウム製スポーツ器具の開発	2020.12～2023.3
スポーツ義足用アダプターの軽量最適化と品質保証方法の構築	2020.12～2023.3

(2) 成果普及

障害者スポーツ研究開発推進事業や研究開発の成果を広く周知するため、「キッズフェスタ2022第21回子どもの福祉用具展 アンダー18」や「第49回国際福祉機器展 H.C.R. 2022」などに出展し、成果品の展示や活動報告を実施した。

4. 中小企業などの新事業展開支援

4.1 多様な連携によるオープンイノベーションなどの促進

4.1.1 東京イノベーション発信交流会 2023

企業が新たな顧客と出会う機会を提供し、製品開発や販路開拓、企業間交流を促進することを目的に、展示交流会「東京イノベーション発信交流会2023」を開催した。

都産技研の利用企業および都産技研と業務連携協定を締結している支援機関、行政機関、金融機関などから推薦された企業が出展した。

(1) 開催概要

日 時：2023年2月21日（火）

開催場所：都産技研本部 東京イノベーションハブ

後 援：公益財団法人東京都中小企業振興公社

出展企業：20社 参加者：160名

(2) 内容

1) 基調講演

「情報非対称性のすゝめ ～ビジネスにおける情報の非対称性とは何か、どう活かすか～」

2) 出展企業によるピッチコンテスト

出展企業20社が提供可能なシーズ、事業展開計画などを発表

3) ブース展示

出展企業20社、東京都中小企業振興公社、都産技研に関する展示

4) 都産技研施設見学会

希望者を対象にDX推進センターおよびヘルスケア産業支援室の見学会を実施

4.1.2 異業種交流事業

技術革新の急速な進展とともに、消費者ニーズの多様化・高度化など、社会経済環境が大きく変化している中で、経営資源が十分ではない中小企業が発展していくためには、業種を越えて互いの技術力やノウハウを提供し合い、新分野進出への方向性を探っていく異業種交流が有効な手段の一つとなる。2022年度は、異業種交流活動の活性化と新グループの形成支援を目的とした取り組みを実施した。

(1) グループ形成支援

都産技研では、異業種交流グループ（旧称 技術交流プラザ）を1984年度から毎年発足させ、課題解決型と製品開発型をあわせて30グループ369社の会員が活動している。

2022年度は、課題解決型グループの形成支援を行い、参加企業26社のグループが新規に発足した。交流会を9回開催し、会員企業の自社紹介や、グループワーク、インボイス制度講演会、中小企業支援策講演会、KJ法概要説明と実践講演会、都産技研見学を行った。また、課題解決型の既存グループは、交流会を累計で110回開催し、参加者は759名（内オンライン開催は14回、参加者数57名）であった。

(2) グループ間交流支援

1) グループ協議会

既存グループが、活動状況や計画を紹介することで、グループ間相互の交流を促進した。

会議名	開催日	参加グループ数
グループ協議会	6月30日	16

2) 東京都異業種交流グループ合同交流会

異業種交流グループ間交流の促進を目的として、「激変するグローバル環境と企業連携」をテーマに、基調講演、ブース展示、名刺交換会、意見交換を実施し、114名が参加した。

4.1.3 医療機器産業参入支援

2017年度から東京都の委託を受けて、ものづくり中小企業の医療機器開発・事業化を技術面から支援する、「医工連携コーディネーター事業」を推進している。本事業では、都産技研、東京都医工連携HUB機構、公益財団法人東京都中小企業振興公社の3機関が協力し、各機関の特徴を活かした支援体制を整えている。都産技研では、臨床・研究機関、製販企業などの関連機関からのシーズやニーズを、ものづくり中小企業に展開していくことで、ビジネスマッチングを支援している。2022年度の主な事業は、以下のとおりである。

- ・ 都産技研医工連携コーディネーターによるマッチング活動 15件
- ・ 医療分野参入促進に向け、医療技術の最新動向や医工連携による開発事例をテーマに取り上げたセミナーを開催。参加者164名
- ・ 医工連携コーディネーターによる製品化支援活動 21件
医療機器の認証・規格適合などについて、医工連携コーディネーターによる技術相談、臨床評価医師とのマッチング支援を実施した。



(医工連携事業スキーム)

4.1.4 業種別交流会

業種別交流会は業界が抱えている技術的な課題を含めたニーズを的確に把握し、都産技研の各事業に反映させるために業種別交流会を開催している。2022年度は2団体と開催し、業界から計28名、都産技研職員計10名が参加し、中小企業の技術力向上のために、業界の活動状況や技術的問題点、今後の取り組みなどについての情報や意見の交換を行った。

4.1.5 技術研究会

技術研究会は技術力および技術開発力の向上を目指す中小企業の経営者、技術者で構成される研究会であり、全体で24団体が活動している。2022年度は、計62回開催し、研究会のメンバーと都産技研の職員による技術情報の提供や意見交換を行った。参加者は延べ972名であった。

4.1.6 技術審査

都産技研では、東京都や公益財団法人東京都中小企業振興公社、区市、商工団体などから依頼を受け、新製品・新技術開発などの助成事業、技術表彰、認定などの技術審査のため、書類審査および審査委員の派遣を行っている。

2022年度は28団体からの依頼により80事業の審査に携わり、延べ4,456件の技術審査を実施した。

実施主体	延べ件数
東京都	1,147
(公財)東京都中小企業振興公社	1,850
区市	695
団体	764
合計	4,456

4.1.7 首都圏公設試験研究機関との連携

2002年度、東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県のパブリック試験研究機関が連携し、都域の枠にとらわれず、域内中小企業の技術支援を行うために、首都圏公設試験研究機関連携体（以下、「TKF」という。）を設立した。2008年度からは横浜市も参加し、5機関体制となった。また、公設試では2011年度より長野県、2013年度より栃木県、群馬県、山梨県、さらに2014年度には茨城県、静岡県、2015年度には新潟県がオブザーバー機関として参加している。

連携 5機関	東京都立産業技術研究センター	埼玉県産業技術総合センター
	千葉県産業支援技術研究所	神奈川県立産業技術総合研究所
	横浜市工業技術支援センター	
オブザーバー 機関	関東経済産業局	東京都産業労働局商工部
	国立研究開発法人産業技術総合研究所	茨城県産業技術イノベーションセンター
	栃木県産業技術センター	群馬県立産業技術センター
	新潟県工業技術総合研究所	山梨県産業技術センター
	長野県工業技術総合センター	静岡県工業技術研究所

TKFでは、ウェブサイト「首都圏テクノナレッジ・フリーウェイ」(<https://www.iritokyo.jp/site/tkf/>)の運営や、「デザイン」の技術分野における研究員の情報交換を目的としたパートナーグループの活動、研究員の相互派遣活動（TKFミニインターンシップ）を通じて、相互の交流を進めている。

(1) 首都圏公設試連携推進会議、TKFオープンフォーラム

連携の具体的な方向性などを検討するために、定期的に首都圏公設試連携推進会議を開催している。2018年度からは広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP）事務局会議および運営委員会も兼ねた会議を開催している。また、年に一度TKF事業の成果発表の場としてTKFフォーラムを開催し、連携の充実を図ってきた。2015年度からはTKFフォーラムを一般公開し（TKFオープンフォーラム）、中小企業に対する情報提供の場、交流の場としている。

No.	開催日	開催場所	参加機関	出席者数
1	10月21日*	グリーンタワー幕張	連携5機関、オブザーバー機関、一般参加者	94名
2	11月29日	都産技研	連携5機関、オブザーバー機関	35名

※TKFオープンフォーラムとして開催した

(2) 他機関での発表

他機関で実施する研究発表会に、都産技研の職員を派遣して広く技術の普及活動を行った。また、産学連携による研究成果の実用化を目指した国立研究開発法人科学技術振興機構が主催する「新技術説明会」に、2018年度から参加している。

2022年度も「ものづくり技術 新技術説明会」として、都産技研から2件、他機関から4件の発表を行った。また、TKF参加機関相互の職員研修事業（TKFミニインターンシップ）を活用し、試験品質向上の取り組みとして、都産技研から他機関への出向研修（7機関、10名）と他機関からの受け入れ研修（5機関、9名）を実施した。

4.1.8 協定・覚書締結一覧

大学や研究機関、産業支援機関、行政機関、金融機関と協定、覚書などを締結し、産業振興および中小企業振興のための事業連携を図っている。2023年3月31日現在の各機関との「協定書」、「覚書」の締結状況は以下のとおりである。

No.	機 関 名	協定書・覚書	締結年月日
1	(公財)東京都中小企業振興公社	協定書	2006年4月1日
		覚書	2007年1月4日
2	(一社)コラボ産学官	協定書	2006年8月10日
		秘密保持契約書	2006年9月1日
3	産業技術大学院大学	協定書	2007年2月26日
4	東京都立大学	業務協定書	2007年3月15日
5	東洋大学 バイオ・ナノエレクトロニクス研究センター	協定書	2008年4月1日
6	長岡技術科学大学	協定書	2008年8月26日
		覚書	2009年8月6日
7	新宿区	協定書	2008年9月22日
8	東京都立多摩科学技術高等学校	覚書	2008年10月14日
9	芝浦工業大学	協定書	2009年3月12日
		教育研究協力に関する協定	2009年11月10日
10	板橋区	業務連携に関する覚書	2009年6月3日
11	港区	協定書	2009年7月16日
12	多摩信用金庫	たましん事業支援センターの 活用に関する覚書	2009年7月16日
13	府中市	覚書	2010年5月13日
14	(国研)産業技術総合研究所	協定書	2010年11月24日
15	北区	覚書	2011年2月21日
16	(公財)まちみらい千代田	覚書	2011年4月14日
17	品川区	協定書	2011年6月1日
18	東京都立産業技術高等専門学校	協定書	2011年9月12日
19	江東区	協定書	2011年9月14日
20	朝日信用金庫	協定書	2012年1月27日
21	(一財)機械振興協会	協定書	2012年3月8日
22	(公財)日本発明振興協会	協定書	2012年4月9日
23	江東信用組合	協定書	2012年6月6日
24	東京電機大学	協定書	2012年7月23日
25	明星学苑明星大学	協定書	2012年10月12日
26	(公財)東京都農林水産振興財団	協定書	2012年12月7日
27	日野市	覚書	2013年2月26日
28	昭島市	協定書	2013年3月12日
29	城南信用金庫	覚書	2013年3月13日
30	(一財)化学研究評価機構	協定書	2013年3月21日
31	さわやか信用金庫	協定書	2013年4月1日

No.	機 関 名	協定書・覚書	締結年月日
32	(一社)東京工業団体連合会	協定書	2013年9月5日
33	東京都商工会連合会	協定書	2013年10月22日
34	西武信用金庫	協定書	2013年10月28日
35	東京理科大学	協定書	2013年11月5日
36	葛飾区	協定書	2013年11月26日
37	東京工業高等専門学校	協定書	2014年3月26日
38	法政大学	協定書	2014年4月11日
39	東京東信用金庫	協定書	2014年6月3日
40	芝信用金庫	協定書	2014年6月11日
41	東京商工会議所	協定書	2014年7月14日
42	青梅市	協定書	2014年8月26日
43	青梅商工会議所	協定書	2014年8月26日
44	千葉工業大学	協定書	2014年9月30日
45	墨田区	協定書	2014年11月13日
46	タイ工業省	協定書	2014年11月25日
47	電気通信大学	協定書	2014年12月9日
48	荒川区	協定書	2015年3月3日
49	泰日経済技術振興協会	協定書	2015年4月24日
50	(一社)組込みシステム技術協会	協定書	2015年10月19日
51	(公財)台東区産業振興事業団	協定書	2015年11月5日
52	泰日工業大学	協定書	2016年2月4日
53	亀有信用金庫	協定書	2016年2月17日
54	信州大学	協定書	2016年3月10日
		覚書	2016年5月31日
55	(株)東京きらぼしフィナンシャルグループ	協定書	2016年5月27日
56	江戸川区	協定書	2017年3月29日
57	東京海洋大学	協定書	2017年3月30日
58	東京農工大学	協定書	2017年9月13日
59	兵庫県立大学	協定書	2018年5月1日
60	足立区	協定書	2018年8月6日
61	八王子市	協定書	2019年3月27日
62	(株)商工組合中央金庫	協定書	2019年9月30日
63	東邦大学	協定書	2019年10月7日
64	大田区	協定書	2020年11月16日
		覚書	
65	町田市	協定書	2021年3月4日
66	文京区	協定書	2021年7月1日

個別部署での協定締結

No.	機関名	協定書・覚書	締結年月日	連携部署
1	(株)日本政策金融公庫 大森支店	覚書	2013年10月1日	城南支所
2	(株)日本政策金融公庫 立川支店	覚書	2013年10月30日	多摩テクノプラザ
3	(株)日本政策金融公庫 千住支店	覚書	2013年12月18日	城東支所
4	(株)日本政策金融公庫 江東支店	覚書	2014年1月17日	墨田支所

4.2 都産技研の資源やネットワークを活用した支援

4.2.1 製品開発支援ラボ

新製品・新技術開発を目指す中小企業を支援する施設として、2006年度より「製品開発支援ラボ」を旧西が丘本部に3室設置し運営を開始した。中小企業の事業化支援の充実と強化を目的に、2010年2月多摩テクノプラザ開設時に5室設置、2011年10月本部開設時には新たに18室設置、2012年10月からは19室に増室し、合計24室を提供している。

製品開発支援ラボは、①都産技研の技術支援を得ながら効率的に技術開発できる、②24時間利用できる、③ラボマネージャーが各種相談に応じ製品開発、事業化をサポートする、などの特長がある。また、本部には機械加工機器、電気試験機器などを整備した共用の試作加工室、ドラフトチャンバーや精密天秤などを整備した共用の化学実験室を設置し、迅速に製品開発できるよう支援の充実に努めている。入居者はウェブサイトやメールニュースなどで公募し、入居者選定審査会において審査の上、選定している。2023年3月31日現在、本部ラボ（19室）は19室が入居中、多摩ラボ（5室）は5室が入居中である。

本部

室番号	企業名	利用の概要
301	モダンデコ(株)	生活家電製品の改良・品質検査と高品質な家電製品開発
302	ハードロック工業(株)	ゆるみ止めねじの新製品開発とボルト締結体基礎物性の把握
303	クスノキ石灰(株)	CO ₂ を吸収して固まる新たなセラミックス材料を利用した製品開発
304	ハドラスホールディングス(株)	ガラスコーティング剤の製品開発と利用範囲拡大
305	(株)CICS	加速器を用いたホウ素中性子捕捉治療システムの実用化
306	シリウス・ニューマテリアル・テクノロジー(株)	プラスチック工業向けの機能性添加剤の開発
307	エンネット(株)	車載用リチウム電池の再利用診断技術の開発と製品化
308	(株)CYBO	独自技術である高速AI顕微鏡およびAIソルセーターの試作開発
309	(株)環境経営総合研究所	「脱プラスチック」への素材開発・各種試験による論理的実証の強化
310	クラリアントジャパン(株)	新たな化粧品原料の開発と評価
311	(株)アクセルスペース	超小型人工衛星の量産化に関する高品質・製造技術手法の開発
312	(株)VRデザイン研究所	大型VR機器の実証実験及びAI利用したVR/AR学習システムの開発
313	(株)アルファ・プロダクト	超音波等を利用した非破壊検査技術開発や検査装置製造・検査サービス
314	デザミス(株)	農業・畜産分野におけるIoT機器の開発
315	(株)名取製作所	2020年パラリンピックのレガシーを生かしたスポーツ用義足の開発
316	(株)FSCE (2022年11月まで)	光学ユニット開発、ステージ技術開発
	ウイングロボティクス(株) (2022年12月から)	リアルタイム性の担保されたロボット遠隔制御システムの開発
317	(株)アパタイト	歯科用無機化学系材料の性能試験
318	メイワフォーシス(株)	SEM試料観察用コーティング装置の自動化と品質保証データ取得
319	ビーエルテック(株)	24時間稼働の水質分析装置の開発と製品化

多摩テクノプラザ

室番号	企業名	利用の概要
ラボ1	(株)システム計装	IoTを活用した空調設備省エネコントローラーシステムの開発
ラボ2	ナノコート・ティーエス(株) (2022年10月まで)	真空・プラズマ技術を用いた薄膜作成技術の開発
	分光計測 (2022年12月から)	テラヘルツパルス分光技術を基盤とする機器の開発
ラボ3	LEBO ROBOTICS(株)	風力発電機ブレードのメンテナンスロボットの開発
ラボ4	(株)EVTD研究所	知見を有す電動車両技術を踏まえ、家庭向け蓄電池事業の開発
ラボ5	ineova(株)	防災用・非常用のアルミホイル電池の開発及び大型非常用電池開発

4.2.2 スタートアップ企業の製品化・事業化を支援する取り組み

企業支援機関との連携によりスタートアップ企業の製品化・事業化を支援する取り組みを行った。

(1) 東京都知的財産総合センターとの連携

東京都知的財産総合センターでは、スタートアップ企業に対し、戦略の策定から知的財産権取得までの中長期ハンズオン支援を実施している。このスタートアップ知的財産支援事業ハンズオン支援事業推進に関する連携会議を開催した。

(2) 東京イノベーション発信交流会2023へのスタートアップ企業の参加

東京東信用金庫、文京区、板橋区、八王子市から推薦を受けた企業や、都産技研の製品開発支援ラボ入居企業が東京イノベーション発信交流会2023に参加した。

- ・医療機器製造業
- ・ロボット製造業
- ・電子部品製造業
- ・コンピューター製造業

(3) 金融機関との連携

金融機関のスタートアップ企業支援に関する情報を対象企業に提供した。5月から8月にかけて計4行と打ち合わせを実施した。

4.3 海外展開の促進

4.3.1 海外展開技術支援 広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP）

広域首都圏輸出製品技術支援センター（以下、「MTEP（エムテップ）」という。）は、1都10県1市の運営機関が連携して中小企業のための海外展開支援サービスを提供している。

東京都立産業技術研究センター	茨城県産業技術イノベーションセンター
栃木県産業技術センター	群馬県立産業技術センター
埼玉県産業技術総合センター	千葉県産業支援技術研究所
神奈川県立産業技術総合研究所	新潟県工業技術総合研究所
山梨県産業技術センター	長野県工業技術総合センター
静岡県工業技術研究所	横浜市工業技術支援センター

中小企業の海外規格対応への支援について円滑かつ適切な運営を進めるために、2022年11月29日にMTEP連携会議を開催し、39名が参加した。

(1) 専門相談員の配置

都産技研では専門相談員を置き、相談に対応した。

(2) 海外展開に対応するための技術支援

1) 技術相談

2022年度の相談実績は844件である。内訳は、オンライン194件、来所102件、その他548件（電話、メールなど）である。

2) 実地技術支援

2022年度の実地技術支援実績は9件である。人体用3DスキャナのCEマーキング、建設作業ロボットの米国輸出について対応した。

(3) 海外展開に必要な技術セミナーの開催

1) 都産技研主催MTEPセミナー

a) オンデマンド配信セミナー

- ・入門者のためのCEマーキング（8月～2月全3回配信、50名）
- ・入門者のためのRoHS指令（8月～2月全3回配信、53名）
- ・入門者のための機械指令とリスクアセスメント（11月～3月全2回配信、36名）
- ・実務者のためのIEC 60204-1機械の電気要件と安全試験（3月全1回配信、14名）

b) リアル開催

- ・入門者のためのCEマーキング&RoHS指令（7月15日、15名）
- ・実務者のためのCEマーキング&RoHS指令（8月30日、15名）
- ・EU医療機器規則（MDR）の解説 臨床評価・市販後監視とUDI（9月29日、15名）

2) 港区共催セミナー（オンライン）中小企業人材育成塾グローバル研修

- ・CEマーキング入門+RoHS指令入門（2月16日、11名）

(4) 技術情報の提供

海外の法規制は分野が広く、情報更新も随時行われているため、情報提供の効率化のために2021年度から、解説テキストやチラシなどをウェブ化し公開を開始した。

1) MTEPウェブサイトでの情報公開

2) TIRI NEWS で、最新の海外法規制に関する情報および解説を掲載

3) 海外法規制に関する解説テキスト18編を掲載

- ・2017年発行「EU指令」、「低電圧指令」、「RoHS指令」、2019年発行「医療機器規則」、「体外診断用医療機器規則」を更新（3月公開）
- ・「欧州玩具安全指令」を新規に掲載（3月公開）

4) 海外規格書の閲覧サービスの提供

閲覧できる海外規格：IEC、ISO、AMS、ASTM、BS EN、MILなど

5) 支援事例のウェブサイト公開

支援事例についてMTEPウェブサイト上で公開することで、支援した製品の紹介を行うとともに、MTEPの具体的な支援内容をPRした。2022年度は3件の支援事例を公開した。

4.3.2 海外支援拠点（バンコク支所）

2015年4月に設立した都産技研初の海外拠点であるバンコク支所では、ASEANに展開する日系中小企業へ技術相談、産業人材育成、産業交流を実施している。産業人材育成では都産技研本部と現地日系企業現場をウェブ会議システムで結ぶことで技術的課題の解決を図った。

(1) 産業人材の育成

バンコク支所と本部が連携したオンラインセミナーを開催した。2022年度は、都産技研職員が講師となるセミナーを計6回開催し、延べ42名が受講した。

(2) 技術相談・実地技術支援

タイにおける多様な課題に対応した技術相談、バンコク都外にある工業団地内の日系中小企業の現場に赴き実施する実地技術支援を計247件実施した。

(3) 産業交流、機関連携

タイの日系企業支援機関と連携し、各種イベントを開催した。

- ・公益財団法人東京都中小企業振興公社との共同主催事業「タイの産業動向」（7月8日）の開催
- ・公益財団法人東京都中小企業振興公社、埼玉県タイサポートデスクとの3機関共催事業「バスツアー／ビジネス交流会」（10月7日）、「これからのビジネスのトレンドinタイ」（3月17日）の開催

また、新たに公益財団法人東京都中小企業振興公社と連携し、公社タイ事務所での技術相談や出張相談にバンコク支所職員が同席し、連携して日系企業の支援を開始。2022年度の連携相談実績は14件であった。

(4) タイの産業動向の都内中小企業へ情報提供

「タイ王国の産業レポート2021」をウェブサイトにて公開した。また、「タイの環境規制」の調査を行い報告書を作成した。

5. 地域や支所の特色を活かした支援

5.1 多摩テクノプラザ

多摩テクノプラザでは、多摩地域に集まる、電気・輸送用・情報通信機械などの加工組立型産業に加え、織物業などの繊維産業に係わる中小企業への支援として、繊維強化複合材料などの開発支援を行う複合素材開発サイト、車載電子機器などの評価による開発支援を行うEMCサイトの2つのサイトを活用して多摩地域の産業支援を実施している。

技術支援実績	依頼試験	16,315件(うち、多摩地域企業の利用実績6,792件、42%に相当)
	機器利用	17,588件(うち、多摩地域企業の利用実績9,389件、53%に相当)
地域連携による支援・協力	東京都中小企業振興公社多摩支社	新技術創出交流会に出展
	八王子商工会議所	広域TAMA先進技術交流会に出展
	八王子市	先端技術セミナーを共催
	立川商工会議所、日野市商工会、昭島市商工会	意見交換および都産技研事業紹介を実施

5.2 城東支所

金属・機械部品・日用品製造業が多く集まり、伝統産業も盛んな城東・城北地域において、三次元造型機などを活用してデザイン開発を支援するデザインスタジオ、また、各種の加工機を活用した試作品作製支援を実施するものづくりスタジオを設置し、地域産業のものづくり支援を強化している。

技術支援実績	依頼試験	3,095件(うち、城東・城北地域企業の利用実績367件、12%に相当)
	機器利用	10,547件(うち、城東・城北地域企業の利用実績4,803件、46%に相当)
地域連携による支援・協力	葛飾区	第38回葛飾区産業フェアを協働開催

5.3 墨田支所

生活関連製品や産業用資材などを中心に、「人間にとっての使いやすさ」、「快適性・安全・健康」に配慮した製品開発、高付加価値なものづくりを支援している。

技術支援実績	依頼試験	2,621件
	機器利用	6,344件
地域連携による支援・協力	墨田区	第11回すみだファクトリーめぐり「スミファ」に参加協働し、施設公開
	東京東信用金庫	墨田区内中小企業の技術課題解決支援を連携して対応
	台東区産業振興事業団	ビジネス交流フェスタ2022に相談ブースを設置し、都産技研の事業を紹介

5.4 城南支所

研究開発型中小企業が多い城南地域の産業特性に即して、先端計測加工ラボを設置し、リバースエンジニアリングや開発品の包括的安全性評価を実施することで、高付加価値製品の開発を支援している。

技術支援実績	依頼試験	7,736件（うち、城南地域企業の利用実績2,629件、34%に相当）
	機器利用	6,732件（うち、城南地域企業の利用実績2,691件、40%に相当）
地域連携による支援・協力	東京都中小企業振興公社	「チャレンジ道場事業」において造形装置による試作品作製に協力、盆栽形状食器の製品開発を支援
	大田区 大田区産業振興協会 大田工業連合会	大田加工技術展示商談会出展
	大田区 大田区産業振興協会	おおた研究・開発フェア出展

5.5 食品技術センター

2021年度より、食品技術センターを統合し、食品産業に関わる研究開発や支援業務を実施している。

技術支援実績	依頼試験	490件
	機器利用	3,634件
東京都の農林水産部門との連携	農業振興事務所	農業改良普及センターに寄せられた地域資源を活かした農産物加工に係る要望に対応
	東京都農林水産振興財団	奥多摩さかな養殖センターなどと連携して地域資源を活用した食品開発を実施

6. 東京の産業を支える産業人材の育成

6.1 技術セミナー・講習会

中小企業などの技術力向上と振興を図ることを目的として、各技術分野の最新技術、トピックスをテーマとした各種技術セミナー・講習会を、ライブ・オンデマンド・リアル・ハイブリッド形式で開催した。

(1) 技術セミナー・講習会

名 称	担当部署	受講 (名)	規模	
			日数	開催 初日
●技術セミナー				
ライブ配信				
2023年春夏レディスウェア・カラートレンド分析	製品化技術グループ	6	1	6/16
振動試験入門（試験概要と試験規格）	機械技術グループ	9	1	6/21
放射線遮へいの基礎と動向	計測分析技術グループ	3	1	6/23
環境試験入門～環境試験機を用いた製品の信頼性評価と規格動向～	実証試験技術グループ	12	1	10/20
初心者から資格取得を目指す人のための工業用編機とニット製品	顧問	6	1	10/31
紫外線殺菌の基礎と応用	光音技術グループ	9	1	11/25
2023-24年秋冬レディスウェア・カラートレンド分析	製品化技術グループ	11	1	11/29
CMFデザイン入門～基礎概論およびCMFの実務～	城東支所（本部）	5	1	11/29
品質工学の考え方入門（パラメータ設計編）	IoT技術グループ	7	1	12/13
人体の三次元スキャン入門	墨田支所	10	1	1/26
ガラス製品の基礎知識	マテリアル技術グループ	8	1	3/16
オンデマンド配信				
荷重試験の実践シリーズ【基礎編】【事例編1】【事例編2】 ※3つのテーマをまとめて開催	実証試験技術グループ	18	14	8/4
基礎からわかる振動試験	城東支所	8	7	8/24
ねじに関する強度試験の実践シリーズ【基礎編】【事例編】 ※2つのテーマをまとめて開催	実証試験技術グループ	18	11	8/25
MEMS微細加工入門1 リソグラフィ	電気技術グループ	4	7	8/29
3Dプリンター入門 基礎編	製品化技術グループ	14	7	9/12
3Dプリンター入門 粉末床溶融結合編	製品化技術グループ	11	7	9/15
硬さ試験の実践シリーズ【基礎編】【事例編】 ※2つのテーマをまとめて開催	実証試験技術グループ	9	7	9/22
におい分析と事例	墨田支所	13	7	10/13
感性を考慮した音質評価・音質改善	光音技術グループ	9	7	10/17
ガラス製品の破損事故解析 ―入門編―	材料技術グループ	19	7	10/26
吸音・遮音の測定と評価	光音技術グループ	5	7	11/30
鉄鋼材料の熱処理の基礎	機械技術グループ	9	7	11/30
放射線の基礎	計測分析技術グループ	3	7	12/16

2022年度 年報

名 称	担当部署	受講 (名)	規模	
			日数	開催 初日
異物分析の進め方	計測分析技術グループ	17	7	12/16
感性を考慮した音質評価・音質改善 [再配信]	光音技術グループ	14	7	1/11
照明製品の測光技術の基礎	光音技術グループ	14	7	1/18
食品の微生物検査の基礎知識	食品技術センター	23	7	1/31
Ansys LS-DYNAによる 有限要素解析を用いた プレス成形シミュレーション入門	機械技術グループ	8	7	2/15
MEMS微細加工入門2 エッチング	電気技術グループ	4	7	2/22
食品の保存技術	食品技術センター	12	7	2/28
ガラス製品の破損事故解析 一入門編一 [再配信]	マテリアル技術グループ	10	7	3/1
繊維製品の温熱特性評価入門	墨田支所	11	7	3/8
リアル開催				
青果物の鮮度保持とその評価法	食品技術センター	12	1	11/29
商品企画のためのパッケージデザイン入門	城東支所 (本部)	7	1	12/23
初心者のための繊維製品製造技術の基礎	複合素材技術グループ	5	1	1/13
FIB-SEM複合装置による断面加工・観察・分析	計測分析技術グループ	4	1	1/20
発注者のためのめっき入門-めっき技術の基礎-	プロセス技術グループ	10	1	2/22
ハイブリッド開催				
鉄鋼材料の熱処理と熱処理品の検査・評価技術	機械技術グループ	22	1	10/14
ナノ粒子の物性評価の解説	マテリアル技術グループ	8	1	2/16
技術セミナー	44件	407	183	
●講習会				
ライブ配信				
生産工程のモットイナイ改善 ～モットイナイの見える化と改善で、経営危機を乗り越える～	プロセス技術グループ	1	1	11/17
オンデマンド配信				
初心者のためのマイコンボード入門	城東支所	5	7	11/22
リアル開催				
はじめて学ぶEMC試験入門講座	電子技術グループ	7	1	6/24
はじめての電子回路設計	電子技術グループ	6	1	7/8
機能性スクリーン印刷	複合素材技術グループ	3	1	7/14
細胞培養の基礎	バイオ技術グループ	6	1	7/29
熱拡散率測定	実証試験技術グループ	8	1	8/4
各フェーズで学ぶ製品開発シリーズ 第1回 デザインの視点から課題解決	製品化技術グループ	3	1	9/29
騒音測定の基礎	光音技術グループ	3	1	10/25
各フェーズで学ぶ製品開発シリーズ 第2回 3Dプリンタによる試作	製品化技術グループ	4	1	10/26
静電植毛加工技術	電気技術グループ	9	1	10/28
非破壊検査入門	機械技術グループ	5	1	10/28
ガラス製品の破損事故解析 一実践編一	材料技術グループ	10	1	11/10
各フェーズで学ぶ製品開発シリーズ 第3回 3Dスキャナによる形状の評価	製品化技術グループ	5	1	11/15

名 称	担当部署	受講 (名)	規模	
			日数	開催 初日
熱拡散率測定	実証試験技術グループ	6	1	11/16
振動試験規格と振動試験の進め方	機械技術グループ	4	1	11/18
初心者のための材料・異物分析	複合素材技術グループ	6	1	11/18
設計から営業まで役立つ実践型木工塗装技術	プロセス技術グループ	5	2	11/21
Fusion360による3Dモデリング入門	城南支所	8	1	11/22
摩耗対策に役立つ潤滑技術 ～トライボロジー・レオロジー評価と解析～	プロセス技術グループ	3	1	12/2
カビと防カビ試験の基礎	バイオ技術グループ	4	1	12/2
有機合成の基礎技術	マテリアル技術グループ	4	1	12/15
チラシ・パンフレット作成講座	城東支所	5	1	12/21
食品の生菌数および真菌数検査	食品技術センター	8	2	2/15
計測器の精度管理と不確かさ評価	実証試験技術グループ	14	1	2/15
チラシ・パンフレット作成講座	城東支所	5	1	3/15
機器分析入門（有機分析）	計測分析技術グループ	3	1	3/16
講習会	27件	150	35	

(2) 広域首都圏輸出製品技術支援センター（MTEP）セミナー

名 称	担当部署	受講 (名)	規模	
			日数	開催 初日
オンデマンド配信				
入門者のためのCEマーキング	技術振興室	19	12	8/22
入門者のためのRoHS指令	技術振興室	17	12	8/22
入門者のためのCEマーキング	技術振興室	18	15	11/25
入門者のためのRoHS指令	技術振興室	16	15	11/25
入門者のための機械指令とリスクアセスメント	技術振興室	17	12	11/28
入門者のためのCEマーキング	技術振興室	13	14	2/2
入門者のためのRoHS指令	技術振興室	20	14	2/2
入門者のための機械指令とリスクアセスメント	技術振興室	19	14	3/9
実務者のためのIEC 60204-1 機械の電気要件と安全試験	技術振興室	14	14	3/9
リアル開催				
入門者のためのCEマーキング&RoHS指令	技術振興室	15	1	7/15
実務者のためのCEマーキング&RoHS指定	技術振興室	15	1	8/30
EU医療機器規則（MDR）の解説 臨床評価・市販後監視とUDI	技術振興室	15	1	9/29
港区中小企業人材育成塾 グローバル研修CEマーキング入門+RoHS指令入門	技術振興室	11	1	2/16
MTEPセミナー	13件	209	126	

2022年度 年報

(3) その他のセミナー

名 称	担当部署	受講 (名)	規模	
			日数	開催 初日
●バンコクセミナー				
ライブ配信				
「タイ王国の産業動向」	バンコク支所	44	1	7/8
ハイブリッド開催				
「電気安全の基礎」	バンコク支所	10	1	6/22
「品質管理 (QC) を実践してみよう」	バンコク支所	8	1	6/28
「機器分析の基礎」	バンコク支所	7	1	9/14
「鉄鋼材料の基礎」	バンコク支所	6	1	10/25
「切削加工の基礎」	バンコク支所	10	1	11/30
「めっき技術の基礎」	バンコク支所	4	1	12/16
「電気絶縁の基礎」	バンコク支所	4	1	1/26
●共催セミナー				
ライブ配信				
「新しいテキスタイルが紡ぐウィズ・コロナ時代の新事業」 - スマートテキスタイルの新展開 - (第2回)	総合支援課	38	1	4/21
「新しいテキスタイルが紡ぐウィズ・コロナ時代の新事業」 - スマートテキスタイルの新展開 - (第3回)	総合支援課	36	1	5/19
都産技研・JASA 連携イベント 中小企業のためのサイバーセキュリティ入門	IoT 技術グループ	22	1	8/26
都産技研・JASA 連携イベント IoT 機器におけるセキュリティ (開発者向け)	通信技術グループ	20	1	3/10
リアル開催				
大田区×都産技研共催セミナー「先端ものづくりとデジタル化」	城南支所	4	1	10/20
●特定事業				
ライブ配信				
2022年度販路開拓ワークショップ第1回	機械技術グループ	8	1	7/1
2022年度販路開拓ワークショップ第2回	機械技術グループ	12	1	7/13
2022年度販路開拓ワークショップ第3回	機械技術グループ	12	1	8/29
基礎から学ぶ小角 X 線散乱法 (SAXS)	バイオ技術グループ	63	1	12/1
溶液中のバイオナノ粒子からの X 線小角散乱	バイオ技術グループ	60	1	12/1
海外展開支援セミナー～日本コスメをグローバル市場へ～	バイオ技術グループ	93	1	1/30
「広げよう J-Beauty ～世界に羽ばたく日本コスメ～」	バイオ技術グループ	80	1	1/30
分子の分布を可視化する技術 MS イメージングについて	バイオ技術グループ	81	1	2/9
質量分析イメージングの応用 - 医学・薬学・化粧品化学・植物科学・食品科学 -	バイオ技術グループ	86	1	2/9
Cryo FIB-SEM の原理と応用事例	バイオ技術グループ	55	1	2/20
クライオ電子顕微鏡の試験事例、試料調製とデータ解析	バイオ技術グループ	60	1	2/20
リアル開催				
「モビリティ産業参入促進セミナー」第1回：小型モビリティ開発における要素技術および車載機器 EMC 試験設備の紹介	総合支援課	22	1	9/16
2022年度販路開拓ワークショップ第4回	機械技術グループ	13	1	10/4
2022年度販路開拓ワークショップ第5回	機械技術グループ	13	1	10/4

名 称	担当部署	受講 (名)	規模	
			日数	開催 初日
2022年度販路開拓ワークショップ第6回	機械技術グループ	8	1	10/19
「モビリティ産業参入促進セミナー」 第2回：EVシフトに伴うモビリティ産業の現状	総合支援課	71	1	10/26
2022年度販路開拓ワークショップ第7回	機械技術グループ	8	1	10/31
2022年度販路開拓ワークショップ第8回	機械技術グループ	7	1	11/15
2022年度販路開拓ワークショップ第9回	機械技術グループ	9	1	12/2
ロボット用ミドルウェアROS2を活用した自律走行ソフトウェア入門	ロボット技術グループ	10	2	2/15
ハイブリッド開催				
中小企業のDX支援セミナー	IoT技術グループ	97	1	7/20
その他のセミナー	34件	1,081	35	

6.2 委員・講師などの派遣

6.2.1 委員などの派遣

高度な専門知識を持つ職員を、大学、学術団体、産業界、行政機関など84機関へ評価委員や専門委員として、合計141名派遣した。

主な派遣機関は以下のとおりである。

国立研究開発法人産業技術総合研究所
 公益財団法人日本騒音制御工学会
 公益財団法人スガウエザリング技術振興財団
 独立行政法人製品評価技術基盤機構
 一般社団法人電気学会
 一般社団法人日本溶接協会
 一般社団法人日本非破壊検査協会
 一般財団法人日本規格協会
 一般社団法人電子情報技術産業協会 など

6.2.2 講師などの派遣

大学との連携強化や社会への知的貢献を目的として、高度な専門知識を持つ職員を大学、学術団体、産業界、行政機関など31機関へ非常勤講師や指導員として、合計46名派遣した。

主な派遣機関は以下のとおりである。

法政大学
 東京家政大学
 多摩美術大学
 東京都立産業技術高等専門学校
 芝浦工業大学
 沖縄県立芸術大学
 東京都鍍金工業組合 など

6.3 インターンシップなどの受け入れ

6.3.1 インターンシップの受け入れ

職業体験による職業意識の向上と、公設試の業務について理解を深めてもらうことを目的にインターンシップを実施した。2022年度は1高等専門学校、1大学より4名を受け入れた。

	受け入れ相手先	人数	受け入れ部署	受け入れ期間
1	東京都立産業技術高等専門学校 荒川キャンパス 創造工学専攻	1	通信技術グループ	2022年8月19日 ～2022年9月8日
2	東京都立産業技術高等専門学校 品川キャンパス ものづくり工学科	1	通信技術グループ	2022年9月12日 ～2022年9月16日
3	東京都立大学 都市環境学部	1	電気技術グループ	2022年8月29日 ～2022年9月2日
4	東京都立大学 理学部	1	光音技術グループ	2022年8月30日 ～2022年9月6日

6.3.2 研修学生の受け入れ

大学・大学院の学生を一定期間受け入れ、人材育成や専門技術の習得に寄与した。2022年度は8大学より延べ15名の研修学生を受け入れた。

	受け入れ相手先	人数	受け入れ部署	受け入れ期間
1	芝浦工業大学 理工学研究科	2	プロセス技術グループ	2022年5月16日 ～2023年3月31日
2	北見工業大学 工学研究科	1	計測分析技術グループ	2022年5月16日 ～2023年3月31日
3	東京海洋大学 海洋工学部	2	プロセス技術グループ	2022年6月27日 ～2023年3月31日
4	東京海洋大学 海洋科学技術研究科	1	プロセス技術グループ	2022年6月27日 ～2023年3月31日
5	芝浦工業大学 理工学研究科	1	プロセス技術グループ	2022年7月13日 ～2023年3月31日
6	神戸大学 海事科学研究科	1	バイオ技術グループ	2022年7月25日 ～2023年3月31日
7	金沢工業大学 工学研究科	1	プロセス技術グループ	2022年7月25日 ～2023年3月31日
8	東京都立大学 システムデザイン研究科	1	機械技術グループ	2022年9月6日 ～2023年3月31日
9	東京都市大学 総合理工学研究科	1	プロセス技術グループ	2022年9月9日 ～2023年3月31日
10	宇都宮大学 工学部	1	プロセス技術グループ	2022年12月16日 ～2023年3月31日
11	宇都宮大学 地域創生科学研究科	3	プロセス技術グループ	2022年12月16日 ～2023年3月31日

7. 情報発信の推進

7.1 イベント開催

研究・技術開発により得られた成果および企業と共同で行った製品化の結果などを、広く中小企業や都民に紹介するために、研究発表会や施設公開などを開催した。

7.1.1 TIRIクロスミーティング

都産技研の技術シーズや研究成果を発信する「TIRIクロスミーティング」を10月～11月に開催した。2022年度はリアルとオンラインのハイブリッド形式で実施し、産業交流展2022内に特設ブースを設け10月19日～10月21日の3日間のリアル開催とライブ配信を行うとともに、10月26日～11月11日までオンデマンド配信を行った。

都産技研が単独で実施した研究テーマだけでなく、企業や他機関と実施した共同研究成果研究や連携機関を含む、計62テーマの口頭発表、リアル開催でのパネルディスカッション1件、オンデマンド配信では基調講演1件を実施した。リアル開催では来場者数310名、ライブ配信が308名、オンデマンド配信の登録者数が487名の計1,105名が参加した。

・パネルディスカッション

リアル開催・ライブ配信 10月19日

「製造DX -AIやIoTの活用について改めて考える-」

《パネリスト》

・東京都立産業技術大学院大学 学長 橋本洋志 氏

・株式会社名取製作所 代表取締役 名取秀幸 氏

・株式会社MAZIN 代表取締役 角屋貴則 氏

《モデレーター》

・東京都立産業技術研究センター

情報システム技術部 IoT技術グループ長 大原 衛

・基調講演

オンデマンド配信 10月26日～11月11日

2050年カーボンニュートラルの実現に向けた合成燃料の研究開発動向について講演

「脱炭素の切り札となるCO₂と水素で作る合成燃料」

成蹊大学 理工学部 教授 里川重夫 氏

・INNOVATION PARTNERSHIP AWARD

TIRIクロスミーティング2022会場内で2022年度の受賞者の表彰式を開催

7.1.2 産業交流展

産業交流展は、首都圏（東京都、埼玉県、千葉県、神奈川県）に事業所を有する中小企業などの優れた技術や製品を、分野を越えて一堂に展示する首都圏最大規模の見本市であり、国内外への販路開拓による受発注の拡大、情報収集・交換などを促進することを目的とする展示会である。都産技研は実行委員会の一員として企画運営に参画するとともに、出展を行った。

開催期間：オンライン開催 10月12日～11月4日
リアル開催 10月19日～10月21日

主催：産業交流展2022実行委員会

出展内容：

<首都圏テクノネットワークゾーン>

TIRIクロスミーティング2022の併催。都産技研の事業および研究・支援事例の紹介、製品開発支援ラボ入居企業3社出展、TKF、つくば市ほか連携機関の出展

<次世代ロボットゾーン>

中小企業の5G・IoT・ロボット普及促進事業や中小企業との共同研究などで開発したロボット技術の紹介

7.2 展示会出展

研究開発・技術開発の成果および企業と共同して行った製品化事例などを、広く中小企業や都民に紹介するため、都産技研は展示会や講演会などを主催するとともに、外部の展示会にも出展した。パネル展示、試作品、デモ実演、模型などを活用し、技術移転を推進した。加えて、依頼試験や機器利用などの事業紹介を行い、都産技研の認知度向上および利用拡大に努めた。

(1) 東京都・区市関連

No.	展示会名	主催	開催月日	場所
1	春の食フェスティバル2022 「Tokyo Tokyo Delicious Museum」	東京都	5月20日～22日	シンボルプロムナード公園・TFTホール500（江東区）
2	ものづくり・匠の技の祭典2022	東京都	8月5日～7日	東京国際フォーラム
3	第12回おおた研究・開発フェア	大田区、(公財)大田区産業振興協会	10月20日～21日	コンgresクエア羽田他
4	第25回いたばし産業見本市	(公財)板橋区産業振興公社、板橋区、いたばし産業見本市実行委員会	11月11日～12日	植村記念加賀スポーツセンター
5	第24回産業ときめきフェア in EDOGAWA	産業ときめきフェア実行委員会事務局・江戸川区	11月18日～19日	タワーホール船堀
6	第4回女性首長によるびじょんネットワーク	女性首長によるビジョンネットワーク実行委員会	11月20日	オンライン

(2) 民間団体その他

No.	展示会名	主催	開催月日	場所
1	名古屋ものづくりワールド2022	RX Japan株式会社	4月13日～15日	ポートメッセなごや
2	第29回燃料電池シンポジウム	(一社)燃料電池開発情報センター	5月26日～27日	タワーホール船堀
3	画像センシング展2022	アドコム・メディア(株)	6月8日～10日	パシフィコ横浜
4	INTERMEASURE 2022 - 第30回計量計測展	(一社)日本計量機器工業連合会	9月14日～16日	東京ビッグサイト
5	羽田スマートシティ EXPO 2022秋	羽田みらい開発(株)	9月16日～19日	羽田イノベーションシティ
6	第49回 国際福祉機器展 H.C.R 2022	全国社会福祉協議会 保健福祉広報協会	10月5日～7日	東京ビッグサイト
7	食品開発展2022	インフォーマ マーケッツ ジャパン(株)	10月12日～14日	東京ビッグサイト
8	JapanRobotWeek 2022	(一社)日本ロボット工業会、(株)日刊工業新聞社	10月19日～22日	東京ビッグサイト
9	CEATEC2022	(一社)電子情報技術産業協会 (JEITA)	10月19日～22日	幕張メッセ
10	アグリビジネス創出フェア2022	農林水産省	10月26日～28日	東京ビッグサイト
11	JIMTOF2022・第31回日本国際工作機械見本市	(一社)日本工作機械工業会、株式会社 東京ビッグサイト	11月8日～13日	東京ビッグサイト
12	トライボロジー会議2022 秋 福井	(一社)日本トライボロジー学会	11月9日～11日	フェニックス・プラザ
13	マイクロウェーブ展2022	電子情報通信学会	11月30日～12月2日	パシフィコ横浜
14	エコプロ【第24回】	(一社)サステナブル経営推進機構、日本経済新聞社	12月7日～9日	東京ビッグサイト
15	第14回 [国際] カーエレクトロニクス技術展 (カーエレJAPAN)	RX Japan株式会社	1月19日～21日	東京ビッグサイト
16	第6回 ロボデックス-ロボット開発・活用展	RX Japan株式会社	1月19日～21日	東京ビッグサイト
17	SURTECH 2023 - 表面技術要素展	(株)日刊工業新聞社	2月1日～3日	東京ビッグサイト
18	TCT Japan 2023 -3Dプリンティング & AM技術の総合展	株式会社JTBコミュニケーションデザイン Rapid News Publications Ltd.	2月1日～3日	東京ビッグサイト

7.3 刊行物

都産技研で発行する刊行物は、技術移転、成果の普及など情報発信の機能を果たし、中小企業などへの技術情報の提供に貢献している。研究発表の要旨を記載した「技術シーズ集」などの刊行物や研究事業の普及に向けた各種冊子およびリーフレットを発行した。

7.3.1 冊子

2022年度に発行した冊子は以下のとおりである。

登録番号	タイトル	発行年月	部数（増刷含む）
都産技2022-1	事業案内	2022年4月	1,000
都産技2022-2	2021年アウトカム評価報告書	2022年4月	200
都産技2022-3	城南支所活用事例集【改訂】	2022年7月	1,000
都産技2022-4	DX推進センター ロボット試験設備 ご利用案内【改訂第5版】	2022年5月	100
都産技2022-5	多摩テクノプラザ事業案内	2022年7月	1,000
都産技2022-6	墨田支所事業案内	2022年10月	500
都産技2022-7	東京都異業種交流グループ 交流カルテ2022年度グループ	2023年2月	50
都産技2022-8	2021年度技術シーズ集	2022年10月	200
都産技2022-9	2022年度技術シーズ集	2022年10月	700
都産技2022-10	ヘルスケア分野の技術支援サービス ハンドブック【第13版】	2022年12月	1,500
都産技2022-11	多摩テクノプラザ事業案内	2022年12月	1,000
都産技2022-12	採用パンフレット	2022年12月	4,300
都産技2022-13	東京都異業種交流グループ 活動報告&会員名簿	2023年2月	380
都産技2022-14	CEマーキング応用シリーズその1医療機器規則(MDR)	2023年3月	ウェブサイト発行
都産技2022-15	CEマーキング応用シリーズその2体外診断用医療機器規則(IVDR)	2023年3月	ウェブサイト発行
都産技2022-16	2022年度都産技研活用事例集	2023年3月	ウェブサイト発行
都産技2022-17	CEマーキング入門シリーズその3-1低電圧指令(概要編)	2023年3月	ウェブサイト発行
都産技2022-18	CEマーキング入門シリーズその4 RoHS 指令	2023年3月	ウェブサイト発行
都産技2022-19	CEマーキング応用シリーズ玩具安全指令	2023年3月	ウェブサイト発行
都産技2022-20	年報	2023年3月	300
都産技2022-21	CEマーキング入門シリーズその1EU指令	2023年3月	ウェブサイト発行

7.3.2 TIRI NEWS

「TIRI NEWS」は、都産技研が保有する技術シーズや幅広い支援事業の発信を目的に発行する技術情報誌である。2021年度より、「TIRI NEWS」を毎月1、15日の月2回（3月、10月を除く）、都産技研の最新の技術情報をウェブニュース形式で配信している。また、ウェブ配信人気記事や研究成果、都産技研保有特許の紹介を行い、年間を通して技術紹介を行う冊子版TIRI NEWSを10月、3月の年2回発行した（各号3,500部、710件を発送）

7.4 都産技研ウェブサイト

都産技研は、事業・成果を広く紹介するために、ウェブサイトによる情報発信を行っている。随時内容を更新して効果的な情報提供と使いやすさの向上に努めた。コンテンツマネジメントシステムの活用により、コンテンツの迅速な更新を行うとともに、アクセシビリティに配慮したページ作成を実施している。ウェブサイトの2022年度の総アクセス件数は2,159千件、アクセスユーザー数は463千件だった。

また、2022年度は、新型コロナウイルス対策による見学対応の代替として、利用者のパソコンやスマートフォンから都産技研内の施設や設備を見学できる「バーチャル見学ページ」を都産技研ウェブサイト内に新設し、360°パノラマ画像や設備紹介動画などによる施設の内部を遠隔地から確認できるしくみを構築した。

7.5 都産技研メールニュース

都産技研メールニュースを週1回程度配信し、技術セミナー・講習会の募集や刊行物の紹介、各種イベント開催案内、連携機関からのお知らせなど、最新の技術支援情報を提供している。

登録者数：約10,500件 ※2023年3月31日時点

発行回数：51回

7.6 マスコミ報道

2022年度の各種マスコミ報道は以下のとおりである。

(1) プレス発表

No.	発表日	発表内容
1	4月1日	東京都立産業技術研究センター新理事長就任の挨拶
2	4月1日	東京都立産業技術研究センター新理事の就任について
3	4月7日	中小企業の5G・IoT・ロボット普及促進事業 中小企業と共創したサービスロボット8種類を「羽田イノベーションシティ」で展示・実演
4	6月8日	ガン患者の苦痛を和らげる全く新しいステント（管状医療器具）開発に成功
5	6月8日	障害者の自立や社会参加を支援する用具の開発に向け共同研究テーマを募集します！
6	6月16日	ローカル5G・次世代通信技術を活用した共同研究テーマを募集します
7	7月19日	メカノクロミック分子を用いた高分解能・可逆な機械的圧力測定フィルムの開発 -メカノクロミズムの薄膜での定量的な研究-
8	8月9日	車載電子機器や小型モビリティ分野への参入を検討される方へ「モビリティ産業参入促進セミナー」を開催します！ - ZEVの普及を支える車載機器や小型モビリティ製品化などへの技術支援が始動-
9	9月9日	都産技研などの開発した60の技術シーズが勢ぞろい!! TIRIクロスミーティング2022 産業交流展と同時開催
10	9月27日	東京2020大会のレガシーを子ども用車いすに！障害者が使いやすい高性能な用具の共同研究を開始します
11	10月4日	雨の日も夜も働きます！日本初・屋外警備ロボットの実証実験を開始 - GREEN SPRINGS（東京・立川市）にて-
12	10月11日	令和4年度ものづくりベンチャー育成事業 事業コーディネーターが決定！ - アイデアのあるものづくりベンチャー支援実施-

2022年度 年報

No.	発表日	発表内容
13	10月13日	中小企業の5G・IoT・ロボット普及促進事業 公募型共同研究 採択テーマ決定
14	10月17日	2023年度 ローカル5G・次世代通信技術を活用した 共同研究テーマを募集します
15	10月17日	道路の空洞探査をDX化 熟練の解析作業をAIにより大幅に効率化
16	10月25日	令和4年度ものづくりベンチャー育成事業「Tokyo ものづくり Movement」始動 - 都内ものづくり中小企業からアイデアを募集-
17	11月9日	圧力感知材料のインクジェット印刷技術を開発 - 長年の課題だったメカノクロミック材料の加工方法を発見-
18	12月5日	「IoTを用いた屋外広告物の劣化状態を常時遠隔監視するサービス」MCPC award 2022 サービス&ソリューション部門「最優秀賞」を受賞!!
19	1月31日	東京都城東地域中小企業振興センターの改修工事に伴う休館のお知らせ
20	2月6日	[東京イノベーション発信交流会2023] 来場受付中 マッチングで中小企業を元気にするイベント!!
21	2月28日	TokyoものづくりMovement 未来のものづくりベンチャー発掘コンテスト開催! - ファイナリストがビジネスプランを発表。支援対象者を決定します!
22	3月1日	下着についた尿の「におい」はアンモニア臭ではない!? 尿のにおいの調合に成功! 試薬の開発で再現性の高い安定した消臭試験方法を確立
23	3月31日	中小企業の5G・IoT・ロボット普及促進事業 公募型共同研究 採択テーマ決定

(2) テレビ・ラジオ報道

月別のテレビ・ラジオ報道件数は以下のとおりである。

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
テレビ・ラジオ報道件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	0	1
新聞報道	6	4	6	8	6	6	5	3	0	4	0	0	48
雑誌報道	0	3	0	0	1	1	0	1	1	0	1	0	9
ウェブ報道	74	50	126	125	3	132	142	64	78	44	2	111	951

7.7 図書室

試験、研究、相談などの事業実施において、技術資料の収集・活用は不可欠である。都産技研では、国内外の専門誌・図書・技術文献などを購入するとともに、2～3ヶ月に1回程度企画展示を行い、蔵書の充実を図っている。2022年度は企画展示以外に設立100周年関連の資料を常設展示とした。

また、本部図書室を公開することで、都内中小企業などでの調査研究活動に活用されている。外部利用者数は、延べ199名であった。

図書システムで登録・管理している蔵書数は次のとおりである。

2022年度図書管理数

蔵書種類	本部（城東・城南を含む）	多摩テクノプラザ	墨田支所	食品技術センター
和書（冊）	19,285	3,560	2,872	3,228
洋書（冊）	5,038	78	122	859
和文雑誌（種）	523	85	86	35
欧文雑誌（種）	42	14	10	14

ほかに、欧文雑誌電子ジャーナル版新規タイトル1誌を加え16誌を年間契約した。

企画展示図書の内容は以下のとおりである。

2022年度企画展示図書

月	テーマ
4月	戦略としてのブランディング
6月	東京都立産業技術研究センター【関連施設等刊行資料案内】
7月	食品産業：開発への理解のために
8月	
9月	《競争力を高める変革》 2021年版中小企業白書小規模白書から
10月	
11月	SDGs（エスディージーズ）：企業価値を高める取組み 2021年版中小企業白書小規模白書から
12月	
1月	《再生エネルギーを考える》
2月	
3月	

8. 業務運営

8.1 組織運営

社会経済情勢や中小企業のニーズの変化などに的確に対応できる機動性の高い執行体制を確保するため、地方独立行政法人のメリットを活かし、柔軟かつ迅速に組織体制の検証を行い、組織体制の構築および運営を行った。

8.1.1 組織体制および運営

(1) 事業動向などを踏まえ組織体制の検証などを不断に実施し、各事業の効率的な執行体制確保に取り組んだ。

1) 研究開発本部と技術支援本部の設置

研究開発本部（物理応用技術部、物質化学材料技術部、情報システム技術部より構成）と技術支援本部（技術支援部・地域技術支援部（城東・墨田・城南の3支所、食品技術センター）・多摩テクノプラザより構成）の設置を一部名称変更とともに実施

2) 技術支援本部技術支援部に技術振興室を新設

相談支援係・技術セミナー係・製品開発支援ラボ係・輸出製品技術支援センターより構成される技術振興室を新設

3) 企画部に連携企画室を新設

産業交流係と、技術評価係（技術審査を担当）より構成される連携企画室を新設

4) 総務部環境安全管理室に安全係を新設

5) 一部組織の名称変更と廃止などを実施

6) 中小企業振興公社との人事交流

2019年度に開始した人事交流を、双方の組織の活性化と人材の育成を目的に継続

(2) 都産技研の人事上の課題を検討するための、人事検討委員会を新たに設置した。人事検討委員会で検討を行い、複線型人事制度を構築した。

1) 研究職の専門性に着目した任用ルートを整備し、研究職における複線型の人事制度を構築

2) 適材適所の任用管理をより柔軟に実施するため、同一職級間はマネジメント型と研究型を転任（異動）可能とするとともに、部長級昇任選考の申込制を廃止（被選考資格は4級在職5年以上で得る）

3) 職名と職層名を整理し、マネジメント型および研究型の管理職の職務内容を明確化

4) 部全体の研究開発などを補佐するため必要に応じて部を統括する課長級の職を設置

(3) デジタル化推進委員会やリスクマネジメント活動など、既存組織体制にとらわれないプロジェクトチームを設置した。

1) デジタル化推進委員会の設立と活動開始

都産技研のデジタル化推進に関する共通認識の醸成と、各部の取り組みの共有・意見交換を目的にデジタル化推進委員会を11月に設立、30項目の計画を選定し活動を開始

2) リスクマネジメント活動

「お客様の安全」、「スタンドアローン端末のセキュリティ管理」の2テーマを選定し、複数の組織が連携したリスクマネジメント活動を推進

3) 協創的研究開発の継続

都産技研内の組織の垣根を乗り越え、複数の組織を横断したチームを構成し、統合的に課題を解決する協創的研究開発を推進

8.1.2 人材育成

職員の能力開発を促進するため、各種職員研修を実施した。

- (1) 新任研修：新規採用および転入職員に対する事業説明など（受講者57名）
- (2) 職層別研修：職層ごとに必要な知識の習得や実務研修など（受講者 延べ77名）
- (3) 専門研修：職務上必要な専門知識の習得（計13件）
- (4) 一般派遣研修：外部機関における研修（受講者 延べ218名）

8.2 施設整備

都内中小企業の技術向上とその成果の普及を図るため、事業実施に必要な施設整備を行った。本部においては、各種施設整備を実施した。また、2021年度から「本部長期修繕計画」に基づき、設備改修工事を実施している。

8.2.1 本部・DX推進センター

施設整備・修繕工事 合計37件

1	1C23電源改修工事	20	3N07室ほかC A V修繕作業委託
2	特高電気室スポットネットワーク監視盤P L C更新作業※2023年に繰越	21	電話設備保守用電話機ほか用品の購入
3	3E05室特殊ガス減圧供給設備設置工事	22	1E04チラー用電源増設工事
4	大型消火器交換	23	環境試験室(2E04)配管修繕
5	4S05室ポンプスタンド設置工事	24	熱源受入設備室 温水用バイパス弁交換修繕
6	風除室自動ドア鍵2か所修繕	25	屋上MSC-E01ほか排気除外設備修繕作業委託
7	バリアフリー及び非接触化対策工事※2023年に繰越	26	食品技術センター電子顕微鏡室ほか特殊ガス配管改修工事
8	シリンダーキャビネット供給ボタンLEDおよび4E02室スクラパーバルブ交換作業委託	27	4階個室ブース用LAN配線作業委託
9	音響関連室内自動搬送装置ほか機器保守点検委託	28	設備機器耐震対策作業委託
10	1S02室鋼製FIX窓ガラス部交換作業委託	29	AC-1-1(2)ほか空調機類修繕作業委託
11	ゴンドラ設備ワイヤーロープ交換作業委託	30	本部ほか2箇所防火対象物定期点検・防災管理点検業務委託
12	上水受水槽緊急遮断弁更新工事	31	エネルギー管理システムUPS交換業務委託
13	執務室ブラインド購入	32	監視カメラシステム映像表示制御PCなど交換業務委託
14	屋外南面木製ルーバー点検作業委託	33	宅地内洞道湧水ポンプ修繕作業委託
15	恒温恒湿室系ほか空調設備修繕	34	高所作業台点検委託
16	1N04高所作業車バッテリー交換	35	3E05電源設備工事
17	1C14-1室書棚移設及び転倒防止対策作業委託	36	2C11流し台撤去・実験用電源設置工事
18	電話交換機バッテリー交換	37	受水槽室再生水加圧給水ポンプ修繕作業委託
19	フリーアドレスオフィス配線整備工事		

8.2.2 城東支所 ※都が実施する大規模改修関係を除く

施設整備・修繕工事 合計10件

1	地下1階配管スペース冷温水配管漏水修繕	6	全熱交換器修繕
2	水道メーターの交換	7	傾木対処強剪定
3	1階ものづくりスタジオ流し等排水管修繕	8	地下1階設備要員控室冷温水配管漏水修繕
4	桜の木(駐車場側)支障枝の剪定	9	変圧器絶縁油交換工事
5	地下1階流し台ハンドルレバー交換修理	10	地下1階配管スペース冷温水配管漏水修繕

8.2.3 墨田支所

施設整備・修繕工事 合計1件

1	貯湯槽 ST-3-1(織工試系統)の修繕委託		
---	------------------------	--	--

8.2.4 城南支所

施設整備・修繕工事 合計11件

1	機器整備対応工事	7	空調機の修理委託
2	レーザー加工機用電源工事	8	空調室外機高圧水洗浄の業務委託
3	恒温恒湿槽移設に伴う付帯工事	9	空調機の修理委託
4	振動試験装置解体作業委託	10	廃水処理設備（pH指示調節計）の修繕
5	レーザー加工機転倒防止固定作業委託	11	廃水処理設備（制御盤）の修繕
6	空圧浄化機器製品配管施工工事委託		

8.2.5 食品技術センター

施設整備・修繕工事 合計2件

1	フードテック付帯工事	2	食品技術センター電子顕微鏡室ほか特殊ガス配管改修工事
---	------------	---	----------------------------

8.2.6 多摩テクノプラザ

施設整備・修繕工事 合計31件

1	B棟空調設備改修工事	17	電話交換機の不具合修繕
2	空調制御用インバーター交換作業	18	A棟屋上排ガス処理装置FU-8-2修繕作業
3	D棟機械室湧水ポンプ及び逆止弁交換作業	19	A棟1階女子トイレ便器修繕作業
4	敷地南側高木伐採作業	20	A棟屋上モジュールチラー不具合調整
5	A棟機械室CHP-1-A冷温水ポンプNo.2及びNo.3分解整備作業	21	A棟エントランス空調AHU-1-2-A加湿器蒸気ホース交換作業
6	A棟繊維物証試験室空調湿度指示調節計交換作業	22	A棟屋上モジュールチラー部品交換作業
7	A棟屋上空冷モジュールチラー四方弁修繕作業	23	空調GHP-1-C系統室外機圧縮機等交換作業
8	B棟屋上空調AHU-4-B冷温水配管温度計及び圧力計交換作業	24	自動制御機器（リモートユニット）バッテリー交換作業
9	A棟屋上空冷モジュールチラー四方弁コイル交換作業	25	B棟複合素材評価室空調加湿器修繕作業
10	空調GHP-1-D室外機部品交換等修繕作業	26	A棟環境試験室冷却塔補修作業
11	空調GAHU-2-D系統室外機修繕	27	B棟複合素材開発サイト蒸気配管破損部改修作業
12	空調GAHU室外機洗浄作業	28	B棟複合素材評価室空調加湿器部品交換作業
13	複合素材開発サイト南側高木剪定作業	29	入退室一元管理システム（サセモTR2）カードリーダー修繕作業
14	A棟恒温恒湿室系統空調用冷水一次ポンプ分解整備作業	30	B棟仕上げゾーン排水管バルブ設置工事
15	B棟複合素材開発サイト風除室外屋根漏水修繕	31	B棟染色ゾーン噴射式かせ糸染色機移設及び土間コンクリートはつり改修工事委託
16	A棟恒温恒湿室系統空調用冷水2次配管逆止弁交換作業		

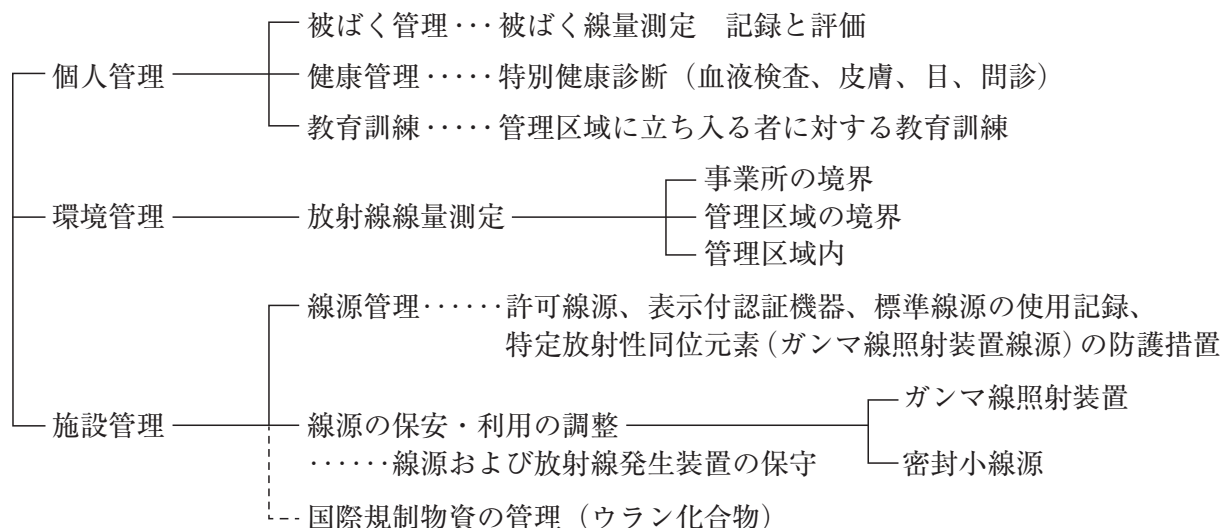
※城東支所、城南支所、多摩テクノプラザにおいては、東京都から建物管理業務を受託しており、施設整備は主に受託費を使用している。

8.3 安全衛生管理

8.3.1 放射線安全管理

放射性同位元素・放射線を取り扱う公設事業所として、職員の安全確保と社会的責任を果たすため、放射性同位元素などの規制に関する法律（RI規制法）関連法令の規定に基づき、個人管理、施設・線源管理、環境測定などの放射線管理を実施した。

(1) 本部放射線施設における放射線管理の概要



(2) 本部における放射線施設の概要

1) 使用許可 2011年1月17日付許可済み（許可証番号 使第5725号）

・放射線管理区域：第一非破壊検査室、第二非破壊検査室

・許可線源：4種（計6個） ※2023年3月現在

・ガンマ線照射装置（Cs-137:81.4 TBq 3個）

以下は、2023年3月現在未保有

・密封小線源（Co-60:370 MBq、Co-60:37 MBq、Cs-137:37 MBq 各1個）

2) 表示付認証機器

2011年10月27日届出

・ガンマ線標準照射線量線源（Co-60:10 MBq、Cs-137:10 MBq、Cf-252:3.7 MBq 各1個）

2016年9月20日届出

・ガスクロマトグラフ用線源（Ni-63:370 MBq 1個）

(3) 個人管理

1) 被ばく管理

① 放射線管理対象者

単位：人

対象	職員	外来者	合計
放射線業務従事者	31	0	31
一時立入者	10	330	340
合計	41	330	371

② 被ばく測定結果

放射線業務従事者、一時立入者とも、0.1ミリシーベルト未満であった。

【参考】法定被ばく限度

放射線業務従事者：50ミリシーベルト/年、100ミリシーベルト/5年
 一時立入者：1ミリシーベルト/年

2) 放射線健康診断

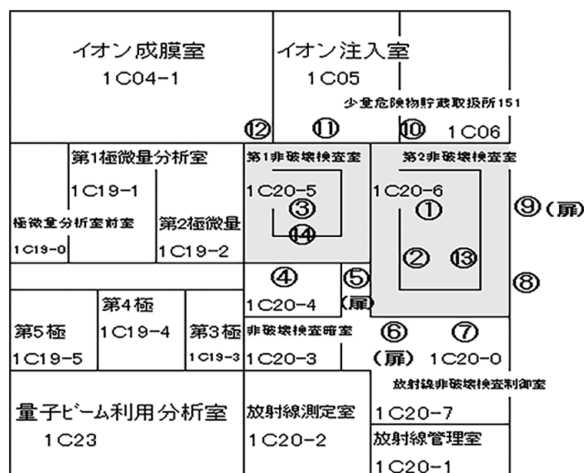
放射線業務従事者全員について、異常は認められなかった。

3) 教育訓練

- ① 初めて管理区域に立ち入る前の教育訓練・・・1名
 - ② 管理区域に立ち入った後の教育訓練（再教育）・・・26名
- 訓練内容
- ・放射線の基礎
 - ・放射線安全取り扱いに関する法律
 - ・放射線の人体影響
 - ・放射線安全取り扱いの実際

(4) 環境測定

毎月1回、ガンマ線照射装置稼働状態にて、管理区域内（図中①、②、③）、管理区域境界（④～⑭）、事業所境界（⑮）、事業所外のバックグラウンド（⑯）における1センチメートル線量当量率を測定した。測定結果は各月とも、測定点①～⑭では0.5マイクロシーベルト/h以下、⑮、⑯では0.1マイクロシーベルト/h以下と線量限度内であった。



- ①、③使用施設中央
- ② 貯蔵箱近辺
- ⑬上階(研修室243)右
- ⑭上階(研修室243)左
- ⑮(正面玄関前境界)
- ⑯BG(正面玄関前緑地内ヒバ)
- :放射線管理区域

【参考】 管理区域ほかにおける線量限度

- 1) 人が常時立ち入る場所（管理区域内）における線量限度：
実効線量で1ミリシーベルト/週（40 h） = 25マイクロシーベルト/h
- 2) 管理区域の境界における線量限度：
実効線量で1.3ミリシーベルト/3月（40 h × 13週） = 2.5マイクロシーベルト/h
- 3) 事業所の境界における線量限度：
実効線量で250マイクロシーベルト/3月 = 0.116マイクロシーベルト/h
- 4) 線源などの使用管理
 - 1) 線源などの搬入および搬出： 実績なし
 - 2) 線源など使用状況 単位：件

照射装置名	使用件数		
	研究等	依頼試験等	計
ガンマ線照射装置	5	84	89
表示付認証機器（ガンマ線源、中性子線源）	0	19	19
ガスクロマトグラフ用線源	0	0	0

(5) 安全点検

管理区域について以下の安全点検を実施し安全が確保されていることを確認した。

- 1) 線源など使用者による始業・終業時における日常点検
- 2) 線源の保管状況の点検
- 3) 放射線取扱主任者および安全管理責任者による施設・設備、線源の管理状況、法定帳簿の記帳・保管など、放射線管理全般についての点検（6ヶ月ごと）
- 4) 地震（震度5弱以上）直後の安全点検 ※2022年度該当なし

(6) 法令に基づく定期確認・定期検査（5年ごと）

公益財団法人原子力安全技術センターによる定期確認・定期検査を受検、合格した。（2021年5月27日）

8.3.2 安全衛生管理

(1) 安全衛生委員会

本部において、安全衛生に関する事項を調査審議するため、労働安全衛生関係法令に基づき、安全衛生委員会を開催した。

(2) 衛生委員会

多摩テクノプラザにおいて、衛生に関する事項を調査審議するため、労働安全衛生関係法令に基づき、衛生委員会を開催した。

(3) 安全衛生推進部会

安全衛生推進部会ごとに、職場の状況に応じた自主的な安全衛生活動を実施した。

＜安全衛生推進部会＞

- | | |
|----------------------|--------------|
| ① 内部・デジタル・企画・総務部会 | ⑤ 城東部会 |
| ② 物理応用技術部・機能化学材料技術部会 | ⑥ 墨田部会 |
| ③ 情報システム技術部会 | ⑦ 城南部会 |
| ④ 技術支援部会 | ⑧ 食品技術部会 |
| | ⑨ 多摩テクノプラザ部会 |

【構成員】

・ 部会長

①～④：各部の部長、室長、上席研究員、課長の中から1名選出

⑤～⑧：各支所長

⑨：多摩テクノプラザ 所長

・ 安全衛生推進員

①～④：各部内の室・グループ・課ごとに1名ずつ選出

⑤～⑧：各支所の管理係から1名、管理係以外から1～3名程度選出

⑨：総合支援課から1名、電子技術グループ、複合素材技術グループから1名ずつ選出

・ その他部会長が指名した者

【活動内容】

- ・ 月1回以上、安全衛生推進部会を開催
- ・ 災害ポテンシャルの摘出と排除を実施
- ・ 安全衛生上の課題検討と排除を実施

(4) 安全衛生手帳

安全衛生手帳を活用して安全に関する基本的な知識を習得し、日常業務の安全化に努めた。

(5) 法令などに基づく活動

労働安全衛生関係法令に基づき、健康診断、ストレスチェック、健康相談、保護具の適正配布、作業主任者らの適正配置、作業環境測定、施設整備などを実施した。

(6) 健康づくり活動

職員の健康促進のため、健康習慣のきっかけづくりを支援する「健康づくり活動」を2回実施した（6月1日～30日、10月1日～31日）。2022年度は全職員対象に「階段などの積極的な活用」を推奨し、職員の健康状態把握のきっかけづくりを支援した。

(7) メンタルヘルス

メンタルヘルスケアに係る管理職向け研修（ラインケア研修、オンライン）および全職員向けセルフケア研修（eラーニング）を行った。

(8) 安全な作業に関する研修

新規採用者向けに、実験室などで安全に業務に取り組むための基本的な研修を実施した。

8.3.3 化学物質等管理

(1) 化学物質などの管理

化学物質などについて、2008年度から薬品管理支援システム（IASO）にて管理を行っている。

化学物質などを取り扱う全ての部署に対して安全点検を行い、取り扱い方法や保管状況について確認した（10月6日から11月29日まで）。

年2回、薬品廃棄を行うとともに、3月には在庫管理のための薬品棚卸しを実施した。

(2) 化学物質などのリスクアセスメント

労働安全衛生法に基づき、リスクアセスメント対象物質（674物質）を取り扱う作業に際しては、事前にリスクアセスメントを実施した（既実施総件数2,416件）。

2022年度リスクアセスメント実施件数：143件

(3) 取扱者向け研修

化学物質など取扱者研修「化学物質のリスクアセスメントおよび薬品類の取り扱い方法」について、対面および動画視聴形式にて実施した（10月4日から12月28日まで）。

8.4 社会的責任

8.4.1 リスクマネジメント

第四期中期計画（2021年度～2025年度）に基づき、リスクマネジメント活動を実施している。

2022年度は、「お客様の安全」、「スタンドアローン端末のセキュリティ管理」の2テーマを選定し、複数の組織が連携してリスクマネジメント活動を推進した。

8.4.2 内部統制

(1) 内部統制等推進体制

「内部統制・コンプライアンス推進規程」を運用し、理事長を内部統制など最高責任者とする推進体制としている。

(2) コンプライアンス委員会の運営

内部統制等最高責任者である理事長直轄のコンプライアンス委員会を設置し、所内における内部統制・コンプライアンスに関する取り組みを総括している。

委員会は、年度内に4回開催した。

8.4.3 情報開示

「東京都情報公開条例」（第二条）、「東京都個人情報の保護に関する条例」（第二条）に基づき、「地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターが行う情報公開事務に関する要綱」および「地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター保有個人情報開示・訂正・利用停止事務取扱要綱」などを制定・施行している。

2022年度は、情報公開請求4件であった。

（本年報は、2022年度 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター 業務実績等報告書の内容に基づいて記載している）

資 料

1 沿革

1921年10月	府立東京商工奨励館（東京都立工業奨励館の前身）設立
1924年 8月	東京市電気研究所（東京都電気研究所の前身）設立
1927年 3月	東京府立染織試験場（東京都立繊維工業試験場の前身）設立
1959年 7月	東京都立アイソトープ総合研究所設立
1970年12月	東京都立工業奨励館と東京都電気研究所を統合し、 東京都立工業技術センター設立
1990年 7月	東京都立食品技術センター発足
1991年 7月	城東地域中小企業振興センター発足
1996年 2月	城南地域中小企業振興センター発足
1997年 4月	東京都立工業技術センターと東京都立アイソトープ総合研究所を統合し、 東京都立産業技術研究所として発足
2000年 4月	東京都立産業技術研究所に東京都立繊維工業試験場を統合
2002年 4月	多摩中小企業振興センター発足
2006年 4月	城東地域中小企業振興センター、城南地域中小企業振興センター、多摩中 小企業振興センターの技術支援部門を統合し、 地方独立行政法人東京都立産業技術研究センターとして発足
2010年 2月	多摩テクノプラザ開設 多摩支所および八王子支所閉鎖
2011年 3月	駒沢支所閉鎖
2011年 9月	西が丘本部閉鎖
2011年10月	本部を江東区青海に移転
2015年 4月	バンコク支所開設
2021年 4月	東京都立食品技術センターと統合
2021年10月	設立100周年を迎える

2 施設

(1) 本部 2011年10月3日業務開始

所在地：東京都江東区青海二丁目4番10号

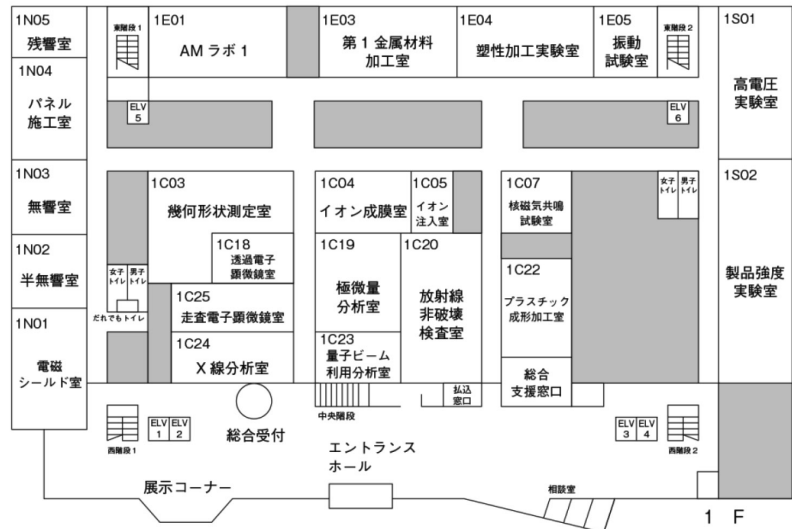
敷地面積：14,519.35㎡

建築面積：8,573.38㎡

延床面積：33,129.80㎡（本体建屋：33,032.30㎡、付属建屋：97.50㎡）

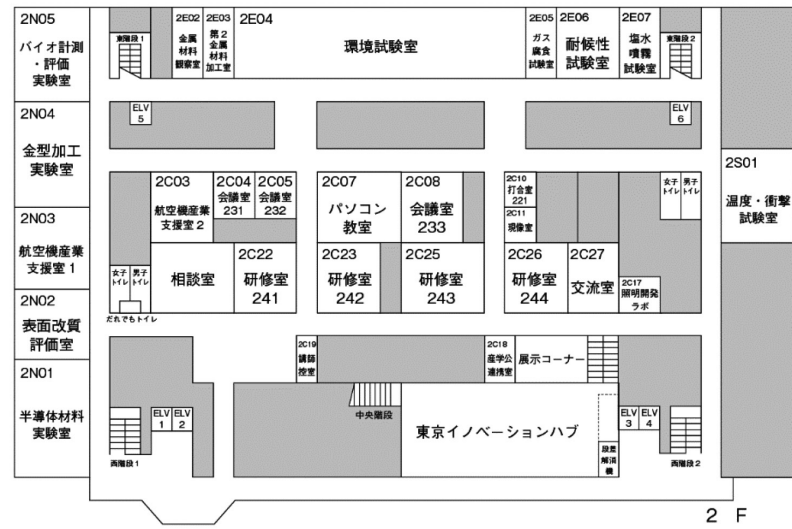
1階

総合受付
総合支援窓口
払込窓口
コーディネーター室
相談室
AM (3Dプリンター) ラボ1



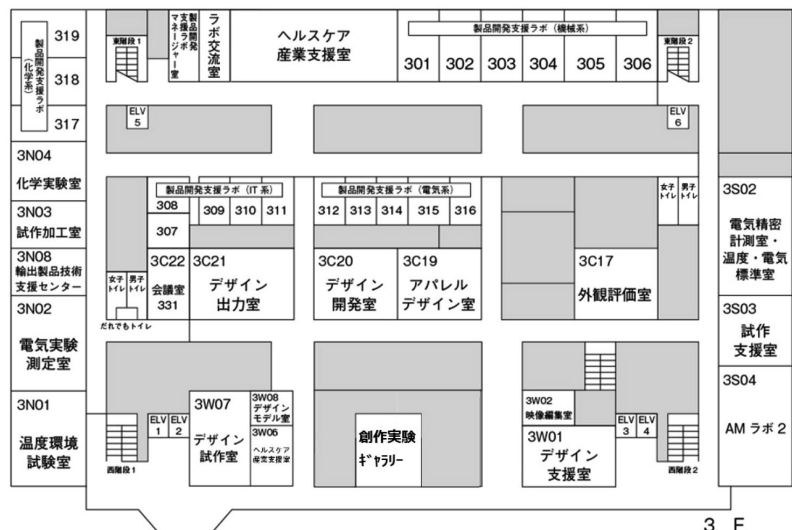
2階

東京イノベーションハブ
研修室・会議室
航空機産業支援室

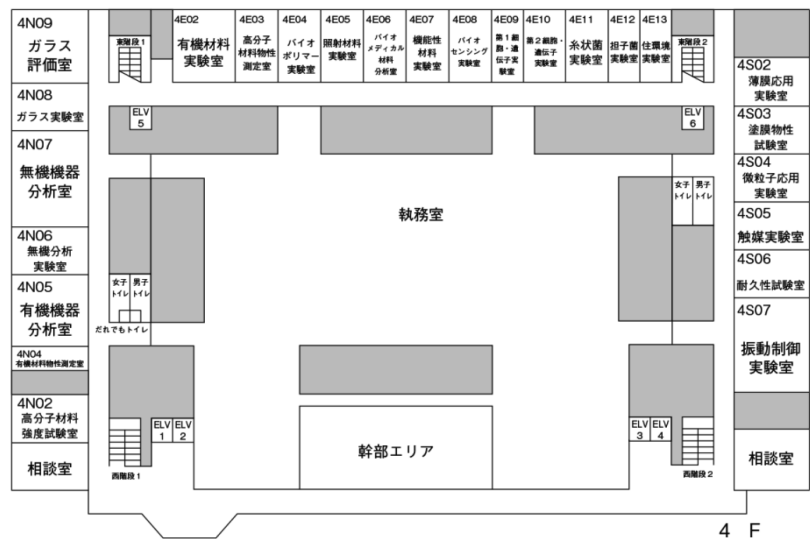


3階

創作実験ギャラリー
製品開発支援ラボ
共同研究開発室
輸出製品技術支援センター
AM (3Dプリンター) ラボ2
ヘルスケア産業支援室

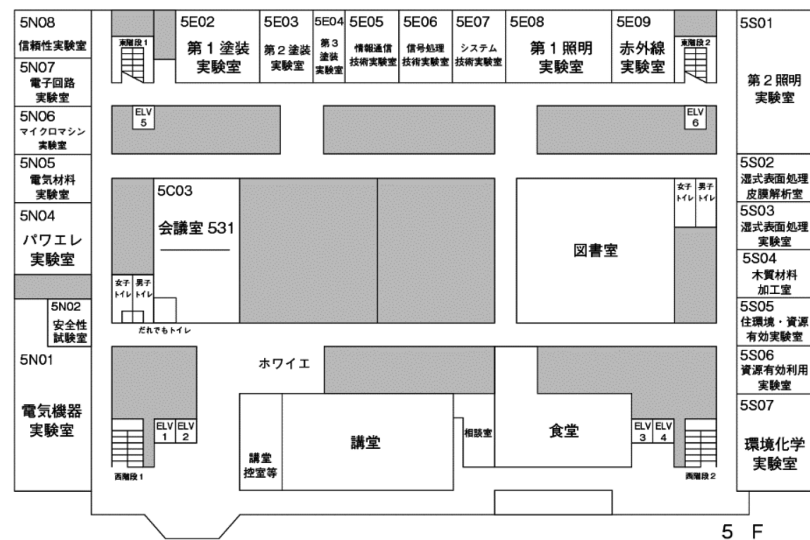


4階
執務室
相談室



4 F

5階
講堂
図書室
会議室
相談室
食堂



5 F

○本部建物内訳

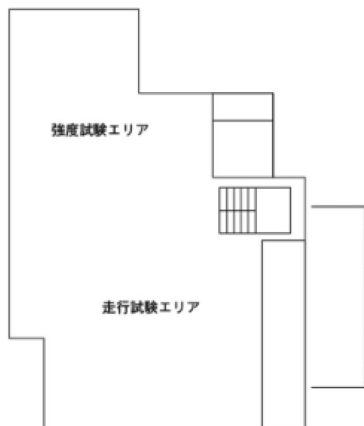
名称	建物		内容
	構造	面積	
塔屋	鉄骨鉄筋コンクリート造 (一部、鉄骨造)	121.95㎡	機械室など
5階		6,397.80㎡	講堂、図書室、会議室、食堂など
4階		6,719.04㎡	執務室など
3階		6,352.55㎡	製品開発支援ラボ、AMラボ2など
2階		6,170.43㎡	東京イノベーションハブ、 環境試験室など
1階		7,081.91㎡	総合支援窓口、AMラボ1など
地階		188.62㎡	一般廃棄物処理施設など
付属建屋	鉄筋コンクリート造	97.50㎡	車庫および廃棄物倉庫
	面積計	33,129.80㎡	

<DX推進センター>

所在地：東京都江東区青海二丁目5番10号（テレコムセンタービル内）

使用面積：3288.71㎡（延床面積158,050.18㎡）

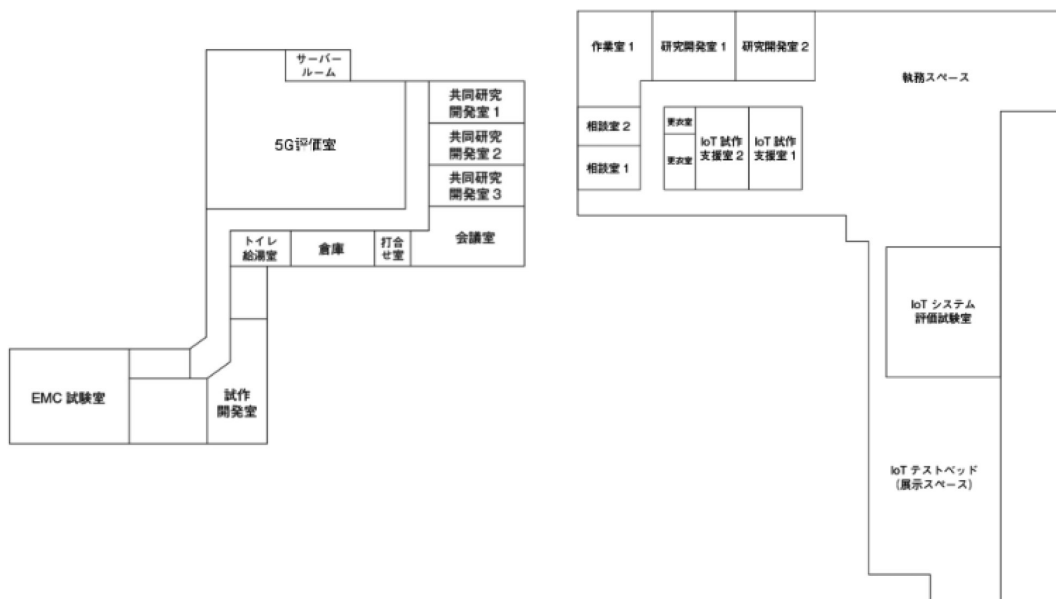
1階



2階



3階



○DX推進センター建物内訳

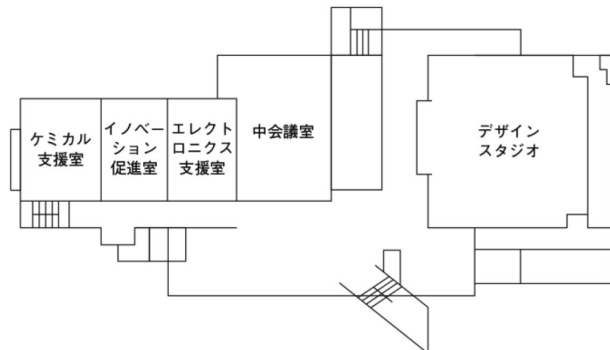
名称	建物		内容
	構造	面積	
3階	鉄筋コンクリート造	1,587.7㎡	5G評価室、EMC試験室、IoTテストベッド（展示スペース）、共同研究開発室
2階	鉄筋コンクリート造	773.35㎡	疑似実証実験スペース、多目的研修室
1階	鉄筋コンクリート造	927.66㎡	走行試験エリア、強度試験エリア
	面積計	3,288.71㎡	

(2) 城東支所

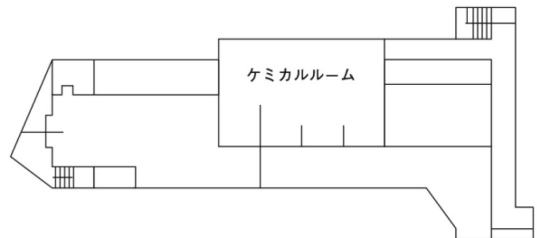
所在地：東京都葛飾区青戸七丁目2番5号（城東地域中小企業振興センター内）

使用面積：1,564.82㎡（延床面積4,402.90㎡）

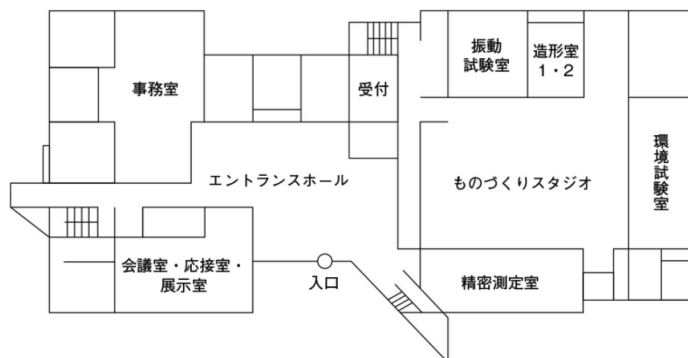
2階



地階



1階



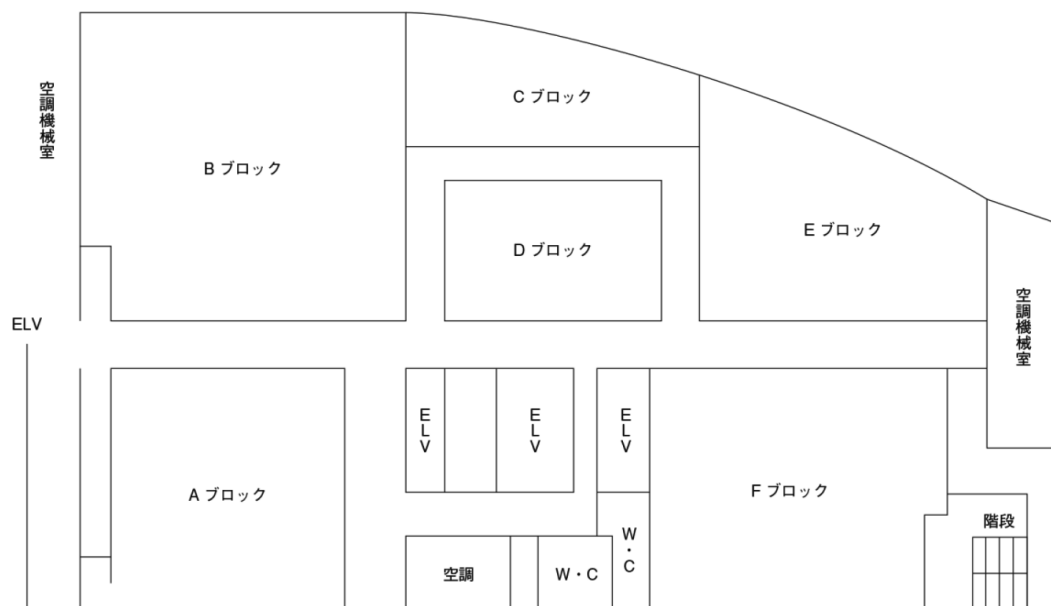
○城東支所建物内訳

名称	建物		内容
	構造	面積	
2階	鉄筋コンクリート造	654.02㎡	デザインスタジオ、中会議室、エレクトロニクス支援室、イノベーション促進室、ケミカル支援室
1階	鉄筋コンクリート造	728.80㎡	事務室、会議室・応接室、ものづくりスタジオ、振動試験室、精密測定室、環境試験室
地階	鉄筋コンクリート造	182.00㎡	ケミカルルーム
	面積計	1,564.82㎡	

(3) 墨田支所

所在地：東京都墨田区横網一丁目6番1号（国際ファッションセンタービル12階）

使用面積：1,920.02㎡（延床面積47,565.60㎡）



○墨田支所建物内訳

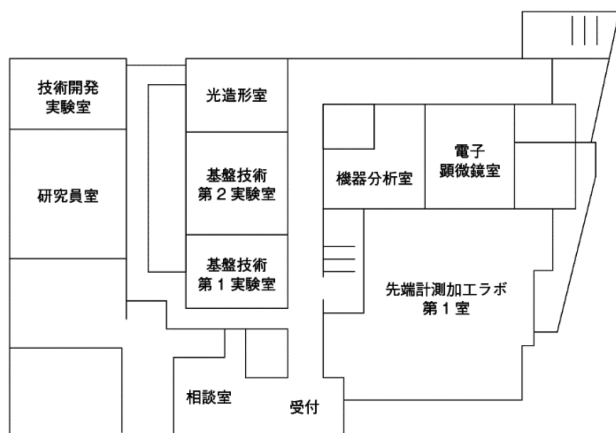
名称	建物		内容
	構造	面積	
Aブロック	鉄骨造	296.46㎡	総合受付、相談コーナー、図書室、応接室、会議室、セミナー室
Bブロック	鉄骨造	417.65㎡	生活空間計測スタジオ、生活製品開発ラボ、染色加工試験室、品質評価試験室、安全技術評価室、耐光性試験室、薬品庫
Cブロック	鉄骨造	118.62㎡	高度観察システム室、生活科学試験室
Dブロック	鉄骨造	123.00㎡	恒温恒湿室、デザイン室
Eブロック	鉄骨造	218.31㎡	被服科学試験室、生活環境試験室、日射フィールド試験室
Fブロック	鉄骨造	310.49㎡	執務室、生活動作計測スタジオ
その他		435.49㎡	通路、空調機械室など
	面積計	1,920.02㎡	

(4) 城南支所

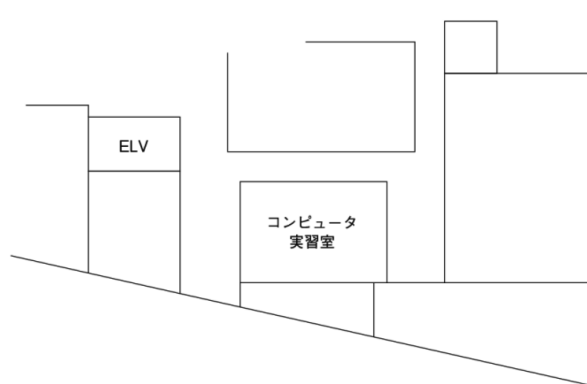
所在地：東京都大田区南蒲田一丁目20番20号（城南地域中小企業振興センター内）

使用面積：2,668.52㎡（延床面積8,054.61㎡）

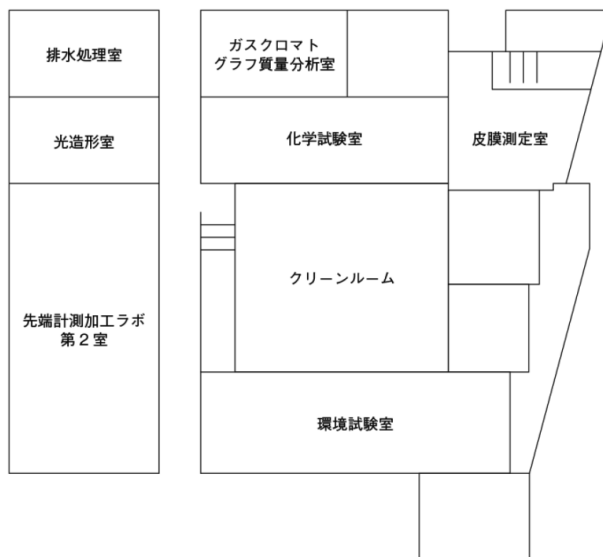
1階



2階



地階



○城南支所建物内訳

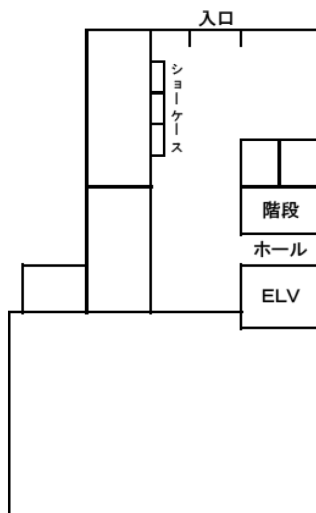
名称	建物		内容
	構造	面積	
3階	鉄筋コンクリート造	246.94㎡	事務室など
2階	鉄筋コンクリート造	108.24㎡	コンピュータ実習室
1階	鉄筋コンクリート造	1,292.68㎡	受付、先端計測加工ラボ第1室、電子顕微鏡室、機器分析室、光造形室、各種実験室、研究員室
地階	鉄筋コンクリート造	1,020.66㎡	ガスクロマトグラフ質量分析室、化学試験室、皮膜測定室、クリーンルーム、環境試験室
	面積計	2,668.52㎡	

(5) 食品技術センター

所在地：東京都千代田区神田佐久間町一丁目9番（東京都産業労働局秋葉原庁舎内）

使用面積：1,976.47㎡（延床面積（全館）7,473.14㎡）

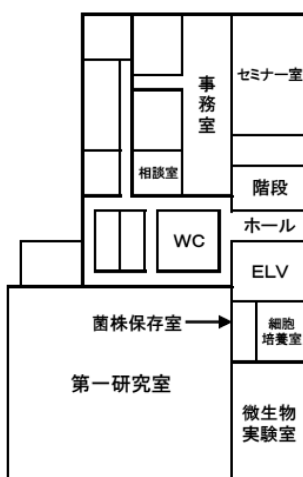
1階



6階



7階



8階



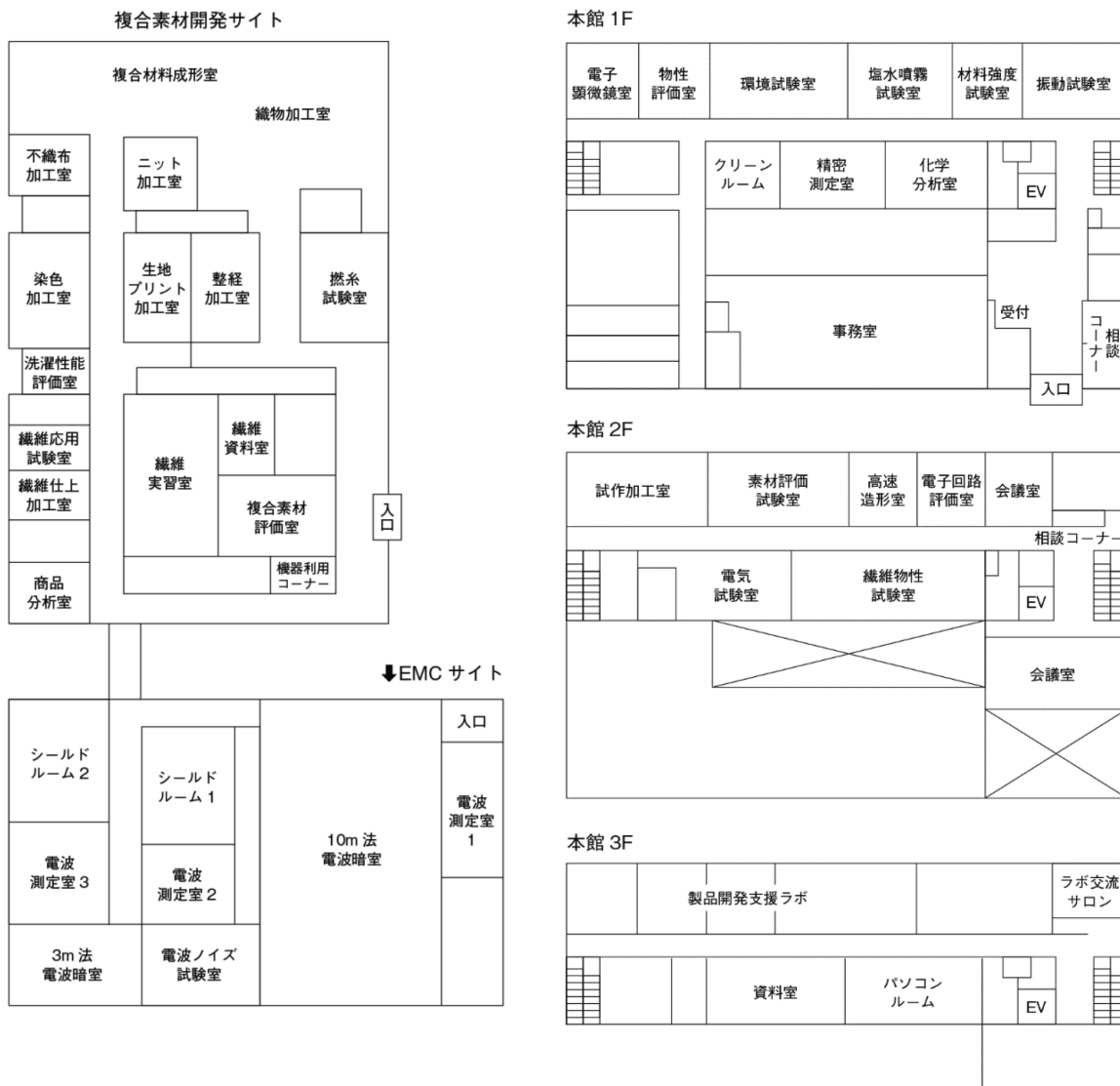
○食品技術センター建物内訳

名称	建物		内容
	構造	面積	
屋上	鉄骨鉄筋コンクリート造	60.23㎡	設備
8階	鉄骨鉄筋コンクリート造	633.62㎡	第二研究室、クロマト分析室、有機溶媒実験室、粉体実験室、品質特性解析室、機器分析室、研究員室
7階	鉄骨鉄筋コンクリート造	625.68㎡	第一研究室、微生物実験室、細胞培養室、菌株保存室、事務室、セミナー室、相談室
6階	鉄骨鉄筋コンクリート造	649.25㎡	加工実験室、低温加工実験室、冷凍冷蔵庫、調理実験室、開放試験室、交流室、図書室
1階	鉄骨鉄筋コンクリート造	3.24㎡	ショーケース
地下2階	鉄骨鉄筋コンクリート造	4.45㎡	設備
	面積計	1,976.47㎡	

(6) 多摩テクノプラザ

所在地：東京都昭島市東町三丁目6番1号（産業サポートスクエア・TAMA内）

使用面積：6,120.10㎡（産業サポートスクエア・TAMA延床面積9,258.64㎡）



○多摩テクノプラザ建物内訳

名称	建物		内容
	構造	面積	
テクノプラザ本館 (A棟、地上3階建)	鉄筋コンクリート造	3,353.53㎡	事務室、振動試験室、環境試験室、塩水噴霧試験室、精密測定室、電子顕微鏡室、化学分析室、高速造形室、素材評価試験室、会議室、製品開発支援ラボ
複合素材開発サイト、 EMCサイト (B棟、地上1階建)	鉄骨造	2,766.57㎡	染色加工室、複合材料成形室、複合素材評価室、繊維実習室、10m法電波暗室、3m法電波暗室、シールドルーム、電波ノイズ試験室
	面積計	6,120.10㎡	

3 東京都地方独立行政法人評価委員会試験研究分科会

東京都地方独立行政法人評価委員会は、東京都が設立する地方独立行政法人の業務の実績に関する評価などを行う組織であり、そのうち試験研究分科会は、都産技研についての評価などを行う。2022年度は、試験研究分科会が4回開催された。

○2022年度試験研究分科会開催概要

	開催月日	概 要
第1回	6月22日	・都産技研による2021年度業務実績の報告
第2回	7月4日 7月5日 (持ち回り開催)	・2021年度業務実績評価案の検討
第3回	7月20日	・2021年度業務実績評価案の検討
第4回	3月29日	・都産技研による2023年度年度計画の報告

4 2022年度 年度計画

地方独立行政法人法（平成 15年法律第 118号）第 26条の規定に基づき、東京都知事から認可を受けた 2021年 4月 1日から 2026年 3月 31日までの 5年間における地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター（以下「都産技研」という。）の中期計画（以下「中期計画」という。）を達成するための 2022年度の業務運営に関する計画を以下のとおり定める。

I 住民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置

1 中小企業の技術的課題の解決や事業化を見据えた総合的支援

1-1 技術相談

- ① ものづくりに関連するサービス産業などの技術分野の相談について積極的に対応する。
- ② コロナ禍での環境変化を踏まえ、利用者の利便性向上のため、技術相談のデジタル化を推進する。ウェブ相談やメール相談を充実する。
- ③ 企業の利用情報を継続的に管理し、支援業務に活用する。
- ④ 総合支援窓口において、複数技術分野にまたがる相談への一括対応、料金収納および報告書の発行など、サービス機能の総合化を継続する。

1-2 依頼試験

- ① 製品などの品質・性能の評価や事故原因究明など、中小企業の生産活動に伴う技術課題の解決を目的として、依頼試験を実施する。
- ② 都産技研の特徴的な技術分野において、一層高品質なサービスを実施する。また、試験所認定を伴う業務を継続実施する。
- ③ 中小企業ニーズに基づき公的試験研究機関としての信頼の維持向上を図るため、機器の保守・更新、校正管理を適切に行う。
- ④ 依頼試験手続きに係る文書などの電子化を進める。
- ⑤ 東京都との「放射性物質などによる災害時など対応に関する協定」に基づき、放射能測定試験を継続実施する。
- ⑥ 原子力発電所の事故に伴い、工業製品の放射線量測定試験を実施する。

1-3 機器利用

- ① 中小企業では導入が困難な測定機器や分析機器を整備し、機器の操作方法のアドバイスや測定データの説明などについての的確な指導・助言を行う。
- ② 高度な先端機器の機器利用ライセンス制度を継続する。
- ③ 都産技研ウェブサイトを活用し、機器利用可能情報の提供を継続する。

依頼試験および機器利用の合計利用件数については、2022年度中25万件を目標とする。

1-4 オーダーメイド型技術支援

2021年に策定した「技術支援戦略」に基づき、試作や評価、人材育成など適宜組み合わせ提案するオーダーメイド型技術支援により、中小企業の製品開発の段階に応じたきめ細かい支

2022年度 年報

援を実施する。

オーダーメイド型技術支援を利用して製品化または事業化に至った件数については、2022年度中25件を目標とする。

1-5 基盤研究

- ① 第四期研究開発戦略に基づき、重点的に取り組む研究テーマを設定して着実に実施する。
- ② 多くの中小企業が抱える課題への対応に必要な研究、市場の拡大が見込まれる分野、および社会的課題解決に資する分野の研究を基盤研究として取り組む。
- ③ 分野を横断・融合するような技術課題に対して、各研究部門で協力し、重点的に取り組む。
- ④ 基盤研究によって得られた研究成果を、製品化・事業化および支援事業、共同研究、外部資金導入研究へと発展させる。

基盤研究の成果を基に、支援事業に発展した件数、共同研究に発展した件数、外部資金導入研究に採択された件数を合わせて、2022年度中27件を目標とする。

1-6 共同研究

- ① 基盤研究で得られた研究成果や中小企業や大学などのアイデアや技術シーズを効率的かつ効果的に製品化・事業化へつなげていくため、積極的に共同研究を実施する。
- ② 共同研究終了後も、製品化・事業化などの状況を把握し、支援事業でサポートするなど、フォローアップを充実させる。
- ③ 製品化・事業化に向けた取り組みを強化するため、共同研究のフレキシビリティを向上させる。

1-7 外部資金導入研究・調査

- ① 技術開発の要素が大きい経済産業省の提案公募型事業や科学研究費助成事業などへ積極的に応募し、採択を目指す。
- ② 新領域や萌芽的研究、あるいは未利用外部資金の調査を行い、申請可能なものを抽出して、積極的に応募する。

1-8 知的財産の取得と活用

- ① 基盤研究や共同研究などの成果を精査し、知的財産権として出願するとともに、適切に管理する。
- ② 外部への積極的PRなどにより、知的財産権の実施許諾を推進する。

2 産業の発展と都民生活の向上を目指したプロジェクト型支援

2-1 新産業創出支援

- ① 「DX推進センター」において、中小企業のデジタルトランスフォーメーションに対する取り組み状況を踏まえ、普及啓発や中小企業や大学などとの共同研究を通じ、IoT、ロボット技術などの社会実装を促進する。
- ② 中小企業の航空機産業への参入を技術的に支援するため、「航空機産業支援室」において、試作部品の技術検証の支援や、航空機に使用される国際規格に準拠した試験を実施する。
- ③ ものづくりベンチャーを育成するため、導入した機器を活用し、技術面から支援する。

2-2 社会的課題解決支援

- ① バイオ基盤技術を活用し、「ヘルスケア産業支援室」を拠点とした中小企業の化粧品・食品などの製品開発を支援する。
- ② フードテックによる中小企業の製品開発を支援するための施設整備とともに、基盤研究や技術相談を行う。
- ③ 障害者スポーツに関する製品開発を継続する。
- ④ デジタルトランスフォーメーションに対する中小企業の取り組み状況を踏まえた非対面・非接触に関する技術開発を継続する。

3 中小企業などの新事業展開支援

3-1 多様な連携によるオープンイノベーションなどの促進

- ① 金融機関など他の支援機関や、豊富な技術シーズを有する大学や研究機関と協力して、中小企業のオープンイノベーションにつながる交流の場や機会を提供する。
- ② 中小企業間連携による交流活動を通じて、技術的課題の解決や新製品・新技術開発を促進する。
- ③ 東京都をはじめとする自治体、中小企業支援機関などが実施する中小企業などへの助成や表彰などのための技術審査に積極的に協力する。
- ④ 他の公設試験研究機関や大学などと緊密な連携を図り、相互に補完して中小企業への技術支援の充実を図る。

3-2 都産技研の資源やネットワークを活用した支援

- ① 新製品・新技術開発や、起業・第二創業を目指す中小企業に対して、都産技研の資源が活用できる本部と多摩テクノプラザの製品開発支援ラボの利用を促進する。
- ② 製品開発支援ラボの入居企業のきめ細かなニーズの把握と都産技研がコラボレーションする場を積極的に提供することにより、製品化・事業化を支援する。
- ③ 都のスタートアップ支援事業や起業支援機関との連携により、スタートアップ企業の製品化・事業化を支援する。

3-3 海外展開の促進

- ① 中小企業が製品輸出や海外進出を行う際に必要な海外の法規制や国際規格への適合性などの相談やセミナーを開催する。
- ② 中小企業の海外展開などに必要となる国際規格適合性の技術支援などにより、中小企業の海外展開支援を実施する。
- ③ 海外支援拠点であるバンコク支所と本部などでオンラインを活用し、海外進出した企業のニーズに合わせ、セミナーによる情報提供や相談対応などの技術支援を実施する。

中小企業の海外展開に寄与した件数については、2022年度中24件を目標とする。

4 地域や支所の特色を活かした支援

4-1 支所における支援

- ① 各地域の産業の変化などを踏まえた支援を強化する。
- ② 多摩テクノプラザにおいて、複合素材開発サイトでは繊維強化複合材料などの開発支援を、

EMCサイトでは車載電子機器や小型モビリティなどの安全性・信頼性評価やゼロエミッション推進に向けた、関連企業・団体との連携・情報共有、人材育成により開発支援の充実を図る。

- ③ 城東支所では、デザインスタジオ、ものづくりスタジオによる地域企業のものづくり支援を強化する。
- ④ 墨田支所では、生活技術開発サイトによる快適性・安全性評価に基づいた生活関連製品の開発支援を図る。
- ⑤ 城南支所では、先端計測加工ラボによる地域企業の高品質高付加価値製品の開発支援を図る。

4-2 食品産業への支援

- ① 食品技術センターとの統合による相乗効果を発揮し、フードテックなど食品産業に関わる先端技術などを活用し研究開発や支援業務の円滑な実施に努める。
- ② 食の地産地消などの推進において、都の農林水産業振興部門と連携を図り、地域の特色を活かした商品開発を支援する。

5 東京の産業を支える産業人材の育成

5-1 中小企業の中核人材の育成

- ① さまざまな技術分野の最新動向などに関するセミナーや都産技研が有する技術・設備を活用した実践に役立つ講習会を開催し、中小企業の中核を担う人材の育成を行う。
- ② ライブ配信またはオンデマンド配信などデジタル化によるセミナーを開催するなど、さまざまな形式による研修の機会を提供する。

5-2 次世代を担う人材の育成

大学、高等専門学校などから研修学生などを受け入れ、都産技研が有する技術や高度な設備などを活用した研究開発の機会を提供する。

6 情報発信の推進

- ① 2021年度に策定した「広報戦略」を踏まえ、ウェブサイト、広報誌、ニュース配信などにより研究開発成果や保有する技術情報をわかりやすく伝えるよう、内容の充実に努める。紙媒体による広報誌のデジタル化を進め、迅速かつ幅広い技術情報の提供を実施する。
- ② オンラインによる研究発表会やイベントへの出展を通じ、都産技研の研究成果や事業の普及を行う。
- ③ 動画共有サイト、SNSなどを活用し、積極的な情報発信を行う。また、プレス発表を強化し、メディアからの個別取材にも対応するなど、研究や支援事業成果を積極的に発信する。

II 業務運営の改善および効率化に関する目標を達成するためとるべき措置

1 組織体制および運営

1-1 機動性の高い組織体制の確保

- ① 事業動向などを踏まえ組織体制の検証を不断に実施し、各事業の効率的な執行体制を確保する。
- ② 既存組織体制にとらわれず、適時プロジェクトチームを設置するなど、ニーズに柔軟に対応する。

1-2 適正な組織運営

- ① 事業別のセグメント管理、業務時間分析などを活用し、各事業において投入した経営資源と事業効果を検証する。
- ② 中小企業に対して高品質な技術支援サービスを安定かつ継続的に提供できる組織運営を継続する。
- ③ 法令などを遵守しつつ業務を行い、都産技研のミッションを的確に果たすため、内部統制を推進し、適正な組織運営を行う。

1-3 職員の確保・育成

- ① コロナ禍の影響で産業構造に大きな転換が生じており、将来必要となる技術開発や中小企業が抱える課題にも変化が現れてきている。これらを解決する研究開発の強化に向け、専門性の高い優秀な研究職員を計画的に採用する。
- ② 機動的で柔軟な組織運営に向け、重要な役割を担う事務職員を計画的に確保する。
- ③ 技術支援力の向上とともに、デジタルトランスフォーメーションの推進をはじめ、多様化する中小企業支援ニーズに対応できる職員の育成に向け、人材育成計画に基づき効果的な研修を計画的・体系的に実施する。

1-4 ライフ・ワーク・バランスの推進

- ① 多様・柔軟な勤務形態の設定や休暇などの取得促進、テレワークの活用やフレキシブルな人員配置などにより、効率的な業務遂行を推進する。
- ② 組織全体として超過勤務の縮減に努めるとともに、職員の心身の健康維持と業務の効率性向上の両立を図る。

1-5 デジタルトランスフォーメーションの推進

- ① 効率的運営を図るため、業務のデジタル化を推進し、各システムの再構築を行う。またテレワークなどを拡大するため、適切な IT ツールを導入する。
- ② 利用者へのサービス向上にむけ、受付業務や機器利用予約のデジタル化に取り組む。
- ③ 各種支援内容のデータベース化など、デジタル技術による支援業務実績の整理と活用を検討する。

2022年度 年報

2 業務運営の効率化と経費節減

2-1 業務改革の推進

- ① お客さまへのサービスの向上、業務の効率化、経費の削減などを目的として業務改革を推進し、高い経営品質の実現や利用者満足度の向上を目指す。
- ② コンビニ払いなどによるキャッシュレス化の推進、電子入札、テレワークやオンライン会議の実施、会議のペーパーレス化の徹底、各種業務システムの活用などにより業務のデジタル化を促進する。さらに、外部機関や専門家の活用も含め業務のアウトソーシングを進める。

都産技研内部の会議および委員会のペーパーレスでの開催率については、2022年度75パーセント以上とすることを目標とする。

2-2 財政運営の効率化

標準運営費交付金（効率化が困難な経費を除く。）を充当して行う業務については、産業構造の大きな転換やこれらに伴う中小企業ニーズの変化に基づく業務の見直し、自己収入の増加、事務処理の効率性の向上を図る。

3 財務内容の改善に関する事項

3-1 資産の適正な管理運用

- ① 安全かつ効率的な資金運用管理を推進するとともに、債権管理を適切に行う。
- ② 建物、施設については、計画的な維持管理を行うとともに、設備機器については校正・保守・点検を的確に行うことにより国内規格や国際規格に適合する測定などが確実に実施できるよう管理運用する。これらの利用率が低い場合は、適切な有効活用を図る。

III 予算（人件費の見積りを含む。）、収支計画および資金計画 別紙

IV 短期借入金の限度額

1 短期借入金の限度額

15億円

2 想定される理由

運営費交付金の受け入れ遅滞および予見できなかった不測の事態の発生などにより、緊急に借り入れの必要が生じることが想定される。

V 出資などに係る不要財産または出資などに係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画 なし

VI 重要な財産を譲渡し、または担保に供しようとするときは、その計画 なし

VII 剰余金および積立金の使途

1 剰余金の使途

決算において剰余金が発生した場合、新しい事業の開始、中小企業支援の充実、研究開発の質の向上、法人の円滑な業務運営の確保または施設・設備の整備および改善に充てる。

2 積立金の使途

前期中期目標期間の最終年度において、地方独立行政法人法第40条第1項または第2項の処理を行ってなお積立金があるときは、その額に相当する金額のうち設立団体の長の承認を受けた金額について、中期計画の剰余金の使途に規定されている、中小企業支援の充実、研究開発の質の向上、法人の円滑な業務運営の確保または施設・設備の整備および改善に充てる。

VIII その他業務運営に関する事項

1 施設・設備の整備と活用

- ① 業務の確実な実施と機能向上のための施設・設備の整備を計画的に実施する。
- ② 実施にあたっては、必要な財源を適切に確保し、総合的・長期的観点に立った整備・更新を行う。

2 危機管理対策の推進

「リスクマネジメントに関する基本方針」に基づき、危機管理体制の整備を継続する。

- ① 個人情報や企業情報、また製品開発などの職務上知り得た秘密については、適正な取扱いと確実な漏洩防止に向け、全職員を対象に研修を実施する。
情報セキュリティ事故を未然に防止するため、職員への適切な情報提供や研修の実施に加え、システムやソフトウェアの適宜更新など、ヒューマンエラーによるリスクを低減する技術的対策を講じていく。
- ② 環境保全や規制物質管理、労働安全衛生に関する法令を遵守し、危険物、毒劇物の管理と取扱い、災害に対する管理体制を確保するとともに、防災訓練や職員への意識向上のための研修を実施する。
- ③ 震災の発生や新興感染症の流行などに備えた対応策を必要に応じて見直すとともに、万が一発生した場合には、被害拡大の防止に向けた確に対応する。
- ④ 緊急事態への対応方法を防災訓練や研修などで周知徹底するとともに、通報訓練の実施、スマートフォンによる職員の安否確認システムの導入など、迅速な情報伝達・意思決定に向けた管理体制を継続する。

3 社会的責任

3-1 情報公開

運営状況の一層の透明性を確保するため、都産技研ウェブサイトや刊行物の発行などにより経営情報の公開に取り組む。事業内容や事業運営状況に関する情報開示請求については、規則に基づき迅速かつ適正に対応する。

3-2 環境への配慮

法人の社会的責任を踏まえ、SDGs（持続可能な開発目標）を意識し、省エネルギー対策の推進、CO₂削減など、環境負荷の低減や環境改善に配慮した業務運営を行う。

4 内部統制によるガバナンス強化とコンプライアンスの推進

- ① 内部統制の仕組みを有効に機能させるため、内部統制関連規程の点検、整備を行う。
- ② 内部監査、業務点検の監査項目を適切に設定する。
- ③ コンプライアンスマニュアルを整備して、研修などで利用することで、職員の意識を向上させる。

予算（人件費の見積を含む。）、収支計画および資金計画

1. 予算

2022年度 予算

(単位：百万円)

区 分	金 額
収入	
運営費交付金	5,940
標準運営費交付金（効率化対象内）	4,822
標準運営費交付金（効率化対象外）	194
特定運営費交付金（共済以外）	505
特定運営費交付金（共済）	419
施設整備費補助金	0
自己収入	1,123
事業収入	716
補助金収入	0
外部資金研究費等	100
その他収入	307
積立金取崩	0
計	7,063
支出	
業務費	5,058
試験研究経費	1,323
プロジェクト事業	320
外部資金研究経費等	100
役職員人件費	2,896
共済組合負担金	419
一般管理費	2,005
計	7,063

[人件費の見積り]

2022年度、3,257百万円支出する。（退職手当は除く。）

2. 収支計画

2022年度 収支計画

(単位：百万円)

区 分	金 額
費用の部	7,522
経常費用	7,522
業務費	4,495
試験研究経費	975
プロジェクト事業	105
外部資金研究経費等	100
役職員人件費	2,896
共済組合負担金	419
一般管理費	1,820
減価償却費	1,207
収入の部	7,522
経常収益	7,522
運営費交付金収益	5,192
事業収益	716
外部資金研究費等収益	100
補助金等収益	0
その他収益	307
資産見返運営費交付金等戻入	1,175
資産見返補助金等戻入	29
資産見返物品受贈額戻入	0
資産見返寄附金等戻入	3
純利益	0
総利益	0

3. 資金計画

2022年度 資金計画

(単位：百万円)

区 分	金 額
資金支出	7,063
業務活動による支出	6,315
投資活動による支出	748
資金収入	7,063
業務活動による収入	7,063
運営費交付金による収入	5,940
事業収入	716
外部資金研究費等による収入	100
補助金等による収入	0
その他の収入	307

※本年報から転載する場合には、前もって都産技研に連絡の上、了承を得てください。
本年報の内容は、ウェブサイトでもPDFファイルをご覧ください。
都産技研ウェブサイト：<https://www.iri-tokyo.jp/>

都産技 2023-05

地方独立行政法人東京都立産業技術研究センター
2022年度 年報
2023年8月31日発行
ISSN1882-157

発行 地方独立行政法人東京都立産業技術センター
企画部 経営企画室
〒135-0064 東京都江東区青梅2-4-10
TEL 03-5530-2426
FAX 03-5530-2765
URL <https://www.iri-tokyo.jp/>

印刷所 株式会社大成美術プリンティング
〒104-0043 東京都中央区湊1-8-12 TIビル7F
TEL 03-3552-3711
FAX 03-3552-3820

2022年度 年報
2023年8月

